

令和8年度使用

神奈川県立中等教育学校の前期課程
採択教科用図書一覧

(案)

神奈川県教育委員会

<参考> 発行者一覧

※発行者の記載順及び略称は、文部科学省発行の中学校用教科書目録（令和8年度使用）による。

発行者	発行者の略称	発行者	発行者の略号
東京書籍株式会社	東 書	株式会社新興出版社啓林館	啓林館
大日本図書株式会社	大日本	株式会社山川出版社	山 川
教育図書株式会社	教 図	数研出版株式会社	数 研
開隆堂出版株式会社	開隆堂	日本文教出版株式会社	日 文
学校図書株式会社	学 図	株式会社Gakken	学 研
株式会社三省堂	三省堂	株式会社自由社	自由社
教育出版株式会社	教 出	株式会社育鵬社	育鵬社
株式会社教育芸術社	教 芸	株式会社学び舎	学び舎
光村図書出版株式会社	光 村	あかつき教育図書株式会社	あか図
株式会社帝国書院	帝 国	日本教科書株式会社	日 科
株式会社大修館書店	大修館	令和書籍株式会社	令 書
株式会社文教社	文教社	株式会社光文書院	光 文
一般社団法人信州教育出版社	信 教		

令和8年度使用教科用図書採択希望一覧

学校名 中等教育学校 前期課程

種 目	発行者		教 科 書			使用 学年
	番号	略称	記号	番号	書 名	
国語	38	光村	国語	038-72	国語 1	1
	38	光村	国語	038-82	国語 2	2
	38	光村	国語	038-92	国語 3	3
書写	17	教出	書写	017-72	中学書写	1・2・3
社会 (地理的分野)	46	帝国	地理	046-72	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	1・2
社会 (歴史的分野)	116	日文	歴史	116-72	中学社会 歴史的分野	1・2・3
社会 (公民的分野)	2	東書	公民	002-92	新編 新しい社会 公民	3
地図	46	帝国	地図	046-72	中学校社会科地図	1・2・3
数学	104	数研	数学	104-73	これからの 数学 1	1
	104	数研	数学	104-83	これからの 数学 2	2
	104	数研	数学	104-93	これからの 数学 3	3
理科	2	東書	理科	002-72	新編 新しい科学 1	1
	2	東書	理科	002-82	新編 新しい科学 2	2
	2	東書	理科	002-92	新編 新しい科学 3	3
音楽 (一般)	17	教出	音楽	017-72	中学音楽 1 音楽のおくりもの	1
	17	教出	音楽	017-83	中学音楽 2・3上 音楽のおくりもの	2・3
	17	教出	音楽	017-84	中学音楽 2・3下 音楽のおくりもの	2・3
音楽 (器楽合奏)	17	教出	器楽	017-72	中学器楽 音楽のおくりもの	1・2・3
美術	38	光村	美術	038-72	美術 1	1
	38	光村	美術	038-73	美術 1 資料	1
	38	光村	美術	038-82	美術 2・3	2・3
保健体育	2	東書	保体	002-72	新編 新しい保健体育	1・2・3
技術・家庭 (技術分野)	6	教図	技術	006-73	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する	1・2・3
	6	教図	技術	006-74	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト	1・2・3
技術・家庭 (家庭分野)	9	開隆堂	家庭	009-72	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	1・2・3
英語	2	東書	英語	002-72	NEW HORIZON English Course1	1
	2	東書	英語	002-82	NEW HORIZON English Course2	2
	2	東書	英語	002-92	NEW HORIZON English Course3	3
道徳	2	東書	道徳	002-72	新編 新しい道徳 1	1
	2	東書	道徳	002-82	新編 新しい道徳 2	2
	2	東書	道徳	002-92	新編 新しい道徳 3	3

平塚中等教育学校の専門委員会の構成及び審議経過について

専門委員会の構成

校長 副校長 教頭 事務長 総括教諭（7名） 以上 11名

審議経過

令和8年度使用教科用図書採択方針及び教科用図書採択手続要領に基づき、次のとおり検討・選定を進めた。

- ◆ 6月3日（火） 第1回専門委員会
- ◆ 6月4日（水）～6月23日（月） 第2回専門委員会
- ◆ 6月24日（火） 第3回専門委員会

<参考>

教育目標	<p>【学校目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中等教育学校に適用される「教育課程の基準の特例」を活用した創立からの教育課程編成を検証し、生徒の学習目標、意欲に応えたカリキュラム開発を行う 2. 生徒一人ひとりの特性や抱える課題を見極め、問題解決に向け、保護者、学年、教育相談コーディネーター、スクールカウンセラーや外部機関等と連携した生徒支援体制を確立する 3. 学習指導および効果的な授業改善と研究授業の充実を図り、学力向上に向けた生徒の目的意識を醸成する。また、生徒の第一志望の進路実現を図る 4. 多彩な体験活動を通じて、生徒が自らの将来像を展望することを援助し、自立した社会観、リーダー性のある生徒を育成する 5. 地域への学校情報の提供を充実させる。また、地域との交流活動に積極的に参画する 6. 事故・不祥事防止を徹底する。また、生徒の交通安全意識、日常の防災意識や災害・緊急時の対応力の育成を図る
育てたい3つの力	<p>生きる（Live）～深い洞察と鋭い感性～ 慈しむ（Love）～高い志と豊かな人間性～ 学ぶ（Learn）～幅広い教養と光る知性～ 「自らの健康や他者の生命・人権を尊重し、広く社会に貢献してほしい」 「郷土かながわを慈しみ、国際社会に羽ばたいてほしい」 「自ら学び、考え、決断し、行動する力を身につけてほしい」</p>
学校のミッション	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6年間の一貫した教育課程や学習環境の中で、多彩で豊かな教育内容の展開を通じて、個性や創造性の伸長を図るよう、カリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組む。 ○ これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備え、よりよい社会の構築に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成するとともに、学年の枠を超えた活動を通じて、思いやりの心を持ち、自ら進んで未来を切り拓く意欲や行動力溢れる、豊かな人間性とリーダーシップを備えた次世代を担うリーダーを育成する。 ○ 自らの健康や他者の使命・人権への尊重を通して広く社会に貢献し、郷土かながわを慈しみ、国際社会に羽ばたく生徒を育むとともに、自ら学び、考え、決断し行動する力を育成する教育活動に取り組む。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科・科目の学習を通して身に付けた知識・技能を基礎としながら、自ら課題を見出し、課題を解決するため、他者と協働する学習に取り組むとともに、体験的な学習や研究発表などの機会を通して、思考力・判断力・表現力やコミュニケーション能力等の育成に取り組む。
めざす 生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鋭い感性や独創性を高め、幅広い教養を身に付けることにより、広く社会に貢献し国際社会に羽ばたく意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。 ○ 思いやりの心を持ち、自ら進んで未来を切り開く意欲や行動力あふれる、豊かな人間性とリーダーシップを備えた人材を育成します。 ○ 自ら学び、考え、決断し、行動する力を身に付け、社会における諸課題に気づき、それを解決していくために他者と協働して意欲的に行動できる人材を育成します。
かながわ次 世代教養* について	<p>神奈川が、豊かな国際性や歴史、自然など多くの恵まれた要素を持つということを生かし、環境や歴史、文化、科学技術などを地球規模で考える視野を育てるということを目指し掲げる。前期課程においては、IT活用、地球環境、伝統文化や歴史などをテーマに豊富な経験を積ませつつ、実践的な英語学習で基礎固めをする。後期課程においては、複数のカテゴリーを横断的に経験させた後、地域や企業と連携して協働的な研究を進め、最終年次では生徒自身の成果を卒業研究としてまとめる。</p>

令和8年度使用希望教科書選定理由書

平塚中等教育学校 前期課程

種目	国語	
発行者の番号・略称	38	光村
教科書の記号・番号	国語	038-72、038-82、038-92
書名	国語 1 国語 2 国語 3	
使用学年	1、2、3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の国語科においては、「表現コミュニケーション力」の育成を重視し、学習活動の「話すこと・聞くこと」「書くこと」に重きを置いて、他者との関わりを通して自分の意見を表現できることをめざしている。また授業では想像力・表現力を培い、「国語力」・「問題解決能力」を高めることを目標にしている。さらに「想像力や思考力を伸ばし言語感覚を磨く基礎となる語彙力を高める」ことや、「問う力の育成」にも重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「表現コミュニケーション力の育成」「情報活用能力の育成」「語彙力の育成」といった観点で、東京書籍「新編 新しい国語1、2、3」、三省堂「現代の国語1、2、3」、教育出版「伝え合う言葉 中学国語1、2、3」、光村図書「国語1、2、3」という全4者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <p>○表現コミュニケーション力の育成に関して、各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が、第1学年では【聞き上手になろう 質問で話を引き出す】に、第2学年では【立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる】に、第3学年では【合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く】などに設定されていること。</p> <p>○情報活用能力の育成に関して、情報の収集、整理、比較などについての学習活動が、第1学年では【情報整理のレッスン 比較・分類】に、第2学年では【情報整理のレッスン 思考の視覚化】に、第3学年では【情報整理のレッスン 具体化・抽象化】などに</p>		

設定されていること。

○語彙力の育成に関して、言葉を集めたり比べたりする学習活動が、第1学年では【語彙を豊かに 心情を表す言葉】に、第2学年では【語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉】に、第3学年では【語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化】などに設定されていること。

○その他、「幅広い教養を備える」視点では、伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌などの作品について、第1学年では“竹取物語”が『いにしえの心にふれる』に、第2学年では“平家物語”が『いにしえの心を訪ねる』に、第3学年では和歌が『いにしえの心を受け継ぐ』に掲載されていること。また、読書活動の充実を図ることについて、著名人の読書体験や読書案内として、第1学年ではアニメーション映画監督による『本との出会い』が、第2学年では翻訳家による『「わからない」は人生の宝物』が、第3学年では作家による『ためになるってどんなこと?』などが『コラム』に掲載されていること。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、光村図書の「国語1、2、3」を選定した。

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 国語

	東書	三省堂	教出	光村
内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力の育成について、言語を通して正確に理解したり表現したりする手立てが『言葉の力』に設定されている。 ・情報活用能力の育成について、情報を収集、整理、比較する学習活動が【情報の分類・比較】に設定されている。 ・語彙を豊かにすることについて、文章中の表現や語句について考える学習活動が【広がる言葉】に設定されている。 ・伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌が『伝統文化を受け継ぐ』に掲載されている。 ・読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家や書籍を紹介した内容が『読書への招待』に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力の育成について、言語を通して理解したり表現の幅を広げたりする手立てが『言葉発見』に掲載されている。 情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較についての学習活動が【情報を関係づける】に設定されている。 ・語彙を豊かにすることについて、似た意味の語句を比較し語彙を増やす学習活動が【語彙を豊かに】に設定されている。 ・伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌が『古典に学ぶ』に掲載されている。 ・読書活動の充実を図ることについて、作家などによる読書案内が『私の読書体験』に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語能力の育成について、文章の構成に注目して読み、考える手立てが『学びナビ』に掲載されている。 情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較についての学習活動が【広告の情報を考える】に設定されている。 ・語彙を豊かにすることについて、発音の違いを調べることや話ことばを書き言葉にする学習活動が【言葉の小窓】に掲載されている。 ・伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌が『古典を伝える』に掲載されている。 ・読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家の紹介や書籍が『読書への招待』に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力の育成について、根拠の適切さを吟味し、文章を整える手立てが『思考のレッスン』に掲載されている。 ・情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較についての学習活動が【情報整理のレッスン】に設定されている。 ・語彙を豊かにすることについて、言葉を集めたり比べたりする学習活動が【語彙を豊かに】に設定されている。 ・伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌が『いにしへの心を受け継ぐ』に掲載されている。 ・読書活動の充実を図ることについて、著名人の読書体験や読書案内が『コラム』に掲載されている。
分量・装丁・表記等	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『文法解説』『漢字道場』などと、『資料編』で構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 『目次』『話す・聞く』『書く』『読む』『文法のまとめ』『漢字を身につけよう』などと、『資料編』で構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『言葉と文法 解説編』『漢字の広場』などと、『言葉の自習室』で構成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『文法への扉』『漢字に親しもう』などと、『資料編』で構成されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	書写	
発行者の番号・略称	17	教出
教科書の記号・番号	書写	017-72
書名	中学書写	
使用学年	1・2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の国語科では「表現コミュニケーション能力」の育成を重点目標としていることから、特に1学年では「書写」を重視し、毛筆における運筆の方法を身に付け、伝統的な日本文化を理解することをめざしている。</p> <p>また、日常生活と結びつき、生かしていくことができる書写も大切にしている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「毛筆における運筆」「伝統的な日本文化の理解」「日常生活との結びつき」という観点から、東京書籍「新編 新しい書写一・二・三年」、三省堂「現代の書写一・二・三」、教育出版「中学書写」、光村図書「中学書写一・二・三年」という全4者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毛筆における運筆に関して、イラストを使って示した筆使いや穂先の通り道、筆圧が『筆使い』に掲載されていること、また、筆使いを拡大したイラストが『筆順の変化』に掲載されていること。 ○伝統的な日本文化の理解に関して、漢字の成り立ちや仮名の歴史などについて取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されていること、また、第2学年では“枕草子”を硬筆で書く学習活動が【学習を生かして書く】に設定されていること。 ○日常生活との結びつきに関して、身のまわりの文字について考える学習活動が【多様な表現による文字】に設定されていること、また、小包伝票や包み紙の書き方などが『書式の教室』に掲載されていること。 <p>こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、教育出版「中学書写」を選定した。</p>		

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 書写

	東書	三省堂	教出	光村
内容と構成	<p>・言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている。</p> <p>・伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史を取り上げた教材が『文字の移り変わり』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”を硬筆で書く学習活動が【書いて味わおう】に設定されている。</p> <p>・体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、自分の思いを文字で表現する学習活動が【思いを文字で表そう】に設定されている。</p> <p>・正しい運筆の能力の育成について、墨やイラストを使って示した基本点画や字形の整え方が『基本の点画の書き方』に掲載されている。</p> <p>・生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【身の回りの文字の目的と工夫】に設定されている。また、のし袋や複写式用の紙の書き方などが『さまざまな書式』に掲載されている。</p>	<p>・言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている。</p> <p>・伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史を取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”や“平家物語”の冒頭を硬筆で書く学習活動が【行書に調和する仮名】に設定されている。</p> <p>・体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、編集方針を立て、編集会議を開いて記事を書く学習活動が【情報誌を作ろう】に設定されている。</p> <p>・正しい運筆の能力の育成について、朱墨の濃淡で示された穂先の動きや、イラストや矢印で示された筆圧や筆脈が『字形の整え方と筆使い』に掲載されている。</p> <p>・生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【身のまわりの文字】に設定されている。また、送り状やのし袋の書き方などが『日常の書式』に掲載されている。</p>	<p>・言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【さまざまな書く場面】に設定されている。</p> <p>・伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史を取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”を硬筆で書く学習活動が【学習を生かして書く】に設定されている。</p> <p>・体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、名言や感謝の気持ちを伝える学習活動が【三年間の学習の成果を生かそう】に設定されている。</p> <p>・正しい運筆の能力の育成について、イラストを使って示した筆使いや穂先の通り道、筆圧が『筆使い』に掲載されている。また、筆使いを拡大したイラストが『筆順の変化』に掲載されている。</p> <p>・生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【多様な表現による文字】に設定されている。また、小包伝票や包み紙の書き方などが『書式の教室』に掲載されている。</p>	<p>・言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている。</p> <p>・伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史を取り上げた教材が『文字の歴史を探る』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”を行書で書く学習活動が【季節のしおり②】に設定されている。</p> <p>・体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、集めた情報を整理し表現する学習活動が【冊子にまとめよう】に設定されている。</p> <p>・正しい運筆の能力の育成について、2色の濃淡の墨と筆の写真やイラストを用いた始筆・送筆・終筆のリズムや筆圧、点画のつながりが『楷書に調和する仮名』に掲載されている。</p> <p>・生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【全国文字マップ】に設定されている。また、送り状やレポートの書き方などが『日常に役立つ書式』に掲載されている。</p>

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	社会（地理的分野）	
発行者の番号・略称	46	帝国
教科書の記号・番号	地理	046-72
書名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	
使用学年	1・2	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の社会科では、探究的な活動、課題解決型学習、言語・表現活動の充実を図ることを重視し、学習内容をより身近なものにすることで興味関心を高めることを授業における重点箇所としている。また、本校の特色である「かながわ次世代教養」の学習に生かすことができるという観点も重視している。</p> <p>これらを踏まえ、特に「探究的な活動」、「課題解決型の学習」の観点から学習活動について全4者の教科書を比較・検討し、東京書籍の「新編 新しい社会 地理」、帝国書院の「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」の2者の教科書に絞った。</p> <p>次に、本校の社会科では「社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮」に加え、「かながわ」・「日本」・「世界」を知る特別活動等との関連で「世界とのかかわりの中の日本」という地理的・歴史的な視点の育成を重視している。これらの観点で再度、2者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカ州では特定の物産に頼る経済の影響を考える学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。また、複数の視点から課題を捉えなおすヒントが『アクティブ地理 AL』に掲載されている。 ○世界とのかかわりについて、『未来に向けて』のページで、SDGsに関連した内容を取り上げ、国際社会や現代の日本が抱える諸課題が掲載されている。 <p>こうした題材や資料等が本校生徒の学習に最も適していると判断し、帝国書院の「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」を選定した。</p>		

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 社会（地理的分野）

	東書	教出	帝国	日文
教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連との関連	<p>・「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『もっと解説』に、資料活用の仕方が『スキル・アップ』に掲載されている。</p> <p>・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、アフリカ州ではどのような支援が必要かを話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ】に、世界はどのような姿をしているのかを話し合う学習活動が【探究課題】に設定されている。</p> <p>・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、都道府県の境界に関連する内容を取り上げ、その特色を考察する学習活動が【もっと知りたい！】に設定されている。また、学習した用語を解説した内容が『もっと解説』に掲載されている。</p>	<p>・「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『用語解説』に、資料活用の仕方が『地理の技』に掲載されている。</p> <p>・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、世界の諸地域の他地域との結びつきや州の特徴を考える学習活動が【章を見通した学習課題】に、アマゾン川の開発の様子を振り返りながら変化を説明する学習活動が【学習したことを振り返ろう】に設定されている。</p> <p>・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、近畿地方や中部地方に関連する内容を取り上げ、地域の特色を考察する学習活動が【持続可能な社会に向けて】に設定されている。また、地理で学習したことが生活で活用されている内容が『地理の窓』に掲載されている。</p>	<p>・「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『解説』に、資料活用の仕方が『技能をみがく』に掲載されている。</p> <p>・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、持続可能な観光の在り方を考える学習活動が【アクティブ地理】に設定されている。また、考えを整理する方法が『思考ツールを活用しよう』に掲載されている。</p> <p>・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、中央アジアや西アジアに関連する内容を取り上げ、地域の特色を考察する学習活動が【未来に向けて】に設定されている。また、緯度や経度に関連した事例を紹介する内容が『地理プラス』に掲載されている。</p>	<p>・「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『用語解説』に、資料活用の仕方が『スキルUP』に掲載されている。</p> <p>・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、EUの統合が進むことによる影響と課題を考える学習活動が【自分の考えをまとめよう】に、世界や日本の姿を説明するポスターを作る学習活動が【編の問いに答えよう】に設定されている。</p> <p>・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日本の領域に関連する内容を取り上げ、その特色を考察する学習活動が【地理+α】に設定されている。また、章で学習した内容をもとに地域的課題を議論する内容が『議論してみよう』に掲載されている。</p>
かながわ教育ビジョンとの関連	<p>・[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『防災・減災に向けた取り組みと課題』や『記憶</p>	<p>・[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『震災の経験を未来に生かす』や『災害から身を守</p>	<p>・[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『自然災害から命を守ろう』や『自然災害に対す</p>	<p>・[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『震災からの復興と災害に強い地域づくり』や『災</p>

	<p>の継承と地域づくり』に掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報通信網の普及を扱った内容が『通信網の発達と生活の変化』や『人・物・情報で結ばれる地域と世界』に掲載されている。 ・[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【持続可能な地域の在り方】に設定されている。また、他国で生活し、日本の文化を現地に広める日系人の様子が『もっと知りたい!』に掲載されている。 	<p>るために』に掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報通信技術 (ICT) の発達を扱った内容が『交通・通信による結びつき』や『地域おこしの知恵』に掲載されている。 ・[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域のあり方】に設定されている。また、過疎や高齢化の課題への取組が『「住み続けられる」地域づくり』に掲載されている。 	<p>る備え』に掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[たくましく生きる力]の「情報化」について、高速通信網の整備を扱った内容が『日本の交通網・通信網』や『通信網を生かした地域おこしの取り組み』に掲載されている。 ・[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域のあり方】に設定されている。また、JICA から派遣された技術者がアフリカで農業技術の指導を行う様子が『発展に向けた取り組み』に掲載されている。 	<p>害にそなえるために』に掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[たくましく生きる力]の「情報化」について、通信情報技術 (ICT) の進歩を扱った内容が『交通・通信からみた日本の地域的特色と地域区分』や『交通・通信を生かした農業・漁業』に掲載されている。 ・[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域の在り方】に設定されている。また、JICA から派遣された技術者がアフリカで栽培指導を行う様子が『さまざまな国際協力の試み』に掲載されている。
<p>内容と構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『課題をつかむ』『課題を追究する』『課題を解決する』に掲載されている。また、小学校での学習をもとにクイズカードを作る学習活動が【導入の活動】に設定されている。 ・言語能力の育成について、日本のイメージを伝える手紙を書く学習活動が【みんなでチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す4つのステップが『導入』『…をながめて』『本編』『学習のまとめと表現』に掲載されている。また、問題を解決するために必要なことをグループで話し合う学習活動が【学習したことを活用してまとめよう】に設定されている。 ・言語能力の育成について、中国・四国地方の 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す2つのステップが『単元の見通し』や『単元の振り返り』に掲載されている。また、産業の発達と地域への影響を表す写真を選びその理由をグループで話し合う学習活動が【節の問いについて、考えを深めよう】に設定されている。 ・言語能力の育成について、アフリカ州の課 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『問いを立て、学習を見通す』『問いを追究する』『まとめ、ふり返る』に掲載されている。また、経済発展の地域格差や都市問題の課題を整理し解決策をグループで話し合う学習活動が【議論してみよう】に設定されている。 ・言語能力の育成について、関東地方におけ

チャレンジ】に設定されている。また、魅力的な地域の将来像を広く発信するための手順が『地域のこれからを提案し、発信しよう』に掲載されている。

・情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が

【資料から発見！】に設定されている。また、写真の読み取り方といった基礎的・基本的な技能の習得が『スキル・アップ』に掲載されている。

・生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【チェック&トライ】や【D-MOVE】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。

・多面的・多角的に考察し、表現することについて、南アメリカ州の開発と環境保全を考える学習活動が【探究課題】に設定されている。また、複数の視点での資料活用が『資料から発見！』に掲載されている。

・課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、日本の地域的な特色を考える学習活動が【探究のステ

学習をバタフライチャートにまとめる学習活動が【学習したことを振り返ろう】に設定されている。また、地域のある方について調べたことがらを発表する手順が『調査結果を地域に伝えよう』に掲載されている。

・情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【THINK！】に設定されている。また、新旧の地形図を比べるといった資料の扱い方が『地理の技』に掲載されている。

・生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【まなびリンク】や【中学社会クイズ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。

・多面的・多角的に考察し、表現することについて、南アメリカで自然破壊や都市の人口増加が進むことによる課題を考える学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。また、視点を変えて捉えなおす資料が『クロスロード』に掲載されている。

・課題を追究・解決する活動の充実を図ること

題解決に向けて最優先で行う取組を考え、発表する学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。また、地域の課題解決を図り、社会に向けて発信する手順が『解決策と魅力を高める提案をしよう』に掲載されている。

・情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【やってみよう】に設定されている。また、資料を読み取る際の視点が『資料活用』に掲載されている。

・生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【図解アニメーション】や【見通しスライド】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。

・多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカ州では特定の物産に頼る経済の影響を考える学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。また、複数の視点から課題を捉えなおすヒントが『アクティブ地理AL』に掲載されている。

・課題を追究・解決する活動の充実を図ること

る一極集中の課題を解決するためディベートをする学習活動が【議論してみよう】に設定されている。また、よりよい地域の将来像を発信し、社会に参画する手順が『構想した内容を発信しよう』に掲載されている。

・情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【スキルUP】に設定されている。また、資料を読み取る際の視点が『資料活用』に掲載されている。

・生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、人々の生活と環境に関して学んだ内容を生かして振り返る学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。また、地域の学習を進めていく際の視点や方法が『地理的な見方・考え方』に掲載されている。

・多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカの国々の経済とフェアトレードを考える学習活動が【地理+α】に設定されている。また、課題を捉えなおす複数の資料が『持続可能な地域をめざして』に掲載されている。

<p>ップ】に設定されている。また、単元のはじめに探究課題の見通しを持つための観点が『探究課題は?』に掲載されている。</p>	<p>について、関東地方の特色を考える学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。また、地球的課題の解決に向けた問いが『クロスロード』に掲載されている。</p>	<p>とについて、地域に適した再生可能エネルギーを考える学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。また、単元のはじめに立てた学習課題を振り返る手立てが『節の問い』に掲載されている。</p>	<p>・課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、世界各地の人々の生活が場所によって異なる理由を考える学習活動が【章の問いに答えよう】に設定されている。また、単元のはじめに自ら問いを立てる手順が『節の問いを立てよう』に掲載されている。</p>
---	---	--	---

<p>学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮</p>	<p>東書</p>	<p>教出</p>	<p>帝国</p>	<p>日文</p>
	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、都道府県の境界に関連する内容をとり上げ、その特色を考察する学習活動が【もっと知りたい!】に設定されている。また、学習した用語を解説した内容が『もっと解説』に掲載されている。</p>	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、近畿地方や中部地方に関連する内容をとり上げ、地域の特色を考察する学習活動が【持続可能な社会に向けて】に設定されている。また、地理で学習したことが生活で活用されている内容が『地理の窓』に掲載されている。</p>	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、中央アジアや西アジアに関連する内容をとり上げ、地域の特色を考察する学習活動が【未来に向けて】に設定されている。また、緯度や経度に関連した事例を紹介する内容が『地理プラス』に掲載されている。</p>	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日本の領域に関連する内容をとり上げ、その特色を考察する学習活動が【地理+α】に設定されている。また、章で学習した内容をもとに地域的課題を議論する内容が『議論してみよう』に掲載されている。</p>

<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮</p>	<p>東書</p>	<p>教出</p>	<p>帝国</p>	<p>日文</p>
	<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮</p> <p>主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『課題をつかむ』『課題を追究する』『課題を解決する』に掲載されている。また、小学校での学習をもとにクイズカードを作る学習活動が【導入の活動】に設定されている。</p>	<p>主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す4つのステップが『導入』『…をながめて』『本編』『学習のまとめと表現』に掲載されている。また、問題を解決するために必要なことをグループで話し合う学習活動が【学習したことを活用してまとめよう】に設定されている。</p>	<p>主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す2つのステップが『単元の見通し』や『単元の振り返り』に掲載されている。また、産業の発達と地域への影響を表す写真を選びその理由をグループで話し合う学習活動が【節の問いについて、考えを深めよう】に設定されている。</p>	<p>主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『問いを立て、学習を見通す』『問いを追究する』『まとめ、ふり返る』に掲載されている。また、経済発展の地域格差や都市問題の課題を整理し解決策をグループで話し合う学習活動が【議論してみよう】に設定されている。</p>

	東書	教出	帝国	日文
体験活動の充実	体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域の課題を調査するための準備を考える学習活動が【地域調査の手法】に設定されている。また、野外調査の際に必要な技能が『スキル・アップ』に掲載されている。	体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域の課題を調べ解決方法を考える学習活動が【地域調査の方法を学ぼう】に設定されている。また、野外調査の際に必要な技能が『地域調査の手引き』に掲載されている。	体験活動の充実について、学校周辺の地域を調査し、その特色を考える学習活動が【地域調査のしかた】に設定されている。また、野外調査の際に必要な技能が『技能をみがく』に掲載されている。	体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域を調査し、その特色を考える学習活動が【地域調査の手法】に設定されている。また、野外観察の際に必要な技能が『スキルUP』に掲載されている。

	東書	教出	帝国	日文
情報活用能力の育成	情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【資料から発見！】に設定されている。また、写真の読み取り方といった基礎的・基本的な技能の習得が『スキル・アップ』に掲載されている。	情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【THINK！】に設定されている。また、新旧の地形図を比べるといった資料の扱い方が『地理の技』に掲載されている。	情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【やってみよう】に設定されている。また、資料を読み取る際の視点が『資料活用』に掲載されている。	情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【スキルUP】に設定されている。また、資料を読み取る際の視点が『資料活用』に掲載されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	社会（歴史的分野）	
発行者の番号・略称	116	日文
教科書の記号・番号	歴史	116 - 72
書名	中学社会 歴史的分野	
使用学年	1・2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の社会科では、探究的な活動、課題解決型学習、言語・表現活動の充実を図ることを重視し、学習内容をより身近なものにすることで興味関心を高めることを授業における重点箇所としている。また、「かながわ」、「日本」、「世界」それぞれの視点に立った教養を身に付け、国際社会で活躍する次世代のリーダーを育成することも本校の社会科の目標であることを踏まえ、特に社会の教科書選定においては、将来の「世界について」の視野を広げる観点も含め、重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「探究的な活動、課題解決型学習、言語・表現活動の充実を図る」「多面的・多角的な見方・考え方を働かせる学習が設定されている」の観点から学習活動について全9者の教科書を比較・検討し、帝国書院の「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」、教育出版の「中学社会 歴史 未来をひらく」、日本文教出版の「中学社会 歴史的分野」の3者の教科書に絞った。</p> <p>次に、本校の社会科が重視している「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」、「社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮」に加え、「かながわ」・「日本」・「世界」を知る特別活動等との関連で「世界とのかかわりの中の日本」という地理的・歴史的な視点の育成も踏まえ、これらの観点で再度、3者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <p>○「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」に関して、異なる時代の資料から時代の変化について考える学習活動が【学習のはじめに】に、各</p>		

編の学習課題を考える学習活動が【第○編の問いを立てよう】に設定されている。

- 「社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮」に関して、足尾鉍毒事件をめぐる異なる視点からの資料が『チャレンジ歴史』に、戦争をめぐる異なる立場の意見が『日露戦争』に掲載されている。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、日本文教出版の「中学社会 歴史的分野」を選定した。

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 社会（歴史的分野）

	東書	教出	帝国	山川	日文
課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、よりよい社会をめざして未来について考える学習活動が【歴史に学び、未来へと生かそう】に、各章の終わりに、時代の学習を振り返りまとめる学習活動が【探求課題を解決しよう】に設定されている。	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現代社会の課題を解決する方法を考える学習活動が【歴史学習の終わりに】に、地域の歴史を調べる学習活動が【身近な地域の歴史を調べよう】に設定されている。	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現在と未来の日本や世界のあり方について考える学習活動が【これからの社会を構想しよう】に、古墳の役割や武士の暮らしから時代の特色について考える学習活動が【アクティブ歴史AL】に設定されている。	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、平和で誰もが暮らしやすい社会について考える学習活動が【現在の世界はどこに向かっていくのだろうか】に、地域を調べる学習課題が【身近な地域を調べよう】に設定されている。	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現代社会の諸課題の解決方法を考える学習活動が【「歴史との対話」を未来に活かす】に、テーマを決めて地域の歴史を調査する学習活動が【身近な地域の歴史の探究】に設定されている。
	自由社	育鵬社	学び舎	令書	
	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、対話文をとおして時代の特色や課題の解決方法について考える学習活動が【対話とまとめ図のページ】に、日本人の名字の由来を題材に社会的事象の特色について調べる学習活動が【調べ学習のページ】に設定されている。	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、学んだことを将来に生かす方法を考える学習活動が【日本の歴史を大観する】に、現代の世界や日本で起きている課題について考え、説明する学習活動が【探究】に設定されている。	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現代と関連付けて課題を解決する方法を考える学習活動が【学習のまとめ】に、世界の交通手段を例として、写真やイラストを用いて時代の特色を考える学習活動が【世界を結ぶ交通機関】に設定されている。	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、日本が古代から国家を継続している理由について考える学習活動が【平成から令和へ】に、学習内容に関連した問いについて考える学習活動が【考えよう】に設定されている。	

	東書	教出	帝国	山川	日文
社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、戦争をめぐる異なる立場の意見が『日露戦争』に、自由民権運動をめぐる異なる立場に関する資料が『自由民権運動の高まり』に掲載されている。	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、幕府の開国に対する大名の意見が『たった四はいで夜も眠れず』に、戦争やデモをめぐる異なる立場の意見が『三・一独立運動』に掲載されている。	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、異なる意見の人物が議論する様子が『アクティブ歴史AL』に、情報の発信者による意図の違いに関する資料が『情報の意図を読み解く』に掲載されている。	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、産業革命による社会と人々の暮らしの変化に関する内容が『産業革命と社会の変化』に、明治維新による社会の変化に関する内容が『明治維新と諸改革』に掲載されている。	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、足尾鉍毒事件をめぐる異なる視点からの資料が『チャレンジ歴史』に、戦争をめぐる異なる立場の意見が『日露戦争』に掲載されている。

	自由社	育鵬社	学び舎	令書
	<p>社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、戦争や裁判をめぐる異なる立場の意見が『占領下の検閲と東京裁判』に、ペリーから見た日本人に関する資料が『ペリーの来航と開国』に掲載されている。</p>	<p>社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、黒船来航をめぐる異なる立場に関する資料が『黒船来航の衝撃』に、第一次世界大戦後の世界情勢に関する資料が『列強の植民地とアジアの民族運動』に掲載されている。</p>	<p>社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、パレスチナ問題をめぐる情勢や世界への影響に関する内容が『パレスチナの平和—中東戦争と石油危機—』に、戦争をめぐる異なる立場の意見が『戦場は中国だった—日露戦争—』に掲載されている。</p>	<p>社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、歴史的事象を賛成・反対の立場に分かれて議論する内容が『歴史について議論しよう』に、磨製石器の年代に関する異なる見解が『世界最古の磨製石器は日本かオーストラリアか』に掲載されている。</p>

	教出	帝国	日文
教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、時代の特色を議論する学習活動が【学習のまとめと表現】に、資料を用いて時代の変化について考える学習活動が【学習のはじめに】に設定されている。</p>	<p>・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、時代の特色を議論する学習活動が【タイムトラベル】に、章の問いに対する自分の考えを表現する学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。</p>	<p>・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各時代の特色を議論する学習活動が【まとめと振り返り】に、資料を用いて社会的事象について議論する学習活動が【資料活用】に設定されている。</p>
かながわ教育ビジョンとの関連	<p>・[思いやる力]の「人権教育」について、子どもや女性の労働や人権に関する絵画資料や説明文が『働く女性と子どもたち』に、平塚らいてうが書いた青鞥や水平社宣言に関する内容が『THINK!』に掲載されている。</p>	<p>・[思いやる力]の「人権教育」について、女性をめぐる環境や女性運動家の活動に関する内容が『「母性保護論争」を考察する』に、差別を受けていた人々の仕事を紹介する内容が『庭園づくりで活躍した河原者』に掲載されている。</p>	<p>・[思いやる力]の「人権教育」について、差別の撤回を求めた人々に関する内容が『新しい世の中をめざした人々』に、在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウンに関する内容が『地域に学ぶ』に掲載されている。</p>
内容と構成	<p>・主体的・対話的で深い学びについて、各章の問いを考える学習活動が【第〇章の学習のはじめに】に、各節の学習内容を捉える学習活動が【学習の見通し】に設定されている。</p> <p>・体験活動の充実について、地域の歴史を調査し、発表する学習活動が【身近な地域の歴史を調べよう】に設定されている。また、グループでの</p>	<p>・主体的・対話的で深い学びについて、学習する時代の特色を予想し話し合う学習活動が【「学習する時代の見通し」をもとう】に、各節の学習内容を捉える学習活動が【この章で学習する節の問い】に設定されている。</p> <p>・体験活動の充実について、地図に載っている場所に行って実際の景観や歴史を調べる学習活動が【歴史の調べ方・まと</p>	<p>・主体的・対話的で深い学びについて、異なる時代の資料から時代の変化について考える学習活動が【学習のはじめに】に、各編の学習課題を考える学習活動が【第〇編の問いを立てよう】に設定されている。</p> <p>・体験活動の充実について、地域の歴史を博物館などで調査し、発表する学習活動が【身近な地域の歴史の探究】に設定されている。また、発掘現場を調</p>

<p>学習におけるアイデアのまとめ方やメモの取り方が『地域調査の手引き』に掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を働かせる学習について、時期や推移、比較という視点で考える学習活動が【JUMP!】に設定されている。また、時期や推移、比較、関連という視点が『歴史にアプローチ』に掲載されている。 ・社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、幕府の開国に対する大名の意見が『たった四はいで夜も眠れず』に、戦争やデモをめぐる異なる立場の意見が『三・一独立運動』に掲載されている。 ・課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現代社会の課題を解決する方法を考える学習活動が【歴史学習の終わりに】に、地域の歴史を調べる学習活動が【身近な地域の歴史を調べよう】に設定されている。 	<p>め方・発表のしかた】に設定されている。また、地域の歴史に関する地図が『歴史の舞台を訪ねよう』に掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を働かせる学習について、推移や比較という視点で資料を読み取る学習活動が【見方・考え方】に設定されている。また、時期や年代、推移、比較、相互の関連という視点が『歴史的な見方・考え方』に掲載されている。 ・社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、異なる意見の人物が議論する様子が『アクティブ歴史AL』に、情報の発信者による意図の違いに関する資料が『情報の意図を読み解く』に掲載されている。 ・課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現在と未来の日本や世界のあり方について考える学習活動が【これからの社会を構想しよう】に、古墳の役割や武士の暮らしから時代の特色について考える学習活動が【アクティブ歴史AL】に設定されている。 	<p>査する内容が『チャレンジ歴史』に掲載されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を働かせる学習について、比較や推移という視点で時代の特色を考える学習活動が【中世ってどんな時代?】に設定されている。また、時系列、推移、比較、つながりという視点が『「歴史的な見方・考え方」とは?』に掲載されている。 ・社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、足尾鉾毒事件をめぐる異なる視点からの資料が『チャレンジ歴史』に、戦争をめぐる異なる立場の意見が『日露戦争』に掲載されている。 ・課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現代社会の諸課題の解決方法を考える学習活動が【「歴史との対話」を未来に活かす】に、テーマを決めて地域の歴史を調査する学習活動が【身近な地域の歴史の探究】に設定されている。
---	---	---

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	社会（公民的分野）	
発行者の番号・略称	2	東書
教科書の記号・番号	公民	002-92
書名	新編 新しい社会 公民	
使用学年	3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の社会科では、探究的な活動、課題解決型学習、言語・表現活動の充実を図ることを重視し、学習内容をより身近なものにすることで興味関心を高めることを授業における重点としている。また、本校の特色である「かながわ次世代教養」の学習も大切にしている。これらを踏まえ全6者の教科書を比較・検討した。</p> <p>○幅広い知識や教養を身に付け、現代の社会情勢や、現代社会が抱える諸課題について考える学習活動が掲載されていること</p> <p>○課題解決型学習や探究的な活動、言語・表現活動の充実を図る観点から、調べ学習を通してプレゼンテーションなどを行う活動や、論理的思考力を育む観点からディベートなどの学習活動が掲載されていること</p> <p>以上のことから、東京書籍「新編 新しい社会 公民」、帝国書院「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」、日本文教出版「中学社会 公民的分野」の3者に絞った。</p> <p>次に、本校の社会科が「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」、「社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮」に加え、「かながわ」「日本」「世界」を知る特別活動等との関連で「世界とのかかわりの中の日本」という地理的、歴史的な視点の育成を重視していることを踏まえ、この3者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <p>○「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」に関して、各章の課題設定、考察、課題解決の3つの流れで取り組む学習活動が【探究のステップ】</p>		

に、各章の学習全体を通して考える学習内容が【探究課題】に設定されていること。

- 「社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮」に関して、エネルギー問題や環境問題などの国際的な課題を、異なる視点から考える学習活動が【みんなでチャレンジ 温室効果ガスの排出制限について考えよう】に、エネルギー政策を複数の視点で考える学習活動が【もっと知りたい これからの日本のエネルギーを考える】に設定されていること。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、東京書籍「新編 新しい社会 公民」を選定した。

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 社会（公民的分野）

	東書	教出	帝国
課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、国際平和の実現に向けて争いの解決を考えてまとめる学習活動が【深めよう はちみつの争い】に、学習した内容を基に自分たちと政治との関わり方を考えてまとめる学習活動が【探究課題 第3章の探究課題を解決しよう】に設定されている。	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、憲法や基本的人権の学習を基に個人の尊重の在り方を考えてまとめる学習活動が【学習のまとめと表現 個人を尊重する日本国憲法の問い】、過去から現在、未来へつながる社会を考えてまとめる学習活動が【学習のまとめと表現 私たちの暮らしと現代社会の問い】に設定されている。	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、これからの日本の発電エネルギーの改善案を考えてまとめる学習活動が【アクティブ公民AL 2040年の日本の電力構成案を提案しよう】に、各章で学んだことを基に、各自でテーマして探究活動を行い、考えてまとめる学習活動が【5部 課題探究と私たち】に設定されている。
	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、労働や雇用の形態の学習から職業選択の自由と責任を考えてまとめる学習活動が【明日に向かって 職業について調べてみよう】に、社会保障制度の学習から自分の将来と年金制度の関わりを考えてまとめる学習活動が【明日に向かって 年金のしくみについて知ろう】に設定されている。	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、持続可能な世界に向け自分たちの考え方や生活用式の課題を考えてまとめる学習活動が【持続可能な日本と世界】に設定され、国会制度や法律、裁判の学習を基に、刑事裁判や少年法の課題を考えてまとめる学習活動が【第3章学習のまとめと発展】に設定されている。	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、公民で学習したことを基に自分で設定した課題を調べてまとめる学習活動が【テーマを決めてレポートを作成しよう】に、生活と現代社会の学習からマンションでのペット問題の解決策を考えてまとめる学習活動が【現代社会のこれから】に設定されている。
	日文	自由社	育鵬社

	東書	帝国	日文
教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『まとめの活動 第〇章の学習をまとめよう』に、語句についての補足が『もっと解説 WINWIN』に掲載されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、道路の建設計画を公共の福祉の観点からグループで話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ 公共の福祉について考えよう】に、地方自治の学習を基に公共サービスとコンビニエンスストアの提携方法を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 公共サービスとコンビニエンスストアについて考えよう】に設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生存権を例に現実社会の課題を効率・公正の観点から考える学習活動が【みんなでチャレンジ 生存権について考えよう】に、学校生活の事例から決まりやルールを考える学習活動が 	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習を振り返ろう』に、語句についての補足が【解説】に掲載されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、道路拡張工事をめぐる問題を複数の視点で考える学習活動が【アクティブ公民AL 青果店の立ちのきについて考えよう】に、裁判員制度の仕組みや意義を考える学習活動が【アクティブ公民AL 裁判員として裁判の判決を考えよう】に設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の課題を解決する多数決のあり方を考える学習活動が【アクティブ公民AL 民主主義のあり方を考えよう】に、現在と過去の社会の様子を描いた2つのイラストから日常生活の変化や課題を考える学習活動が【学習の前に 45年前と今の社会を比べてみよう】に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『まとめとふり返り 語句の意味を確認しよう』に、語句についての補足が【用語解説】に掲載されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ダイヤモンドランキングを用いて公園づくりを話し合う学習活動が【チャレンジ公民 公園づくりについて話し合おう】に、道路拡張計画を複数の意見を基に考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張計画について考えよう】に設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身の回りの課題を捉えて社会参画することを考える学習活動が【明日に向かって 15歳は子ども？それとも大人？】に、日常生活の事例から効率・公正の観点を踏まえて考える学習活動が【アクティビティ 効率と公正の考え方】に設定されて

	【効率と公正 1年前の学校でのトラブルについて考えよう】に設定されている。		いる。
かながわ教育ビジョンとの関連	<ul style="list-style-type: none"> ・[思いやる力]の「共生」について、アイヌ民族の歴史や権利保障への国際的な取組が『もっと知りたい 先住民族としてのアイヌ民族』に、神戸市の多文化交流の取組が『もっと知りたい 多文化共生のまちづくり』に掲載されている。 ・[たくましく生きる力]の「情報化」について、人工知能やIoTといった最新技術の活用例や日常生活へ及ぼす影響が『もっと知りたい 新しい情報技術で社会が変わる』に、POSシステムを例に情報化が流通業に与える変化が『消費生活を支える流通』に掲載されている。 ・[社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、中学生の取組を例にした地域の課題解決や政治参加を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 政治参加をしてみよう】に、市長選挙シュミレーションや条例案を作成する学習活動が【導入の活動 だれを市長に選ぶ】に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[思いやる力]の「共生」について、外国籍の子どもたちへ国際教室で日本語指導を行う様子が『未来に向けて 多文化共生の取り組み』に、介護現場の状況から社会保障の課題が『公民プラス 介護現場の人手不足』に掲載されている。 ・[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報が社会や個人に与える利便性と危険性が『情報化が進む現代』に、SNSにおけるフェイクニュースを例に身の回りを取り巻く情報の取扱いや課題が『世論とメディア』に掲載されている。 ・[社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、中学生の政治参加の仕組みを考える学習活動が【アクティブ公民 政治参加の方法を考えよう】に、身近な地域の課題を解決するための予算案を考える学習活動が【アクティブ公民 AL 自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう】に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[思いやる力]の「共生」について、海外に住む日本人の数の資料からグローバル化する社会の変化を示す内容が『グローバル化する社会で生きる私たち』に、温室効果ガスが環境に与える影響や気候変動の課題が『地球規模の環境問題と国際協力』に掲載されている。 ・[たくましく生きる力]の「情報化」について、不適切動画の投稿を例に情報化が抱える課題や情報モラルの必要性が『情報スキルアップ ネット社会とつき合う方法』に、ICTやSNSといった情報技術の発展が社会や家庭に与える変化や影響が『情報化で変わる社会と私たち』に掲載されている。 ・[社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、選挙制度の課題やこれからの選挙の在り方を考える活動が【アクティブ 選挙に行きたくなくなるしくみを考えよう】に、船橋市のこども未来会議室を例にまちづくりへの参加を考える学習活動が【明日に向かって まちづくりに参加しよう】に設定されている。

	東書	帝国	日文
内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びについて、各章の課題設定、考察、課題解決の3つの流れで取り組む学習活動が【探究のステップ】に、各章の学習全体を通して考える学習内容が【探求課題】に設定されている。 ・体験活動の充実について、公園の使用法やルールづくりを複数の立場や視点で考える学習活動が【深めよう T市の新しい公園の使用ルールを考えよう】に、みんなで作った学校生活のルールの見直しを話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ 決まりの見直しをしよう】に設定されている。 ・情報活用能力の育成について、地方財政の変化を表すグラフ資料から情報を読み取り地方公共団体の課題を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 地方財政（歳 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに、単元を通じた問いを確認する学習活動が【学習の前に】に、各節で設定された学習内容が【各節の問い】に設定されている。 ・言語能力の育成について、ウェビングを利用して現代社会の特色や課題を整理しながら考える学習活動が【アクティブ公民 現代社会の特色を考えよう】に、赤字バス路線の問題を解決するためにツールミンモデルやディスカッションを取り入れた学習活動が【アクティブ公民 AL 現代社会の特色を考えよう】に設定されている。 ・体験活動の充実について、ロールプレイを行って異なる立場から事情と主張を考える学習活動が【アクティブ公民 AL マンションの騒音問題を解決しよう】に、青 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに課題や活動への見通しをもつ学習活動が【どんな学習をするのかな?】に、各節で考えたり話し合ったりする学習活動が【学習課題】に設定されている。 ・言語能力の育成について、道路の拡張工事を例に挙げ異なる意見をツールミンモデルを活用して整理しながら考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張工事について考えよう】に、社会課題とSDGsの関わりをウェビングを活用して考える学習活動が【明日に向かって SDGsから社会の課題を考えよう】に設定されている。 ・体験活動の充実について、株式投資の仕組みや実際にどのような企業に投資をするかを考える学習

<p>出)の変化を調べよう】に、資料を読んで株式市場の仕組みや働きを考える学習活動が【株式会社の仕組み】に設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習上の困難さへの対応について、キャラクターの吹き出し・イラスト・図・写真といった内容が『導入の活動 T市のまちの様子から現代社会をながめてみよう』に、教科書を使った公民の学び方や課題設定に関する内容が『この教科書の使い方と学び方』に掲載されている。 ・生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、株式会社の仕組みの学習を基に株式投資を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 投資家になって考えよう】に、情報化による社会の変化から10年後の電話機を考える学習活動が【情報化 電話機の変化】に設定されている。 <p>・多面的・多角的に考察し、表現することについて、エネルギー問題や環境問題などの国際的な課題を、異なる視点から考える学習活動が【みんなでチャレンジ 温室効果ガスの排出制限について考えよう】に、エネルギー政策を複数の視点で考える学習活動が【もっと知りたい これからの日本のエネルギーを考える】に設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、国際平和の実現に向けて争いの解決を考えてまとめる学習活動が【深めよう はちみつの争い】に、学習した内容を基に自分たちと政治との関わり方を考えてまとめる学習活動が【探究課題 第3章の探究課題を解決しよう】に設定されている。 	<p>果店の立ち退きについてディベートを行う学習活動が【アクティブ公民 AL 青果店の立ちのきについて考えよう】に設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力の育成について、グラフ資料から現代の少子高齢化の課題を考える学習活動が【少子高齢化が進む現代】に、マスメディアの資料から情報発信の特性を考えてまとめる学習活動が【18歳への準備 メディアリテラシーを身につけよう】に設定されている。 ・生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめに過去と現代の社会の変化を示したイラストが『学習の前に 45年前と今の社会を比べてみよう』に、キャラクターのセリフで教科書の学び方の説明が『公民的分野の学習の全体像』に掲載されている。 ・生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、家計の支出と貯蓄の学習を基に家計簿の支出項目を考える学習活動が【アクティブ公民 家計簿の支出項目を考えよう】に、防災備蓄倉庫の運用規則の改善方法を話し合う学習活動が【私たちをきまり】に設定されている。 ・課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、これからの日本の発電エネルギーの改善案を考えてまとめる学習活動が【アクティブ公民 AL 2040年の日本の電力構成案を提案しよう】に、各章で学んだことを基に、各自でテーマして探究活動を行い、考えてまとめる学習活動が【5部 課題探究と私たち】に設定されている。 	<p>活動が【アクティビティ 株式投資をしてみよう】に、公園づくりについて複数の立場や意見から考える学習活動が【チャレンジ公民 公園づくりについて話し合おう】に設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力の育成について、変化する雇用の形態やそれらの問題をグラフ資料を読み取りながら考える学習活動が【変化する雇用のかたち】に、日本の人口のグラフ資料からこれからの社会の変化を予想する学習活動が【アクティビティ 日本の人口】に設定されている。 ・生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめにマンガ形式やイラストで課題の説明が『学習のはじめに』に、公民で学ぶ内容やコンテンツ・コラムに関する補足がイラスト付きで『教科書の構成と学び方』に掲載されている。 ・生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、人権や公共の福祉について学習したことを基に異なる意見を整理しながら道路の拡張計画を考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張計画について考えよう】に、地球温暖化問題に対する3つの異なる政党の意見に対して自分たちの考えをまとめる学習活動が【チャレンジ公民 地球温暖化に対する政策について考えよう】に設定されている。 ・課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、労働や雇用の形態の学習から職業選択の自由と責任を考えてまとめる学習活動が【明日に向かって 職業について調べてみよう】に、社会保障制度の学習から自分の将来と年金制度の関わりを考えてまとめる学習活動が【明日に向かって 年金のしくみについて知ろう】に設定されている。
--	---	---

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	地図	
発行者の番号・略称	46	帝国
教科書の記号・番号	地図	046-72
書名	中学校社会科地図	
使用学年	1・2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の社会科では、探究的な活動、課題解決型学習、言語・表現活動の充実を図ることを重視し、学習内容をより身近なものにすることで興味関心を高めることを授業における重点箇所としている。</p> <p>本校の社会科においては、「学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養すること」、「主体的・対話的で深い学びの実現」を主眼としていることから、全2者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養すること」に関して、SDGs と関連させ課題を解決するためにできることを考える学習活動が【地図帳を通してSDGsを考えてみよう】や【地図で考える持続可能な社会】に設定されていること。 ○「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」に関して、複数の視点から地図を活用して考える学習活動が【渥美半島で野菜や花の栽培がさかんになった理由】や【栄養不足人口の割合が高い国や地域の人が多く集まっている州】に設定されていること。 <p>こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、帝国書院の「中学校社会科地図」を選定した。</p>		

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 社会（地図）

	東書	帝国
教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得について、地図の使い方の留意点を示した内容が『この地図帳の活用方法』に、地図を読み取る問いが『Bee's eye』に掲載されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地図や資料を用いて降水量が多くなる仕組みを考える学習活動が【日本の自然環境（気候）】に設定されている。また、地域の時差をとらえる方法が『世界の標準時』に掲載されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、SDGsと関連させ課題を解決するためにできることを考える学習活動が【現代社会の課題を解決するために「SDGs」を知ろう！】や【世界の経済・国際関係】に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得について、地図の使い方の観点を示した内容が『この地図帳の使い方』に、地図をもとに確認する問いが『地図で発見！』に掲載されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地図や資料を用いて人口分布の特徴を考える学習活動が【世界と日本の人口】に設定されている。また、地域の時差をとらえる方法が『等時帯』に掲載されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、SDGsと関連させ課題を解決するためにできることを考える学習活動が【地図帳を通してSDGsを考えてみよう】や【地図で考える持続可能な社会】に設定されている。
かながわ教育ビジョンとの関連	<ul style="list-style-type: none"> ・[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、世界の人口変化を表す地図やグラフが『幼児死亡率』に、災害の際に避難する場所を示したハザードマップが『日本の自然環境（自然災害）』に掲載されている。 ・[たくましく生きる力]の「食育」について、世界の料理を写真とともに紹介する内容が『世界の食文化』に、アフリカの食文化が『アフリカ州の資料』に掲載されている。 ・[社会とかかわる力]の「環境教育」について、地球環境問題に対して取り組めることを考える学習活動が【世界と日本の環境問題】に設定されている。また、開発と自然保護について考える資料が『アマゾン川流域の開発と熱帯林伐採』に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、アフリカ諸国の栄養不足人口の割合の変化を表す地図やグラフが『貧困率と栄養不足の人口』に、火山の噴火や崖崩れなどの災害に対する取組が『自然災害に対する備え（模式図）』に掲載されている。 ・[たくましく生きる力]の「食育」について、世界の食事の様子を写真とともに紹介する内容が『特色ある料理と食事』に、日本の伝統的な料理を写真とともに紹介する内容が『日本の伝統的な料理』に掲載されている。 ・[社会とかかわる力]の「環境教育」について、持続可能な社会を実現するための取組を考える学習活動が【世界の環境問題】に設定されている。また、開発と自然保護について考える資料が『スマトラ島（インドネシア）の森林の変化』に掲載されている。

<p>内容と構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びについて、複数の地図から考える学習活動が【中国国内の自然や文化の分布の関係性】や【GDP や所得の地域差や変化】に設定されている。 ・カリキュラム・マネジメントについて、外国語学習と関連した内容が『さまざまな言語の「私は学生です」』に、主な地震の震源や変動帯を確認できる理科と関連のある資料が『世界の火山・地震』に掲載されている。 ・言語能力の育成について、資料を活用し情報をまとめ議論する学習活動が【Bee's eye】に設定されている。 ・生徒が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮が『この地図帳の活用方法』に、教科書で学習する世界や日本に関連した資料が『さくいんの引き方』に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びについて、複数の視点から地図を活用して考える学習活動が【渥美半島で野菜や花の栽培がさかんになった理由】や【栄養不足人口の割合が高い国や地域の人が多く集まっている州】に設定されている。 ・カリキュラム・マネジメントについて、外国語学習と関連した内容が『各国語のあいさつ例』に、地震の震央とプレートが確認できる理科と関連のある資料が『日本の地震と火山の分布』に掲載されている。 ・言語能力の育成について、学習内容を地図をもとに確認し話し合う学習活動が【地図で発見！】に設定されている ・生徒が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮が『地図帳を使いこなそう』に、学習した内容を地図から探す方法が『さくいんの引き方』に掲載されている。
--------------	--	--

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	数学	
発行者の番号・略称	104	数研
教科書の記号・番号	数学	104-73、104-83、104-93
書名	これからの 数学1 これからの 数学2 これからの 数学3	
使用学年	1、2、3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の数学科においては、「基礎的な知識や技能を習得し、それらを活用して物事を数理的に考える力をつける」、「数や図形に関する数学的な活動を通して、数学のよさや数学を学ぶ楽しさを実感する」、「日常生活や社会の中で数学を活用する力をつける」、「筋道を立てて説明する活動を通して、論理的な表現力を身につける」ことを目標にしている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』を涵養するための工夫や配慮」、「[たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる」、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」といった観点から全7者の教科書を比較・検討し、数研出版「これからの 数学1、2、3」、教育出版「中学数学1、2、3」、啓林館「未来へひろがる数学1、2、3」、日本文教出版「中学数学1、2、3」の4者の教科書に絞った。</p> <p>次に、「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』を涵養するための工夫や配慮」、「[たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる」、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」に、「体験活動の充実」という観点を加え、4者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <p>○「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では気象予報士を例に、第2学年ではスポーツアナリストを例に、第3学年ではフラクタル日除けを例に、社会で数</p>		

学が活用されている事例が『数学旅行』に掲載されていること。

- [たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第1学年ではヒストグラムと平均値との関係を考える課題を例に、第2学年では3の倍数の見分け方を説明する課題を例に、第3学年では三平方の定理の逆が成り立つ理由を考える課題を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【考えよう】に設定されていること。
- 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【必要な石の数を求めよう】に、第2学年では【 n 角形の内角の和を求めよう】に、第3学年では【図形を組み合わせて長方形をつくろう】に設定されていること。
- 体験活動の充実について、第1学年では、封筒を使って立体を組み立て特徴を調べる学習活動が【封筒で立体を作ってみよう】に、第2学年では、合同な三角形を作図する学習活動が【三角形の合同条件】に、第3学年では、複数の長方形と正方形を並べかえて1つの長方形をつくる学習活動が【図形を組み合わせて長方形をつくろう】に設定されていること。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、数研出版の「これからの 数学1、2、3」を選定した。

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 数学

	東書	大日本	学図	教出
学びを人生や社会に生かそうとする 「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、スポーツ栄養士を例に、社会で数学が活用されている事例が『MATH CONNECT』に掲載されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、スポーツデータアナリストを例に、社会で数学が活用されている事例が『社会にリンク』に掲載されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、ルーローの三角形を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学へのいざない』に掲載されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、スポーツアナリストを例に、社会で数学が活用されている事例が『数学しごと人』に掲載されている。
	啓林館	数研	日文	
	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、琵琶湖の水位のコントロールを例に、社会で数学が活用されている事例が『数学ライブラリー』に掲載されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、気象予報士を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学旅行』に掲載されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、建築士を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学を仕事に生かす』に掲載されている。	

	東書	大日本	学図	教出
[たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、2次方程式を利用した畑の通路の幅の求め方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【深い学び】に設定されている。	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、相似を利用した校舎の高さの調べ方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【解決のしかたを探ろう】に設定されている。	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、円周角が中心角の半分の大きさになることを証明する課題を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【説明する力をつけよう】に設定されている。	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、2次方程式を利用した道幅の求め方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【話し合ってみよう】に設定されている。
	啓林館	数研	日文	
	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、方眼を使った異なる面積の正方形の作成を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【話しあおう】に設定されている。	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、三平方の定理の逆が成り立つ理由を考える課題を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【考えよう】に設定されている。	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、円周角の定理を利用した船の位置の見つけ方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【学び合おう】に設定されている。	

		ている	いる。
--	--	-----	-----

	東書	大日本	学図	教出
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【棒の本数を求めてみよう】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【75°の角をつくろう】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【ストローは何本必要?】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【キャップは何個集まっているのかな?】に設定されている。
	啓林館	数研	日文	
	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【1日乗り放題のチケットを買った方がいい?】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【必要な石の数を求めよう】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【作図の方法を説明しよう】に設定されている。	

	教出	啓林館	数研	日文
学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、スポーツアナリストを例に、社会で数学が活用されている事例が『数学しごと人』に掲載されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、琵琶湖の水位のコントロールを例に、社会で数学が活用されている事例が『数学ライブラリー』に掲載されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、気象予報士を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学旅行』に掲載されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、建築士を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学を仕事に生かす』に掲載されている。

	教出	啓林館	数研	日文
[たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、2次方程式を利用した道幅の求め方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【話し合ってみよう】に設定されている。	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、方眼を使った異なる面積の正方形の作成を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【話しあおう】に設定されている。	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、三平方の定理の逆が成り立つ理由を考える課題を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【考えよう】に設定されている	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、円周角の定理を利用した船の位置のを見つけ方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【学び合おう】に設定されている。

	教出	啓林館	数研	日文
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【キャップは何個集まっているのかな?】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【1日乗り放題のチケットを買った方がいい?】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【必要な石の数を求めよう】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【作図の方法を説明しよう】に設定されている。

	教出	啓林館	数研	日文
体験活動の充実	体験活動の充実について、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【正方形の1辺の長さは?】に設定されている。	体験活動の充実について、複数の円周角をかいで大きさを比べる学習活動が【ストリングアートの中のきまりをさがそう】に設定されている。	体験活動の充実について、複数の長方形と正方形を並べかえて1つの長方形をつくる学習活動が【図形を組み合わせで長方形をつくろう】に設定されている。	体験活動の充実について、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【正方形の1辺の長さはわかるかな?】に設定されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	理科	
発行者の番号・略称	2	東書
教科書の記号・番号	理科	002-72、002-82、002-92
書名	新編 新しい科学1 新編 新しい科学2 新編 新しい科学3	
使用学年	1、2、3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の理科においては、生徒が自ら課題を見出し解決する力や探究心の向上、また、生徒一人ひとりの個性や創造性の伸長をめざすため、主体的・対話的で深い学びの実現をめざす学習活動、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成に重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「主体的・対話的で深い学び」の実現といった観点から全5者の教科書を比較・検討し、東京書籍「新編 新しい科学1、2、3」、学校図書「中学校科学1、2、3」、啓林館「未来へひろがるサイエンス1、2、3」の3者に絞った。</p> <p>次に、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす学習活動に、3年間を通じて観察・実験が、「課題を見出し解決する力」、「科学的に探究する力」の育成が図られるような工夫や配慮がなされているか、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮がなされているかという観点を加え、3者を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「主体的・対話的で深い学び」について、『「探究」の流れを確認しよう』に課題の発見から仮説・構想、観察・実験を通して分析・検討し、活用までのステップがアイコンにより明確に示されていること。 ○「課題を見出し解決する力」、「科学的に探究する力」の育成について、問題発見『レッツスタート!』、仮説『?に対する自分の考えは?』、構想『調べ方を考えよう』、 		

分析・解釈『考察しよう』、検討・改善『解決方法を考えよう』などが掲載され、科学的に探究する過程に直結する活動が示されていること。

- 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、『Before&After』が単元初めと終わりに設定され、自らの考えの変容を知ることができ、探究のプロセスを示す『理科の見方、考え方』により学びの深化を図れる構成であること。また、観察・実験では、各学年に応じて身に付ける力を設定した『じっくり探究』が掲載されていること。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、東京書籍「新編新しい科学1、2、3」を選定した。

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 理科

	東書	大日本	学図
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮に関して	<p>・主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れとして、第1学年では塩と砂糖と小麦粉の例が、第2学年では電磁石の例が、第3学年では麹菌の例が、『<u>「探究」の流れを確認しよう</u>』に掲載されている。</p>	<p>・主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する7項目の学習の流れとして、第1学年では身近な物理現象の例が、第2学年では生物の体のつくりとはたらきの例が、第3学年では化学変化とイオンの例が、『<u>学習の見通しをもとう</u>』に掲載されている。</p>	<p>・主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する10項目の学習の流れとして、第1学年では仮説を立てそれを検証することの例が、第2学年では根拠に基づいて判断することの例が、第3学年では筋道を立て考え解決していくことの例が『<u>なぜ理科を学ぶの？</u>』に掲載されている。</p>
	教出	啓林館	
	<p>・主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れとして、第1学年では5種類の水溶液の例が、第2学年では3種類の白い粉末の例が、第3学年では銅の質量と銅と結びつく酸素の質量の関係の例が『<u>探究の進め方</u>』掲載されている。</p>	<p>・主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れとして、第1学年ではごま塩の粒の不思議の例が、第2学年では霧が発生する仕組みの例が、第3学年では影と太陽の関係の例が『<u>探究とは</u>』に掲載されている。</p>	
	東書	学図	啓林館
科学的に探究する力・「思考力・判断力・表現力等」の育成について	<p>・科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【生物を比べてみると何がわかるだろうか。】に、第2学年では【化学変化が起こると物質の質量はどうなるだろうか。】に、第3学年では【仕事とは何だろうか。】に設定されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【<u>学びをいかして考えよう</u>】に、第2学年では【<u>課題に対する自分の考えは？</u>】に、第3学年では【<u>調べて考察しよう</u>】に設</p>	<p>・科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【<u>どうする、融点・沸点が一定でない</u>】に、第2学年では【<u>どうする、抵抗の計算（1）</u>】に、第3学年では【<u>どうする、太陽の道筋</u>】に設定されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【<u>この時間の課題</u>】に、第2学年では【<u>結果から考察する</u>】に、第3学年では【<u>探究を深める</u>】に設定されている。</p>	<p>・科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【<u>動物の背骨のようすの観察</u>】に、第2学年では【<u>空気の体積変化と雲のでき方</u>】に、第3学年では【<u>うすい塩酸の電気分解</u>】に設定されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【<u>考えてみよう</u>】に、第2学年では【<u>活用してみよう</u>】に、第3学年では【<u>探究のふり返し</u>】に設定されている。</p>

	定されている。		
--	---------	--	--

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	音楽（一般）	
発行者の番号・略称	17	教出
教科書の記号・番号	音楽	017-72、017-83、017-84
書名	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの	
使用学年	1、2・3、2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の音楽科においては、「多様な活動を通し、生涯にわたり音楽を愛する気持ちの育成」、「日本から世界へ視野を広げる態度の育成」、「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」に重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「多様な活動を通し、生涯にわたり音楽を愛する気持ちの育成」、「日本から世界へ視野を広げる態度の育成」、「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」という観点で、教育出版「中学音楽1、2・3上下 音楽のおくりもの」と教育芸術社「中学生の音楽1、2・3上下」という全2者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「多様な活動を通し、生涯にわたり音楽を愛する気持ちの育成」に関して『学習MAP』により、表現の工夫や曲の特長を捉える際の着眼点が示されていること。また『Active!』では、表現の工夫に関して考え、仲間と意見交換する活動例が示されていること。 ○「日本から世界へ視野を広げる態度の育成」に関して、全学年において世界平和を考える曲が取り上げられていること。また1では『日本とアジアの声によるさまざまな表現』について、その特徴について調べ、仲間と意見交換ができる活動例が示されていること。 ○「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」の充実に関して、2・3上で『能』が2作品取り上げられていること。 <p>こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、教育出版の「中学音楽1、2・3上下 音楽のおくりもの」を選定した。</p>		

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	音楽（一般）	
発行者の番号・略称	17	教出
教科書の記号・番号	音楽	017-72、017-83、017-84
書名	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの	
使用学年	1、2・3、2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の音楽科においては、「多様な活動を通し、生涯にわたり音楽を愛する気持ちの育成」、「日本から世界へ視野を広げる態度の育成」、「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」に重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「多様な活動を通し、生涯にわたり音楽を愛する気持ちの育成」、「日本から世界へ視野を広げる態度の育成」、「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」という観点で、教育出版「中学音楽1、2・3上下 音楽のおくりもの」と教育芸術社「中学生の音楽1、2・3上下」という全2者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「多様な活動を通し、生涯にわたり音楽を愛する気持ちの育成」に関して『学習MAP』により、表現の工夫や曲の特長を捉える際の着眼点が示されていること。また『Active!』では、表現の工夫に関して考え、仲間と意見交換する活動例が示されていること。 ○「日本から世界へ視野を広げる態度の育成」に関して、全学年において世界平和を考える曲が取り上げられていること。また1では『日本とアジアの声によるさまざまな表現』について、その特徴について調べ、仲間と意見交換ができる活動例が示されていること。 ○「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」の充実に関して、2・3上で『能』が2作品取り上げられていること。 <p>こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、教育出版の「中学音楽1、2・3上下 音楽のおくりもの」を選定した。</p>		

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 音楽（一般）

	教芸	教出
教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、音楽と自己のイメージを関連付けて表現する学習活動が【夢の世界を】に設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、音楽家によるメッセージと写真が『音楽の一員になれる時間』に掲載され、歌詞と関連のある風景の写真が『浜辺の歌』に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、異なる2つの楽曲の表現を比較し話し合う学習活動が【比べてみよう】に設定されている。 ・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、音楽家によるメッセージと写真が『作者の思いにふれる』に掲載され、夏の思い出では、歌詞と関連のある『尾瀬ヶ原』の写真が掲載されている。
かながわ教育ビジョンとの関連	<ul style="list-style-type: none"> ・[思いやる力]の「人権教育」について、生命に関する歌詞が『涙そうそう』に掲載され、音楽を通して、共に生きることや文化の多様性、特徴を考える学習が『仕事と音楽』に掲載されている。 ・[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の文化である太鼓や神楽を引き継ぐ中学生の姿が『私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能』に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[思いやる力]の「人権教育」について、命や人権を考える歌詞が『生命が羽ばたくとき』に掲載され、SDGsに関連づけた教材が『日本とアジアの声によるさまざまな表現』に掲載されている。 ・[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、アウトリーチの活動や音楽に関わる活動が『音楽のチカラで人と社会を未来でつなぐ』に掲載されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	音楽（器楽合奏）	
発行者の番号・略称	17	教出
教科書の記号・番号	器楽	017-72
書名	中学器楽 音楽のおくりもの	
使用学年	1・2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の音楽科では、「多様な活動を通し、生涯にわたり音楽を愛する気持ちの育成」、「自主的に器楽奏法を習得する力の育成」、「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」に重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「多様な活動を通し、生涯にわたり音楽を愛する気持ちの育成」、「自主的に器楽奏法を習得する力の育成」、「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」という観点で、教育出版「中学器楽 音楽のおくりもの」と教育芸術社「中学生の器楽」という全2者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「多様な活動を通し、生涯にわたり音楽を愛する気持ちの育成」に関して、『表現の仕方を調べてみよう』では、楽器の音色や特徴を調べ、仲間と意見交換する活動例が示されていること。 ○「自主的に器楽奏法を習得する力の育成」に関して、アルトリコーダーの基本的な技能の習得に向けて、写真やイラストにより段階的に課題が設定されていること。『ギターコード表』では写真が使用されており視覚的に理解しやすいこと。 ○「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」に関して、箏の学習において『親指による基本的な奏法』では、大きく見やすい写真が掲載されており、演奏方法について詳しい解説が掲載されていること。 <p>こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、教育出版の「中学器楽 音楽のおくりもの」を選定した。</p>		

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 音楽（器楽）

	教育芸術社	教育出版
教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得について、奏法の写真や奏法を確認する図が『姿勢と構え方』に、姿勢や呼吸についての図や解説が『「美しい音」は「よい姿勢から」』や『音の響かせ方』に掲載されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、曲想を感じ取り、音にふさわしい奏法で表現する学習活動が【アンサンブルセミナー】に設定され、曲ごとの学習活動が【吹いてみよう】に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」の習得について、手元や口元の写真や複数の角度から撮影された写真が『姿勢とかまえ方』に、息の流れの図示を用いた奏法に関する解説が『リコーダー』『篠笛』『尺八』に掲載されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、見聞きごとに学んだことを表現する学習活動が【まとめの曲】に設定され、主旋律の表れ方を確認し、曲想を味わいながら表現する学習活動が【風笛】に設定されている。
内容と構成	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びについて、曲の特徴を捉えて意見交流する学習活動が【曲の構成を捉えよう】に設定され、学習のねらいや教材の関連性を表記した内容が『「中学生の器楽」の学習内容』に掲載されている。 ・言語能力の育成について、音楽表現の違いや楽曲の構成に関して意見を交流する学習活動が【曲の構成を捉えよう】に設定されている。 ・伝統や文化に関する教育の充実について、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の5種類の和楽器の楽曲が『吹いてみよう』や『弾いてみよう』に掲載されている。 ・学校段階の円滑な接続について、運指や音高、音色を確認する学習活動が【喜びの歌】や【かつこう】に設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びについて、新しい運指や練習曲、まとめ・ふりかえりの学習活動が【曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、他のパートと合わせて演奏する技能を身につけたりしながら、表現を工夫しよう】に設定され、楽器の特徴を踏まえて考えたことを話し合う学習活動が【表現の仕方を調べてみよう PART-1】に設定されている。 ・言語能力の育成について、共通点や相違点を考え意見を交流する学習活動が【表現の仕方を調べてみよう PART-2】に設定されている。 ・伝統や文化に関する教育の充実について、篠笛、尺八、箏、三味線、太鼓の5種類の和楽器の楽曲が『基本的な奏法を身につけたりしながら表現しよう』に掲載されている。 ・学校段階の円滑な接続について、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの運指や音高、音色を確認する学習活動が【しりとりに歌】や【喜びの歌】に設定されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	美術	
発行者の番号・略称	38	光村
教科書の記号・番号	美術	038-72、038-73、038-82
書名	美術 1 美術 1 資料 美術 2・3	
使用学年	1、2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の美術科においては、「対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにすること」や、「造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにすること」に重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、「対象や事象を捉える造形的な視点について理解すること」「表現方法を創意工夫し、創造的に表すこと」「造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えること」「主題を生み出し豊かに発想し構想を練ること」「美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めること」を観点として、開隆堂「美術1」「美術2・3」、光村図書「美術1」「美術1資料」「美術2・3」、日本文教出版「美術1 美術との出会い」「美術2・3上 学びの実感と深まり」「美術2・3下 学びの探求と未来」という全3者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「対象や事象を捉える造形的な視点について理解すること」に関して、基礎的な知識を例示した内容が「美術1資料」の『どんな材料でつくる?』に掲載されていること。 ○「表現方法を創意工夫し、創造的に表すこと」に関して、基礎的な技能を例示した内容が「美術1資料」の『どうやって描く?』に掲載されていること。 		

- 「造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えること」に関して、「A表現」と「B鑑賞」及び〔共通事項〕の学習内容を関連させた題材【心ひかれるこの風景】が設定されていること。
- 「主題を生み出し豊かに発想し構想を練ること」に関して、生徒が主題を生み出し、発想し、構想を練る思考の過程が、『表現 発想・構想』の中でアイデアスケッチなどとともに取り上げられ示されていること。
- 「美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めること」に関して、作品から想像して話し合う学習活動が【「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏場」を鑑賞しよう】に設定されていること。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、光村図書の「美術1」「美術1資料」「美術2・3」を選定した。

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 美術

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

	開隆堂	光村	日文
生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	「知識・技能」の習得について、基礎的な知識や技能が『用具を知って使ってみよう』や『量感の表現』に掲載されている。	「知識・技能」の習得について、基礎的な知識や技能が『どんな材料でつくる?』や『どうやって描く?』に掲載されている。	「知識・技能」の習得について、基礎的な知識や技能が『どんなふうに描きたい?』や『立体を描く』に掲載されている。
未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、発想や構想の手掛かりが『発想・構想のヒント』に、鑑賞の方法が『鑑賞ってなんだろう』に掲載されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、アイデアを生み出すきっかけが『発想のしかたはさまざま』に、鑑賞で使う言葉が『美術鑑賞を楽しむ手がかり』に掲載されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、どのように発想や構想をするのかが『発想・構想の手立て②』に、鑑賞の対象が『鑑賞との出会い』に掲載されている。
学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、創造活動の喜びや美術の学びの意義を示したメッセージが『美術と共に生きていく』に、各題材の学びの目標が『学習の目標』に掲載されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、創造活動の喜びや美術の学びの意義につながる詩が『うつくしい!』に、各題材の学びの目標が『目標』に掲載されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、創造活動の喜びや美術の学びの意義を示したオリエンテーションが『学びの実感と深まり』に、各題材の学びの目標が『学びの目標』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

	開隆堂	光村	日文
「思いやる力」他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	[思いやる力]の「豊かな心」について、インクルーシブな社会の実現に向けたデザインの意味や役割を考える学習活動が【つながるデザイン】に設定されている。また、一人ひとりの絵を貼り合わせた作品が『クラス生徒図鑑』に掲載されている。	[思いやる力]の「豊かな心」について、ユニバーサルデザインの特徴や役割を考える学習活動が【みんなのためのデザイン】に設定されている。また、色覚の特性による見え方や配色の方法が『色の効果と配色』に掲載されている。	[思いやる力]の「豊かな心」について、社会や暮らしの中での美術の働きを考える学習活動が【デザインの力でできること】に設定されている。また、デザイナーのインタビューが『文字から考える他者のためのデザイン』に掲載されている。

<p>「たくましく生きる力」自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。</p>	<p>「たくましく生きる力」の「責任感」について、美術を通じた持続可能な世界をめざす取組が『持続可能な未来へ』に、修理をしながら装飾する技法が『器を使い続ける工夫』に掲載されている。</p>	<p>「たくましく生きる力」の「責任感」について、美術を通じたよりよい未来へ向けた問いが『私たちに問いかける美術』に、防災のためにデザインされた作品が『防災の知識を身につける』に掲載されている。</p>	<p>「たくましく生きる力」の「責任感」について、美術を通じて環境問題を投げかける作品が『問題を提起する力』に、自然の物や廃材の利用が『材料は身の回りで探そう』に掲載されている。</p>
<p>「社会とかかわる力」社会とかかわるの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。</p>	<p>「社会とかかわる力」の「生きること」について、自己の内面を見つめ、自分と向き合って表現する学習活動が【自分と向き合う】に設定されている。また、美術の学びと将来や社会とのつながりが『美術と私と社会』に掲載されている。</p>	<p>「社会とかかわる力」の「生きること」について、自己の内面を見つめ、今や将来の自分を表現する学習活動が【今の自分、これからの自分】に設定されている。また、社会の中での美術の力や働きが『美術の力』に掲載されている。</p>	<p>「社会とかかわる力」の「生きること」について、自己の内面を見つめ、自分と対話して表現する学習活動が【わたし自身を見つめて】に設定されている。また、美術の学びが社会でどのように生きるかが『社会に生きる美術の力』に掲載されている。</p>

3 内容と構成

	開隆堂	光村	日文
<p>主体的・対話的に資する工夫や配慮</p>	<p>主体的・対話的で深い学びについて、学習のまとめりに何をどう表現するのが『自分の思いを表そう』や『つくることにつながる』に掲載されている。</p>	<p>主体的・対話的で深い学びについて、学習のまとめりに何をどう表現するのが『「絵や彫刻」の世界』や『「デザインや工芸」の世界』に掲載されている。</p>	<p>主体的・対話的で深い学びについて、学習のまとめりに何をどう表現するのが『絵や彫刻との出会い』や『デザインや工芸との出会い』に掲載されている。</p>
<p>他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮</p>	<p>カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連する学習活動が【美術史の扉】に、技術・家庭科と関連する学習活動が【ずっと木といっしょに】に設定されている。</p>	<p>カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連する学習活動が【響き合う形と色】に、数学科と関連する学習活動が【地域の魅力を表すパッケージ】に設定されている。</p>	<p>カリキュラム・マネジメントについて、道徳科と関連する学習活動が【住み続けられる町づくり】に、社会科と関連する学習活動が【原始の美に出会う旅】に設定されている。</p>

○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

	開隆堂	光村	日 文
言語能力の確実な育成	言語能力の育成について、作品を比べて違いを話し合う学習活動が【印象派の表現の広がり】に設定されている。また、感じたことを言葉とともに残したスケッチが『スケッチや記録をとる』に掲載されている。	言語能力の育成について、作品から物語を想像して話し合う学習活動が【「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏場」を鑑賞しよう】に設定されている。また、言葉で考えを広げたり整理したりする方法が『発想・構想のために』に掲載されている。	言語能力の育成について、作品の見え方の変化を話し合う学習活動が【屏風、美のしかけ】に設定されている。また、日常生活の中の色や形を言葉とともに残した記録が『アイデアをストックしておこう』に掲載されている。
充実 伝統や文化に関する教育の	伝統や文化に関する教育の充実について、仏像彫刻の造形の特徴や空間の構成を考える学習活動が【仏像が表す世界】に、日本の表現がどのように西洋の作品に影響を与えたのかを考える学習活動が【時代と文化を越えて】に設定されている。	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の文化や表現の特徴について考える学習活動が【日本の絵画を楽しむ五つのキーワード】に、世界各地の文様から共通点を話し合う学習活動が【暮らしをいろどる文様】に設定されている。	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の美意識や技を考える学習活動が【日本の技と心を受け継いで】に、日本や西洋の文化財の修復から美術文化の継承と創造について考える学習活動が【どこまで修復すべきか】に設定されている。
体験活動の充実	体験活動の充実について、自然の材料の生かし方を考え遊ぶものをつくる学習活動が【つくって体感みんなで体験】に、展覧会の企画や告知をする学習活動が【展覧会をつくる】に設定されている。	体験活動の充実について、自然の材料に触れ、生活に使うものをつくる学習活動が【木と親しむ暮らし】に、友だちと協力して描く学習活動が【あれ？どうなっているの】に設定されている。	体験活動の充実について、自然の材料で染めたり、身に付けるものをつくったりする学習活動が【自分を表現する色】に、友だちと模様の組み合わせを考える学習活動が【つなげて広がる模様の世界】に設定されている。
接続 学校段階間の円滑な	学校段階間の円滑な接続について、小学校図画工作科での学習の振り返りが『図画工作から美術へ』に掲載されている。	学校段階間の円滑な接続について、小学校図画工作科の学びを生かすことが『美術の扉を開こう』に掲載されている。	学校段階間の円滑な接続について、小学校図画工作科と中学校の3年間の学びのつながりが『ようこそ美術の学びへ』に掲載されている。
情報活用能力の育成	情報活用能力の育成について、作者や作品の創造性を尊重することや著作物の利用の仕方が『著作権を知らう』に、著作権や肖像権の説明が『これってどう撮るの』に掲載されている。	情報活用能力の育成について、作者や作品の創造性を尊重することや著作権や肖像権の説明が『学習を支える資料一覧』に、インターネット上の画像データについての留意点が『端末を活用する』に掲載されている。	情報活用能力の育成について、作者や作品の創造性を尊重することや著作権や肖像権の考え方が『動画で表現する』に、写真を撮影するときの留意点が『写真で表現する』に掲載されている。

<p>生徒の学習上の困難さに応じた工夫</p>	<p>生徒の学習上の困難さへの対応について、学習活動の進め方がキャラクターの吹き出しに、題材ページの構成やマークの意味が『教科書の使い方』に掲載されている。</p>	<p>生徒の学習上の困難さへの対応について、生徒の学習活動の過程が『みんなの工夫』に、題材ページの構成やマークの意味が『教科書を活用しよう』に掲載されている。</p>	<p>生徒の学習上の困難さへの対応について、学習活動での作品の見方が『造形的な視点』に、題材ページの構成やマークの意味が『教科書の使い方』に掲載されている。</p>
<p>生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【語る彫刻】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p>	<p>生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【「最後の晚餐」を鑑賞しよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p>	<p>生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【瞬間の美しさを形に】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p>
<p>生徒が自ら造形的な見方・考え方を働かせながら、表現したり鑑賞したりして、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができるような工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることに、漫画と文化財との表現のつながりが『私たちに身近な美術』に、美術館での鑑賞の方法が『美術館へ行こう』に掲載されている。</p>	<p>生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることに、生徒が生活の中の瞬間や風景を撮影した作品が『うつくしい！を探してみよう』に、一日の生活の中にあるデザインや工芸品が『暮らしの中のデザイン・工芸』に掲載されている。</p>	<p>生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることに、生徒が暮らしの中の発見や喜びを撮影した作品が『あなたの美を見つけよう』に、芸術は暮らしの中にあるものという考えが『岡本太郎「芸術はみんなのもの」』に掲載されている。</p>
<p>生徒が自ら主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるよう、表現及び鑑賞の題材に、自分らしい思いや考えをもつための工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>自分らしい思いや考えをもつことについて、表現及び鑑賞の題材に、何に着目するのかやどのように思考するのかが『発想・構想』や『鑑賞』に掲載されている。</p>	<p>自分らしい思いや考えをもつことについて、表現及び鑑賞の題材に、何に着目するのかやどのように思考するのかが『表現 発想・構想』や『鑑賞』に掲載されている。</p>	<p>自分らしい思いや考えをもつことについて、表現及び鑑賞の題材に、何に着目するのかやどのように思考するのかが『鑑賞の入り口』や『表現のヒント』に掲載されている。</p>

<p>「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、「共通事項」の学習内容を関連させることについて、空間や光の表現から、造形的なよさや美しさを考える学習活動が【私が見つめた風景】に、形と色彩を手掛かりに作者の表現の意図と工夫を考える学習活動が【怒り、悲しみ、叫びのゆくえ】に設定されている。</p>	<p>「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、「共通事項」の学習内容を関連させることについて、色づかいや構図をもとに、造形的なよさや美しさを考える学習活動が【心ひかれこの風景】に、作風の変化や作者の表現の意図と工夫を考える学習活動が【「ゲルニカ」を鑑賞しよう】に設定されている。</p>	<p>「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、「共通事項」の学習内容を関連させることについて、イメージや構図に着目し、造形的なよさや美しさを考える学習活動が【なぜか気になる情景】に、物の組み合わせやタッチに着目し、作者の表現の意図と工夫を考える学習活動が【あの日を忘れない】に設定されている。</p>
--	---	--

4 分量・装丁・表記等

	開隆堂	光村	日文
<p>各内容の分量とその配分は適切であるか。</p>	<p>美術1は20題材、美術2・3は37題材。それぞれの題材は1ページから8ページで構成されている。</p>	<p>美術1は27題材、美術1資料は17題材、美術2・3は34題材。それぞれの題材ページは1ページから8ページで構成されており、1題材のみ16ページで構成されている。</p>	<p>美術1は35題材、美術2・3上は29題材、2・3下は24題材。それぞれの題材ページは1ページから6ページで構成されている。</p>
<p>体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>判型はA4変型判が採用されている。</p>	<p>判型は美術1と美術2・3にA4変型判が採用されている。美術1資料にA4判が採用されている。</p>	<p>判型はA4変型判が採用されている。</p>
<p>文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>『カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。</p>	<p>『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン/特別支援教育/学習のユニバーサルデザイン/人権教育/外国人児童生徒等教育/防災教育』と表記されている。</p>	<p>『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。</p>

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	保健体育	
発行者の番号・略称	2	東書
教科書の記号・番号	保体	002-72
書名	新編 新しい保健体育	
使用学年	1・2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校が目指す学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の保健体育科の教科目標を「6年間を見通した系統的な学習指導」として、仲間とのグループワークや教え合いにより、体育や保健の見方・考え方を働かせる学習展開を実践している。</p> <p>本校の保健体育科・前期課程の目指すところである、「基礎的・基本的な知識を習得し、健康や環境・社会のしくみに関心を持って学習に取り組めるようにする」ことや、「自らの生活を振り返り、より良く生きていくことができる力を育成する」こと、そして、後期課程において目指す「セルフプロモーションの考えに立った行動の選択と、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく活動で自らの健康をコントロールしていくことのできる力を育成していく」という観点から、全4者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習すべき内容（保健分野、体育分野）が、それぞれ学年別に掲載されていて理解しやすくまとまっている ○授業の流れが6つの学習過程としてわかりやすく示されており、流れに沿って学習を進めることで主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。また、巻末スキルブックには、健康や安全に関するスキル等がまとめられ、動画でわかりやすく確認することができる。 ○学校段階間の円滑な接続について、章の扉に各章の学習に関連する小学校や高等学校の学習内容が簡潔に示されているとともに、道徳との関連が図りやすいように配慮されている。 ○自分の経験などに関連させ発表する活動を取り上げた『活用する』のコーナーが充実している。 ○学習内容に関連する動画やシミュレーション、他教科の教科書紙面など、学習を進める上での教科書表記のDマークコンテンツが充実している。 <p>こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、東京書籍の「新編 新しい保健体育」を選定した。</p>		

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 保健体育

中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。	東書 主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる6つの学習過程が『1時間の主な流れ』に掲載されている。	大日本 主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる6つの学習過程が『1時間の学習の主な流れ』に掲載されている。	大修館 主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる3つの学習過程が『この教科書の使い方』に掲載されている。	学研 主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる5つの学習過程が『1時間の主な流れ』に掲載されている。
生徒にとって分かりやすく理解が深まる構成上の工夫や配慮がなされているか。	東書 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【危険回避の方法】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	大日本 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【外傷の応急手当】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	大修館 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【リラクセーションの方法】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	学研 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【交通事故の防止】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。	東書 言語能力の育成について、思考ツールを活用して人的要因と環境要因から事故や傷害が起きた原因と対策を考える学習活動が【傷害の発生要因】に設定されている。	大日本 言語能力の育成について、思考ツールを活用して健康の保持増進について考える学習活動が【学びを活かそう】に設定されている。	大修館 言語能力の育成について、思考ツールを活用して運動やスポーツとのかかわり方を考える学習活動が【章のまとめ】に設定されている。	学研 言語能力の育成について、思考ツールを活用してストレス状態の程度やストレスの解消法について調べる学習活動が【探究しようよ！】に設定されている。
学校段階間の円滑な接続	東書 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高校で学習することが『章の扉』に掲載されている。また、小学校で学んだことを振り返る学習活動が【見つける】に設定されている。	大日本 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高校で学習することが『章扉』に掲載されている。また、小学校で学んだことを振り返る学習活動が【つかもう】に設定されている。	大修館 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高校で学習することが『章とびら』に掲載されている。また、小学校で学んだことを振り返る学習活動が【課題をつかむ】に設定されている。	学研 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高等学校で学習することが『章の扉』に掲載されている。また、小学校で学んだことを振り返る学習活動が【ウォームアップ】に設定されている。

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 保健体育

	東書	大日本	大修館	学研
中学校学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。	主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる6つの学習過程が『1時間の主な流れ』に掲載されている。	主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる6つの学習過程が『1時間の学習の主な流れ』に掲載されている。	主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる3つの学習過程が『この教科書の使い方』に掲載されている。	主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる5つの学習過程が『1時間の主な流れ』に掲載されている。

	東書	大日本	大修館	学研
生徒にとって分かりやすく理解が深まる構成上の工夫や配慮がなされているか。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【危険回避の方法】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【外傷の応急手当】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【リラクセーションの方法】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【交通事故の防止】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。

	東書	大日本	大修館	学研
学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。	言語能力の育成について、思考ツールを活用して人的要因と環境要因から事故や傷害が起きた原因と対策を考える学習活動が【傷害の発生要因】に設定されている。	言語能力の育成について、思考ツールを活用して健康の保持増進について考える学習活動が【学びを活かそう】に設定されている。	言語能力の育成について、思考ツールを活用して運動やスポーツとのかかわり方を考える学習活動が【章のまとめ】に設定されている。	言語能力の育成について、思考ツールを活用してストレス状態の程度やストレスの解消法について調べる学習活動が【探究しようよ！】に設定されている。

	東書	大日本	大修館	学研
学校段階間の円滑な接続	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高校で学習することが『章の扉』に掲載されている。また、小学校で学んだことを振り返る学習活動が【見つける】に設定されている。	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高校で学習することが『章扉』に掲載されている。また、小学校で学んだことを振り返る学習活動が【つかもう】に設定されている。	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高校で学習することが『章とびら』に掲載されている。また、小学校で学んだことを振り返る学習活動が【課題をつかむ】に設定されている。	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高等学校で学習することが『章の扉』に掲載されている。また、小学校で学んだことを振り返る学習活動が【ウォームアップ】に設定されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立中等教育学校 前期課程

種目	技術・家庭（技術分野）	
発行者の番号・略称	6	教図
教科書の記号・番号	技術	006-73、006-74
書名	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト	
使用学年	1・2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の技術・家庭科技術分野においては「材料と加工、生物育成、エネルギー変換及び情報についての基礎的な理解を図り、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める」「生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う」「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、工夫し創造しようとする実践的な態度を養う」ことを目標としており、これらを観点とし、全3者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「材料と加工、生物育成、エネルギー変換及び情報についての基礎的な理解を図り、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める」ことについて、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『学ぶ 技術のプラス面とマイナス面』や『プラス面の例、マイナス面の例』に掲載されていること。 ○「生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う」ことについて、完成形をイメージし、製作品を活用するまでの問題解決の流れが『問題を解決する流れを考えよう』に、ワークシートの記入例が『電気回路を使った製作品の記入例』に掲載されていること。 ○「よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、工夫し創造しようとする実践的な態度を養う」ことについて、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【あなたは、これから材料と加工の技術とどのように向き合っていきたいですか。】や【あなたは、これからエネルギー変換の技術とどのように向き合っていきたいですか。】に設定されていること。 <p>このような題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、教育図書の「新</p>		

技術・家庭 技術分野 明日を創造する」「新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する
スキルアシスト」を選定した。

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 技術・家庭科（技術分野）

	東書	教図	開隆堂
教育基本 法学校教育 法及び 学習指導 要領との 関連	<p>・「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『材料と加工の技術の光と影』や『エネルギー変換の技術の光と影』に掲載されている。</p> <p>・「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【<u>これからの材料と加工の技術について考えよう</u>】や【<u>これからのエネルギー変換の技術について考えよう</u>】に設定されている。</p>	<p>・「知識・技能」の習得について、<u>技術が社会や環境と相互に影響する</u>といった<u>技術の概念に関する内容</u>が『<u>学ぶ 技術のプラス面とマイナス面</u>』や『<u>プラス面の例、マイナス面の例</u>』に掲載されている。</p> <p>・「学びに向かう力・人間性」の涵養について、<u>持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【あなたは、これから材料と加工の技術とどのように向き合っていくたいですか。】</u>や【<u>あなたは、これからエネルギー変換の技術とどのように向き合っていくたいですか。】</u>に設定されている。</p>	<p>・「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『<u>スマートシティの可能性と課題</u>』や『<u>仮想空間（メタバース）技術の可能性と課題</u>』に掲載されている。</p> <p>・「学びに向かう力・人間性」の涵養について、<u>持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【やってみよう これからの材料と加工の技術とその活用を考えてみよう】</u>や【<u>やってみよう これからの情報の技術とその活用を考えてみよう</u>】に設定されている。</p>

	東書	教図	開隆堂
かながわ 教育ビジ ョンとの 関連	<p>・[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちの研究・開発を取り上げた内容が『<u>すごいぞ！技術</u>』や『<u>思いを形にするプロダクトデザイン</u>』に掲載されている。</p>	<p>・[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちのものづくりへの想いを取り上げた内容が『<u>日本の技術を支える人々の想い</u>』や『<u>技ビト</u>』に掲載されている。</p>	<p>・[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちのインタビュー形式で取り上げた内容が『<u><開発の現場から></u>』や『<u>interview</u>』に掲載されている。</p>

	東書	教図	開隆堂
内容と構 成	<p>・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習過程について、問題の発見、課題の設定、設計・計画、製作などの問題解決の流れが『<u>問題解決のプロセス</u>』に、解決するための手順が『<u>問題解決例</u>』に掲載されている。</p>	<p>・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習過程について、<u>完成形をイメージし、製作品を活用するまでの問題解決の流れが『問題を解決する流れを考えよう』</u>に、ワークシートの記入例が『<u>電気回路を使った製作品の記入例</u>』に掲載されている。</p>	<p>・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習過程について、製作物を例に問題の発見、課題の設定、設計・計画、製作などの問題解決の流れが『<u>問題解決の手順</u>』や『<u>エネルギー変換の技術による問題解決の流れの例</u>』に掲載されている。</p>

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	技術・家庭（家庭分野）	
発行者の番号・略称	9	開隆堂
教科書の記号・番号	家庭	009-72
書名	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	
使用学年	1・2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の技術・家庭（家庭分野）においては、「家族・家庭、衣食住、消費や環境に関する基礎的な知識及び技能」「家族・家庭や地域における生活から問題を発見、実践、評価・改善し、これからの生活を展望して課題を解決する能力」、「家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする態度」の育成をめざし、観点とした。これらを踏まえ、全3者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「家族・家庭、衣食住、消費や環境に関する基礎的な知識及び技能」について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『学習の目標』や『学習のまとめ』に掲載されている。 ○「家族・家庭、地域における生活から問題を発見、実践、評価・改善し、これからの生活を展望して課題を解決する能力について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見通す学習が【調べてみよう】【考えてみよう】【話し合ってみよう】に設定されている。 ○「家族や地域の人々など他者と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする態度」について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【家族・家庭生活とつながる実践例】や【食生活とつながる実践例】などに設定されている。 ○生徒の学習上の困難さへの対応について、調理や製作などの目的や作業行程の写真が『調理の基礎』などに掲載されている。 ○問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、思考力や判断力、表現力を深める内容が『災害に備えた空間 発表しよう』や『発展 ふだん→災害時→生活再建のサイクルで学ぶ』などに設定されている。 ○[社会とかかわるちから]の「働くことの大切さ」について、家族と地域の人々が協力・ 		

協働することの大切さが、『先輩からのエール “人にやさしいデザイン”を追求したい』などに掲載されている。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、開隆堂の「技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ」を選定した。

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 技術・家庭（家庭分野）

	東書	教図	開隆堂
教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>・「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『目標』や『できたかな?』に掲載されている。</p> <p>・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【考えてみよう】【話し合ってみよう】【調べてみよう】に設定されている。</p> <p>・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【サステナブルクッキングにチャレンジ!】や【衣服のリメイク】などに設定されている。</p>	<p>・「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『めあて』や『ふり返る』に掲載されている。</p> <p>・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【考えてみよう】【話し合ってみよう】【見つけてみよう】に設定されている。</p> <p>・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【幼児のおやつを工夫しよう!】や【住みやすいまち・安全なまちってどんなまち?】などに設定されている。</p>	<p>・「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『学習の目標』や『学習のまとめ』に掲載されている。</p> <p>・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【調べてみよう】【考えてみよう】【話し合ってみよう】に設定されている。</p> <p>・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【家族・家庭生活とつながる実践例】や【食生活とつながる実践例】などに設定されている。</p>
かながわ教育ビジョンとの関連	<p>・[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、繊維に係る職業に携わる人たちが『プロに聞く!』に、消費・環境に係る仕事に携わる人たちが『学んだことを社会に生かす』に掲載されている。</p>	<p>・[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、保育に係る職業に携わる人たちが『センパイに聞こう!』に、地域のボランティアに携わる人たちが『メッセージ』に掲載されている。</p>	<p>・[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、里親の経験のある方たちが『先輩からのエール』に、障がい者が働ける環境が『地域の取り組み』に掲載されている。</p>
内容と構成	<p>・伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『地域の食材』『日本の伝統的な住まい方』『和服の文化』などに掲載されている。</p> <p>・言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【誰がどの部屋を使うか考えよう】や【調理方法による違いを比べてみよう】などに設定されている。</p>	<p>・伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『和食の調理をしてみよう』『和服』『住まい方の変化』などに掲載されている。</p> <p>・言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【住まいの空間の使い方を考えてみよう】や【「食習慣すごろく」をつくってみよう!】などに設定されている。</p>	<p>・伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『和服の文化にふれてみよう』『受け継がれてきた食文化』『日本の気候風土と住まい』などに掲載されている。</p> <p>・言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【家族の変化と心地よい空間の使い方】や【他者を理解すること】などに設定されている。</p>

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	英語	
発行者の番号・略称	2	東書
教科書の記号・番号	英語	002-72、002-82、002-92
書名	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3	
使用学年	1、2、3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の英語科においては、「表現コミュニケーション力」の育成を重視し、前期課程では「基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音する活動」、「自然な英語を聞いて、正しく聞き取り、情報を正確に処理する活動」、「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝える活動」、「正しく読む活動や、書かれた内容を考えながら黙読し、その内容が表現されるように音読する活動」、「文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書く活動や、語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く活動」「社会的な話題について聞いたり読んだりしたことを基に深く考え、意見を論理的に相手に伝える活動」に重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「まとまりのある文章を読む活動」、「読み取った内容を表現につなげる活動」といった観点から全6者の教科書を比較・検討し、東京書籍の「NEW HORIZON English Course 1、2、3」、啓林館の「BLUE SKY English Course 1、2、3」及び光村の「Here We Go! ENGLISH COURSE 1、2、3」の3者に絞った。</p> <p>次に、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮」、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」という観点を加え、3者を比較・検討した。</p> <p>その結果、「未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮」という観点に関して、</p>		

- 『Unit Activity』『Stage Activity』では、学年が上がる毎に、自分のこと、友人のこと、社会のこと、地球のこと、未来のこと等、段階的に視野を広げ複雑な表現を使うことができるように設定されている。
- 様々なジャンルのまとまった文章を概要把握、詳細理解、思考・表現の3段階で読み取り、意見交換をする『Read and Think』などの活動が設定されている。
「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」という観点に関して、
- 各 Unit が『Preview』『Part』『Read and Think』の流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が『Stage Activity』に設定されている。
- 各 Unit タイトルが問いになっており、Unit の学習を通して問いに対する考えを深め、まとめる力がつくように設定されている。
- 『Unit Activity』では、生徒が自分事として取り組めるよう目的・場面・状況が明確に設定されている。
- 『Unit Activity』の STEP 2 ではペアやグループで考えや表現を共有し、再構築する機会が設定されている。
- 主体的な学びを支援する『学び方コーナー』や、解説動画、本文の音声などの QR コンテンツが設定されている。
こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、東京書籍の「NEW HORIZON English Course 1、2、3」を選定した。

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 英語

	東書	開隆堂	三省堂
教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、 <u>冬休みに友達がしたことを聞き、書いてまとめる学習活動が【Unit Activity】</u> 、第2学年では、 <u>交流授業でカナダの生徒からのビデオレターを視聴して、一番好きな日本食を紹介する話し合う学習活動が【Stage Activity】</u> に、第3学年では、 <u>絶滅のおそれのある動物について記事を書き、動物保護について話し合う学習活動が【Unit Activity】</u> に設定されている。 様々なジャンルのまとまった文章を題材として扱い、概要把握、詳細理解、思考・表現の3段階で読み取り、意見交換をする【Read and Think】などの活動が設定されている。	○「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、エミリーが考えた動物園の提案を読み、自分の考えたオリジナルの企画をペアで発表する学習活動が【Action】に、第2学年では、相談者からの悩みを読み、内容を整理しながら自分のアドバイスを発表する学習活動が【Action】に、第3学年では、カウンセラーになったつもりで、生徒の悩みのメモを取り、やり取りをする学習活動が【Action】に設定されている。本文の内容を整理して自分の言葉で話す【Review&Retell】や題材に関連したテーマで自己表現活動する【Action】が設定されている。	○「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、アメリカの学校紹介をするメールを読んで、返信メールを書く学習活動が【Goal Activity】に、第2学年では、ウェブマガジンの掲載記事を読み、記事についてもっと知りたいことを質問する学習活動が【Goal Activity】に、第3学年では、ウェブサイトに投稿された意見を読み、自分の考えを書く学習活動が【Goal Activity】に、設定されている。
	教出	光村	啓林館
	○「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、ユミが考えたオリジナルの標識について聞き取ったことを参考に、自分で考えた標識について発表する学習活動が【Project 2】に、第2学年では、夢の旅行についての発表を聞き、自分が行ってみたい名所を理由とともに発表する学習活動が【Project 2】に、第3学年では、友人の悩み相談のメモを取り、アドバイスを伝える学習活動が【Project 2】に設定されている。	○「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、ALTの行きたい場所やしたいことをインタビューして、ALTのために観光プランを発表する学習活動が【Goal】に、第2学年では、ラジオニュースを聞いて、その内容を自分の言葉で説明する学習活動が【Daily Life Scene 2】に、第3学年では、ジャイアントパンダに関する記事について話し合う学習活動が【Goal】に設定されている。アイコンが思考・判断・表現を活用する活動に付記され、見取りがしやすい工夫がされている。	○「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、クラスメートの自己紹介を聞いて、メモを取る学習活動が【Project 1】に、第2学年では、制服が必要かどうかについてのディスカッションを聞き、自分の意見を理由とともに述べる学習活動が【Project 3】、第3学年では、ALTにインタビューして記事にまとめる学習活動が【Project 1】に設定されている。それまでに身に付けた知識・技能や思考力・判断力・表現力を活用して取り組む技能総合型活動【Project】が年間で3回設定されている。

	東書	開隆堂	三省堂
内容と構成	<p>○主体的・対話的で深い学びについて、各 Unit が Preview、Part、Read and Think の流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Stage Activity】に設定されている。言語材料の知識と技能を基に、<u>生徒が自分で思考し、判断したことを適切に表現することを深い学びととらえ、コミュニケーション能力を段階的に育成する活動が設定されている。</u>リアルな場面設定のもとで実践的なコミュニケーション能力を伸ばす【Real Life English】が設定されている。</p>	<p>○主体的・対話的で深い学びについて、各 PROGRAM がとびら、Scenes、Tuning in、Part、Review & Retell、Action の流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Our Project】に設定されている。また、発表活動後に自分の発表の振り返りができるように設定されているため、主体的に次の活動に向かう態度を養うことができる構成となっている。</p>	<p>○主体的・対話的で深い学びについて、各 Lesson が、Part 1～3、Goal Activity の流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Project】に設定されている。目標の設定、活動への取り組み、振り返りというサイクルの中で、生徒が主体的に学びに関わり、学習を自己調整する力を養うための工夫がされている。生徒と同世代のキャラクターを配し、<u>実生活に基づいたストーリー展開や中学生の視点を反映した題材により、生徒が主体的に学ぶ設定がされている。</u></p>
	教出	光村	啓林館
	<p>○主体的・対話的で深い学びについて、各 Lesson が扉ページ、Part、Task、Grammar の流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Activities Plus】に設定されている。巻頭に生徒が自らの目標を書き込む欄や、生徒が主体的に学べるよう英語学習のポイント【How to Study】が設定されている。</p>	<p>○主体的・対話的で深い学びについて、各 Unit が扉、Part、Goal の流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【You Can Do It!】に設定されている。【Let's Chat】では、トピックに関する簡単な問いかけにより思考を促し、対話をしながら考えを深める工夫がされている。主体的かつ継続的に学ぶ姿勢を持った自律的学習者の育成のために掲載された巻末の【英語の学び方ガイド】には、粘り強く英語学習に取り組むための【TIP】が設定されている。</p>	<p>○主体的・対話的で深い学びについて、各 Unit がとびら、Part、Think & Speak/Write の流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Project】に設定されている。単元末の【Check】で振り返りの機会を設け主体的に学習に取り組む態度を育成する設定となっている。また、各単元に設置された【Let's Listen (Read, Talk, Write)】では、<u>実生活に即した場面や題材が扱われており、生徒たちが自分ごととして捉えられる、実践的なコミュニケーション能力を育む構成となっている。</u></p>

	東書	開隆堂	三省堂
内容と構成	○学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、辞書の活用の仕方が『学び方コーナー』に、第2学年では、目的・場面・状況を考えて相手の意図の理解の仕方が『学び方コーナー』に、第3学年では、まとまりのある英文を書くためのパラグラフライティングの書き方が『学び方コーナー』に掲載されている。また、段階的にリーディングの語数を増やし、発達段階に合わせた課題の設定がされている。	○学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、相手の話を聞くときに聞き手が注意するポイントが『Step for Our Project 4』に、第2学年では、会話表現などで使われる英語の略語の表す意味が『Step for Our Project 1』に、第3学年では、スムーズなディスカッションを進めるための状況に応じた表現例が『Step for Our Project 4』に掲載されている。また、段階的に本文語数を増やしており、【Further Reading】では速読用の読み物が設定されている。	○学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、音読の際に、音のかたまり、リズムや強勢を意識することが『For Self-study ④』に、第2学年では、リスニングの際に、音の脱落や同化などの変化のルールを知ることが『For Self-study③』に、第3学年では、中学校での学びを振り返り、高等学校での外国語学習につながるメッセージが『For Self-study④』に掲載されている。また、段階的に長文読解力がつくよう設定されている。
	教出	光村	啓林館
	○学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、英文を聞いて書き取る学習方法が『効果的な英語学習法』に、第2学年では、英文の概要を把握する際の留意点が『Tips for Reading①』に、第3学年では、英単語のしくみを知って単語を覚える方法が『効果的な英語学習法』に掲載されている。また、段階的に本文語数を増やしており、【Further Reading】では速読用の読み物が設定されている。	○学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、リスニングと連動した音読が『リスニングの学び方』に、第2学年では、主語と動詞を意識して読む方法が『家で学ぶ方』に、第3学年では、目標に向かって英語の学習を続けていく方法が『将来に向けた学び方』に掲載されている。また、高校で求められる、複数の資料や図表の読み取りを含む言語活動などが設定されている。	○学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、英和辞典の引き方が『英語の学び方①』に、第2学年では、英語の力を伸長する音読の仕方が『英語の学び方③』に、第3学年では、英文を書く際の視点が『英語の学び方③』に掲載されている。また、学習段階に応じて、聞く・読む分量を増やしたり、活動を増やしたりする構成となっている。

	東書	開隆堂	三省堂
内容と構成	<p>○生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、アルファベットが表す音を確認する学習活動が【Sounds and Letters1】に設定されている。また、第2、3学年では、英語の音と文字の関係についてまとめた表が『英語の音と文字』に掲載されている。また、1人1台端末を活用できる学習活動が【Preview】に示され、<u>動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</u></p>	<p>○生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、英文を正しく読むための学習活動が【発音クリニック】に設定されている。また、第2、3学年では、英語のつづり字と発音の関係に一定の決まりがあることをまとめた表が『英語のつづり字と発音』に掲載されている。また、1人1台端末を活用できる学習活動が【単語アプリ】に示され、<u>動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</u></p>	<p>○生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、英語の音と文字を確認する学習活動が【Starter 5】に設定されている。また、第2、3学年では、英語の音とスペルの関係等についての注意点が『Scene 2』に掲載されている。また、1人1台端末を活用できる学習活動が【とびら】に示され、<u>動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</u></p>
	教出	光村	啓林館
	<p>○生徒の学習上の困難さへの対応について第1学年では、音と文字をつなげる学習活動が【Springboard 5】に設定されている。また、第2、3学年では、基本的なつづりと発音の関係について、まとめた表が『つづりと発音』に掲載されている。また、1人1台端末を活用できる学習活動が【Let's Use】に示され、<u>動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</u></p>	<p>○生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、音の違いに注意して声に出して読む学習活動が、【Check】に設定されている。また、第2、3学年では、英語のつづりと発音の関係についてまとめた内容が『音声のまとめ』に掲載されている。また、1人1台端末を活用できる学習活動が【Eri and Kotaと学ぶ基本文】に示され、<u>動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</u></p>	<p>○生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、文字の名前を聞きながら、文字をさす学習活動が【Let's Start】に設定されている。また、第2、3学年では、英語の音声を聞き取る注意点が『Part 1～3』に掲載されている。また、1人1台端末を活用できる学習活動が【Words 音声】に示され、<u>動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</u></p>

	東書	開隆堂	三省堂
内容と構成	○情報活用能力の育成について、第1学年では、時間割からその日の授業について尋ねあう学習活動が【Enjoy Communication】に、第2学年では、グラフからわかることをペアで話し合う学習活動が【Think and Express Yourself】に、第3学年では、資料から読み取った情報をまとめる学習活動が【Real Life English】に設定されている。	○情報活用能力の育成について、第1学年では、学校生活の満足度についての音声とグラフを結びつける学習活動が【Information】に、第2学年では、世界の天気予報についての音声情報と表を活用する活動が【Scenes for Basic Dialogs】に、第3学年では、会話を聞いて、動物の平均睡眠時間を表すグラフからどの動物に当てはまるかを考える学習活動が【Tuning in】に設定されている。	○情報活用能力の育成について、第1学年では、イベント案内の情報を参考に友達にイベントをすすめる学習活動が【Take Action!】に、第2学年では、スピーチやグラフから、世界の人々が飲み水をどこで手に入れているかを読み取る学習活動が【Scene 2】に、第3学年では、旅行会社のウェブサイトからツアーを選ぶ学習活動が【Take Action!】に設定されている。
	教出	光村	啓林館
	○情報活用能力の育成について、第1学年では、ウェブサイトから必要な情報を見つける学習活動が【Tips for Reading②】に、第2学年では、ポスターの情報を読み取る学習活動が【Tips for Reading②】に、第3学年では、料理のレシピを読み取る学習活動が【Tips for Reading③】に掲載されている。	○情報活用能力の育成について、第1学年では、イベントの案内を読み取る学習活動が【Daily Life】に、第2学年では、学校生活や家庭生活についてのアンケート結果を聞き取る学習活動が【Listen】に、第3学年では、記事やグラフからジャイアントパンダの保護活動について読み取る学習活動が【Goal】に設定されている。	○情報活用能力の育成について、第1学年では、イギリス料理の食べたいコースを選び相手に伝える学習活動が【Speak】に、第2学年では、シンガポールの民族構成などについて説明文やグラフから読み取る学習活動が【Read & Think】に、第3学年では、会話やグラフから気候変動について読み取る学習活動が【Part 1】に設定されている。

	東書	開隆堂	三省堂
内容と構成	○言語の使用場面や言語の働きについて、第1学年では、外国人に道を案内する場面の学習活動が【Real Life English】に、第2学年では、外国人旅行者から電車の乗り換え方法をたずねられる場面の学習活動が【Real Life English】に、第3学年では、英語雑誌に対する意見を投稿する場面の学習活動が【Real Life English】に設定されている。	○言語の使用場面や言語の働きについて、第1学年では、オーストラリアのショッピングモールで買い物をする学習活動が【Power-Up④】に、第2学年では、友達に最近あった出来事をメールで報告する学習活動が【Power-Up④】に、第3学年では、電車の乗り換えを案内する学習活動が【Power-Up①】に設定されている。	○言語の使用場面や言語の働きについて、第1学年では道に迷っている人に道案内をする場面の学習活動が【Take Action!】に、第2学年では オンラインショップの商品を見て要望に適した商品を考える学習活動が【Take Action!】に、第3学年では、電話で友人をコンサートに誘う学習活動が【Take Action!】に設定されている。
	教出	光村	啓林館
	○言語の使用場面や言語の働きについて、第1学年では、新しく来たALTに対して校内を案内する学習活動が【Useful Expressions①】に、第2学年では飲食店で料理や飲み物を注文する場面の学習活動が【Useful Expressions②】に、第3学年では、空港の案内所で係員に目的地までの行き方をたずねる学習活動が【Useful Expressions①】に設定されている。	○言語の使用場面や言語の働きについて、第1学年では、海外からの観光客に道をたずねられる場面の学習活動が【Daily Life】に、第2学年ではレストランで注文する学習活動が【Daily Life】に、第3学年では、留守番電話に残された伝言を聞き返答する場面の学習活動が【Daily Life】に設定されている。	○言語の使用場面や言語の働きについて、第1学年では、ファストフード店で注文する場面の学習活動が【Let's Talk④】に、第2学年では、通りがかりの人から駅までの行き方を説明する学習活動が【Let's Talk③】に、第3学年では、購入品の欠陥を店頭で伝える学習活動が【Let's Talk①】に設定されている。

	東書	開隆堂	三省堂
内容と構成	<p>○国際理解を深めることについて、第1学年では、ニュージーランドの中学生とのオンラインでのやり取りを取り上げた内容が『Friends in New Zealand』に、第2学年では、ホームステイを通して海外の生活習慣や文化の体験を取り上げた内容が『What is important in a homestay』に、第3学年では、平和のために活動したガンディーについて取り上げた内容が『What makes a good leader?』に掲載されている。</p>	<p>○国際理解を深めることについて、第1学年では、世界各地の中学生の通学の様子を取り上げた内容が『The Way to School』に、第2学年では、飛行中に事故に見舞われたアポロ13号の乗組員について取り上げた内容が『Apollo 13』に、第3学年では、女子教育の権利向上を国連で訴えたマララさんを取り上げた内容が『Malala's Voice for the Future』に掲載されている。</p>	<p>○国際理解を深めることについて、第1学年では、登場人物がアメリカの学校生活についてのやり取りの場面を取り上げた内容が『School Life in the U.S.A.』に、第2学年では、バーチャルツアーを通して世界の自然や食文化を取り上げた内容が『Online Experiences』に、3学年では、インドではどのような映画が作られているかについて取り上げた内容が『Bollywood Movies』に掲載されている。</p>
	教出	光村	啓林館
	<p>○国際理解を深めることについて、第1学年では、海外の童話を取り上げた内容が『The Golden Dipper』に、第2学年では、海外の文化やチャリティー活動について取り上げた内容が『The Gift of Giving』に、第3学年では、人々と文化が相互に関わる多文化社会であるカナダを取り上げた内容が『Aya's Homestay in Vancouver』に掲載されている。</p>	<p>○国際理解を深めることについて、第1学年では、世界各国の屋台が集まるイベントで外国の食べ物が『Daily Life』に、第2学年では、ルーブル美術館のオンラインツアーの案内に世界の美術品が『Daily Life』に、第3学年では、アメリカの作家が書いた物語の一部を取り上げた内容が『A Story from The Adventures of Tom Sawyer』に掲載されている。</p>	<p>○国際理解を深めることについて、第1学年では、ニューヨークでの年越しを取り上げた『Winter Vacation in New York』に、第2学年では、海外の児童文学を取り上げた内容が『The Snowman』に、第3学年では、海外の文化に触れる文学作品が『The Wizard of Oz』に掲載されている。</p>

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立平塚中等教育学校 前期課程

種目	道徳	
発行者の番号・略称	2	東書
教科書の記号・番号	道徳	002-72、002-82、002-92
書名	新編 新しい道徳1 新編 新しい道徳2 新編 新しい道徳3	
使用学年	1、2、3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校がめざす学校像は、「6年間の一貫した教育課程のもとで、幅広い教養と独創性を備え、次世代を担うリーダーを育てていく学校」である。また、本校の教育理念は「深い洞察と鋭い感性」、「高い志と豊かな人間性」、「幅広い教養と光る知性」の3つである。</p> <p>本校の道徳教育の全体計画においては、「自己の役割と責任を自覚し、正義を重んじて、集団生活の向上に努める生徒の育成」や、「自他を認め合い、生命・人権を大切にする生徒の育成」、「高い志と豊かな人間性を持ち、広く社会に貢献する生徒の育成」を重点目標とし、「他者の意見を尊重し、多様性を認め合い、社会に貢献する力」を高める学習を行っている。</p> <p>これらを踏まえ、特に、「他者の意見を尊重し、多様性を認め合い、社会に貢献する力」を高める学習活動について、「考え、議論する道徳」、「多面的・多角的に考える工夫」等の観点から、全7者の教科書を比較・検討し、東京書籍「新しい道徳1・2・3」、日本文教出版「中学道徳 あすを生きる1・2・3」、学研「新版 中学生の道徳 明日への扉 1・2・3」の3者の教科書に絞り比較・検討した。</p> <p>次に、先に挙げた学校像や道徳教育の重点目標から次の3つの観点、「自主的な態度や向上心を身に付けられるか」、「自己の役割と責任を自覚できるか」、「豊かな人間性と社会貢献する態度を育成することができるか」について3者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <p>○「自主的な態度や向上心を身に付けられるか」に関連して、1～3学年のどの学年でもその年代で直面する課題をふまえた題材が選ばれており、生徒にとってより身近に自己を見つめることができ、その考えを深めるためのコラムである「plus」が設けられていること。また、学期ごとに授業を振り返ることや心に残ったことを書く学習活動が【自分の学びをふり返ろう】に、各教材に自分が感じたことや考えたことをメモする学習活動が【つぶやき】に設定されていること。</p>		

- 「自己の役割と責任を自覚できるか」に関連して、キャリア教育に関する教材『新しいプライド』や情報モラルと友達との関わりについて扱った内容が、第1学年では『SNSに友達の悪口を書くと』に、第2学年では『「いいね」のために』に、第3学年では『合格通知』に掲載されていること。
 - 「豊かな人間性と社会貢献する態度を育成することができるか」に関連して、他者理解に触れ、広く社会に貢献する事例が掲載されていること。また、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いつわりのバイオリン】に、第2学年では【6千人の命のビザ】に、第3学年では【自分を変える力ー桃田賢斗】に設定されていること。
 - 他者にはない「心情円」が用意されており、自分の気持ちを文章ではなく、円で表現することで、他者との比較がしやすく話し合い活動を充実させられること。
 - 生徒が考えを深めるためのデジタルコンテンツが豊富に用意されていること。
- こうした題材や資料等が、本校生徒への学習に最も適していると判断し、東京書籍の「新編 新しい道徳1、2、3」を選定した。

「県立平塚中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 道徳

	東書	教出	光村	日文
教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『教材一覧表』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【避難所で私たちができること】や【おたがいの「ちがい」を認め合おう】に設定されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【ぼくらの村の未来】に、第2学年では【私のせいじゃない】に、第3学年では【その子の世界、私の世界】に設定されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや心に残ったことを書く学習活動が【自分の学びをふり返ろう】に、各教材に自分が感じたことや考えたことをメモする学習活動が【つぶやき】に設定されている。</p>	<p>「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『学びの道しるべ』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『内容項目別教材一覧表』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【暮らしの中のSDGs】や【アラスカを見つめ続けて】に設定されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【二人の言い分】に、第2学年では【お菓子、どうする？】に、第3学年では【変わりゆく地球】に設定されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや自分が成長したと思うことを書く学習活動が【道徳科の学びを振り返ろう】に、1年間学んできたことを振り返る学習活動が【「よりよく生きる」って、どういうことだろう？】に設定されている。</p>	<p>「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』にテーマに沿ったユニットに分けられた教材や学びの順序が『道徳道案内』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【「生物多様性」を知ろう】や【自然災害と向き合う】に設定されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が第1学年では【なんだろうなんだろう「正義」って、なんだろう。】に、第2学年では【なんだろうなんだろう「ゆるす」って、なんだろう。】に、第3学年では【なんだろうなんだろう「自立」って、なんだろう。】に設定されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習の始めと終わりに考えを書き、成長したことを振り返る学習活動が【1年間の学びを振り返ろう】に、学習したことを次の学びや日常生活の中で生かすためにどうすればいいか考える学習活動が【つなげよう】に設定されている。</p>	<p>「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えてみよう』に、内容項目と各教材の対応や学びのキーワードが『内容項目別教材一覧表』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【人権課題への取り組み】や【地球の資源と持続可能な社会】に設定されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が、第1学年では【学びを深めよう 三人の乗客】に、第2学年では【学びを深めよう マークはなんのために？】に、第3学年では【学びを深めよう マナーってなんだろう】に設定されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに学んできたことを振り返る学習活動が【道徳科で学んだことを振り返ってみよう】に、道徳ノートに教材の学びを自分に関わりのあることとして考えることができたかを振り返る学習活動が【自分への振り返り】に設定されている。</p>

教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	学研	廣あかつき	日科
	<p>「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『よりよく生きるための22の鍵』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【沈黙の海】や【多様な性と私たち】に設定されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が、第1学年では【クローズアップ 知ることから始めよう～人数から見える世界～】に、第2学年では【クローズアップ 多様な性と私たち】に、第3学年では【クローズアップ 社会を変える一歩】に設定されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年間の学びを通して、未来の自分にメッセージを書くことや心に残った言葉等を振り返る学習活動が【学びの記録】に、日々の授業で、気付いたことを書き留める学習活動が【メモ】に設定されている。</p>	<p>「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『自分を見つめて考える』に、内容項目と教材、現代的な課題等との関わりが『内容一覧』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【お互いの性のあり方を考える】や【祖母と木蓮】に設定されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【島耕作 ある朝の出来事】に、第2学年では【迷惑とは何ぞ】に、第3学年では【ベビーカー論争】に設定されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに学習してきたことを振り返り、これからの自分について考える学習活動が【学習の記録】に、1年間の学びを振り返り、成長したことを書き記す学習活動が【1年間の学習の記録】に設定されている。</p>	<p>「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、テーマごとのユニットに分けられた教材の一覧が『さまざまなテーマから考えを深めよう』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【わたしたちの郷土】や【人はなぜ仕事をするのか】に設定されている。</p> <p>「思考力・判断力・表現力等」の育成について、教材を読んで考え、異なる意見にふれ、話し合う学習活動が、第1学年では【試してみよう 宿題】に、第2学年では【ウォーミングアップ 野菜売り場】に、第3学年では【ウォーミングアップ 水たまり】に設定されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、過去の偉人の言葉から自己を見つめる学習活動が【古今東西「愛」放談】に、教材を読んで、自分の思ったことを書き記す学習活動が【memo】に設定されている。</p>

	東書	教出	光村	日文
<p>かながわ教育ビジョンとの関連</p>	<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『風評被害』に、第2学年では『私のせいじゃない』に、第3学年では『いじめから目をそむけない』に掲載されている。</p> <p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、情報モラルと友達との関わりについて扱った内容が、第1学年では『SNSに友達の悪口を書く』に、第2学年では『いいねのために』に、第3学年では『合格通知』に掲載されている。</p> <p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いつわりのバイオリン】に、第2学年では【6千人の命のピザ】に、第3学年では【自分を変える力ー桃田賢斗】に設定されている。</p>	<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『二人の言い分』に、第2学年では『最優秀』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。</p> <p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、情報モラルや個人の権利等について考える内容が、第1学年では『ルールとマナー』に、第2学年では『本当の友達って』に、第3学年では『自分の思い・相手の思い』に掲載されている。</p> <p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【私に宇宙のプレゼント】に、第2学年では【「よりよく生きる」って、どういうことだろう？】に、第3学年では【カーテンの向こう】に設定されている。</p>	<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『いつもの教室の中で』に、第2学年では『「いじり」って』に、第3学年では『三年目の「ごめんね」』に掲載されている。</p> <p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、インターネットの使い方を考える内容が、第1学年では『わかり合うために』に、第2学年では『見えない誰かと』に、第3学年では『インターネットの中の社会で』に掲載されている。</p> <p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【撮れなかった一枚の写真】に、第2学年では【遠く離れた人に会いたい】に、第3学年では【足袋の季節】に設定されている。</p>	<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『言葉の向こうに』に、第2学年では『いじめをなくすために』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。</p> <p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が、第1学年では『情報社会とコミュニケーション』に、第2学年では『いじめをなくすために』に、第3学年では『いじめのない社会へ』に掲載されている。</p> <p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いつわりのバイオリン】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【生きてこそー石井筆子の生涯ー】に設定されている。</p>

学研	廣あかつき	日科
<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『クラスメイ ト』に、第2学年では『ソムチャイの笑顔』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。</p> <p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、情報モラルや SNS の使い方 を考える内容が、第1学年では『うわさで決めるの？』に、第2学年では『つい言い過ぎて』に、第3学年では『アップロード ダウンロード』に掲載されている。</p> <p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いっぱい生きる 全盲の中学校教師】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【二人の弟子】に設定されている。</p>	<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『魚の涙』に、第2学年では『消えない落書き』に、第3学年では『君たちはどう考え、どう生きるか』に掲載されている。</p> <p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、SNS の使い方と他者との関わりについて扱った内容が、第1学年では『言葉の向こうに』に、第2学年では『いつでも・どこでも・SNS』に、第3学年では『ピヨ子』に掲載されている。</p> <p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【銀色のシャープペンシル】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【君たちはどう考え、どう生きるか】に設定されている。</p>	<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『いつも一緒に』に、第2学年では『“生きづらさ”と向き合う』に、第3学年では『彼と私のありがとう』に掲載されている。</p> <p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、SNS の使い方を多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では『情報の光と闇～ファクトチェック～』に、第2学年では『言葉の向こうに』に、第3学年では『SNSでの誹謗中傷』に掲載されている。</p> <p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【仁子、あきらめない！】に、第2学年では【いつかは言いたい二度目のごめん】に、第3学年では【くちなしの花と、南十字星が指した道～花田ミキ～】に設定されている。</p>

	東書	教出	光村	日文
内容	主体的・対話的で深い学びについて、自分の経験をもとに考え、グループで話し合い、学習を振り返る学びの流れが『学習の流れ』に掲載されている。また、各教材末に主題に関する発問から考え、自分を見つめる学習活動が【ぐっと深める】に設定されている。	カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連した教材が『難民とともに～緒方貞子～』に、音楽科と関連した教材が『最優秀』に、理科に関連した教材が『変わりゆく地球』に掲載されている。	言語能力の育成について、これまでの経験から心に残っている言葉を書き記す学習活動が、第1学年では【自分が暮らす地域の特長を思い浮かべてみよう】に、第2学年では【インターネットの利用を振り返ろう】に、3学年では【自分を輝かせる言葉を探してみよう】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、違う考えや意見も認め学んでいく授業の流れが『クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう』に掲載されている。また、主題に関する発問を読んで、考え、自分を振り返る学習活動が【深めよう】に設定されている。
	学研	廣あかつき	日科	
	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ヒト・ips 細胞を求めて 山中伸弥』に、保健体育科と関連した教材が『真の国際人 嘉納治五郎』に、社会科と関連した教材が『領民を愛した名君 上杉鷹山』に掲載されている。	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年ではアニメやお祭りが『日本探しの旅』に、第2学年では相馬野馬追が『相馬野馬追の季節』に、第3学年では姫路城の再建が『運命の木ー姫路城の大柱』に掲載されている。	体験活動の充実について、第1学年では、複数の立場から電車での出来事を考える学習活動が【席を譲ってはいけませんか】に、第2学年では、挨拶の意味を考える学習活動が【あいさつの意味】に、第3学年では、自分の経験をもとにウェルビーイングについて考える学習活動が【「わたしたち」としてウェルビーイングをつくりあう】に設定されている。	

	東書	日文	学研
教育基本法との関連	<p>・『考えよう』として教材末に内容項目に関連した道徳的諸価値を理解する主発問を示している。また、自分のこととして考えられる『自分を見つめよう』が設定されている。</p>	<p>・「知識・技能」の習得について、内容項目に関連した主題が教材名の上に示されている。ねらいに迫る発問の例が、『考えてみよう』、『自分に+1』として教材末に設けられている。また、『プラットホーム』では学習内容が他教科や活動とつなげて示されている。</p>	<p>・道徳的諸価値に関する発問が『学習の手がかり』や、『考えを広げる・深める』に示されている。巻末に内容一覧に、教材と関連する内容項目が示されている。また、『thinking』という理解を助ける補助資料のページが設けられている。</p>
学校教育法との関連	<p>・役割演技など、人と関わることをとおして、多面的・多角的な考え方に触れる『ACTION!』のコーナーが設けられている。また、人と関わることをとおして、様々な考えに触れる活動型の教材が設定されている。</p>	<p>・学習内容を他教科や活動とつなげ、考えや視野を広げる『君の心を打つ言葉』などが『プラットホーム』のコーナーに配置されている。また、教材末に、自らの考え方をより深く考える『考えてみよう』『自分に+1』が設けられている。</p>	<p>・教材を学んだ後に、今の自分の視点から振り返ったり、考えたりする発問が、教材末『学習の手がかり』の中に配置された『考えを広げる・深める』のコーナーに設けられている。</p>
学習指導要領との関連	<p>・授業について振り返ったり、教材から学び、心に残っていることを記述したりする『自分の学びを振り返ろう』が設定されている。また、自己を見つめ自己の学びを振り返る『1年間で学ぶこと』のページや、自由に思いを書き込む『つぶやき』をはじめ、その時の自分の考えを記述したり、振り返りをしたりするページが設定されている。</p>	<p>・「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、巻頭の『道徳科での学び方』で学習過程が示されている。また、『考えてみよう』では、主題に関する発問が示され、自分の考えを記述したり、考えを振り返ったりする別冊『道徳ノート』が設定されている。</p>	<p>・自己を見つめ、振り返るコーナーや、毎時間の学習の記録や、心に残っている授業の記録を記述するコーナーが、別冊『中学生の道徳ノート』に設定されている。</p>
内 容	<p>・教材の冒頭には、学ぶ内容項目に関連した学びの観点が示されている。また、教材末に主題に関する発問『考えよう』『自分を見つめよう』が設けられている。第1学年『楽寿号に乗って』では、冒頭の『ボランティア活動に参加して』とテーマが示されている。また、各単元末にテーマに対する発問『考えよう』『自分を見つめよう』が設けられている。</p> <p>・各教科と関連した教材はページの右下にマークと教科名で示されている。第1学年では、技術・家庭科と関連した『短文投稿サイトに友達の悪口を書くと』という教材が設定されている。</p>	<p>・第1学年『あったほうがいい?』、第2学年『「自分」ってなんだろう』など、問題解決的な学習に関する教材のあとに、問題解決に向けた活動の例を示した『学習の進め方』のコーナーが設けられている。</p> <p>・全学年で自分の考えと他者の考えを記述する欄が設けられ、それらを対比させながら学習する別冊『道徳ノート』に、自分の考えと他者の考えを記述する欄が設けられている。『学習の進め方』では、話し合いの進め方が写真や、イラストを用いて、考え、議論する話し合い活動が示されている。</p>	<p>・何を考えるのか、全体像をつかむことで主体的に学ぶ見通しをもつ『学習の手がかり』が教材ごとに設けられている。また、『考えを広げる・深める』では、他者と考えを交流する発問や活動が示されている。</p> <p>・他教科・領域・現代的な課題等との関わりが、『内容一覧』に示されている。第1学年、理科と関連した教材『あのハチドリのように』、第2学年では、総合的な学習の時間と関連した『加奈子の職場体験』などが設定されている。</p>

<p>かながわ教育ビジョンとの関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルと友情の問題を扱った第1学年『短文投稿サイトに友達の悪口を書くと』や、第3学年『スマホに夢中!』など、SNSやスマートフォンの扱い方に関する問題を取り上げた教材が設定されている。 ・キャリア教育に関する教材『働くってどんなこと?』や社会参画に関する教材『本が泣いています』が掲載されている。「生きること」に関して、『桂歌丸 生涯・落語』や『ぼくの使命 野村萬斎』などの著名人の経験などが紹介されるコーナー『PLUS+』が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年『近くにいた友』『違いを意識したコミュニケーション』や第2学年『インターネットでの情報発信』など、SNSを利用した社会との関わり方に関する問題を取り上げた教材や、情報の正しい活用方法について考えられるコラムが設定されている。 ・キャリア教育に関する教材『私は清掃のプロになる』や社会参画に関する教材『あったほうがいい?』が掲載されている。「生きること」について、環境問題、安全教育など、現代的社会的な課題を考えられる教材が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年『ネット将棋』、第3学年『情報社会をいきていくために』など、情報モラルに関する問題を取り上げた教材が設定されている。また、年代の近い主人公や筆者の教材が設定されている。 ・キャリア教育に関する教材『午前一時四十分』や社会参画に関する教材『加山さんの願い』が掲載されている。「生きること」について、巻末に、現代社会の諸問題や現状を紹介する、第1学年『よりよい未来をつくるために』などのコーナーが設定されている。
-----------------------	---	---	--

令和8年度使用教科用図書採択希望一覧

相模原中等教育学校 前期課程

種目	発行者		教科書			使用学年
	番号	略称	記号	番号	書名	
国語	38	光村	国語	038-72	国語 1	1
	38	光村	国語	038-82	国語 2	2
	38	光村	国語	038-92	国語 3	3
書写	2	東書	書写	002-72	新編 新しい書写 一・二・三年	1・2・3
社会 (地理的分野)	46	帝国	地理	046-72	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	1・2
社会 (歴史的分野)	116	日文	歴史	116-72	中学社会 歴史的分野	1・2・3
社会 (公民的分野)	46	帝国	公民	046-92	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	3
地図	46	帝国	地図	046-72	中学校社会科地図	1・2・3
数学	104	数研	数学	104-73	これからの 数学 1	1
	104	数研	数学	104-83	これからの 数学 2	2
	104	数研	数学	104-93	これからの 数学 3	3
理科	11	学図	理科	011-72	中学校 科学 1	1
	11	学図	理科	011-82	中学校 科学 2	2
	11	学図	理科	011-92	中学校 科学 3	3
音楽 (一般)	27	教芸	音楽	027-72	中学生の音楽 1	1
	27	教芸	音楽	027-83	中学生の音楽 2・3上	2・3
	27	教芸	音楽	027-84	中学生の音楽 2・3下	2・3
音楽 (器楽合奏)	27	教芸	器楽	027-72	中学生の器楽	1・2・3
美術	38	光村	美術	038-72	美術 1	1
	38	光村	美術	038-73	美術 1 資料	1
	38	光村	美術	038-82	美術 2・3	2・3
保健体育	224	学研	保体	224-72	新・中学保健体育	1・2・3
技術・家庭 (技術分野)	9	開隆堂	技術	009-72	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	1・2・3
技術・家庭 (家庭分野)	9	開隆堂	家庭	009-72	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	1・2・3
英語	38	光村	英語	038-72	Here We Go! ENGLISH COURSE 1	1
	38	光村	英語	038-82	Here We Go! ENGLISH COURSE 2	2
	38	光村	英語	038-92	Here We Go! ENGLISH COURSE 3	3
道徳	116	日文	道徳	116-73	中学道徳 あすを生きる 1	1
	116	日文	道徳	116-74	中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート	1
	116	日文	道徳	116-83	中学道徳 あすを生きる 2	2
	116	日文	道徳	116-84	中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート	2
	116	日文	道徳	116-93	中学道徳 あすを生きる 3	3
	116	日文	道徳	116-94	中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート	3

【選定一覧の全般に係る参考資料】

(様式3)

1 各学校の教育目標、教育理念等について

令和8年度 (相模原) 中等教育学校	
教育目標	人格の完成をめざし、高い知性と豊かな情操をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する。
育てたい3つの力	(1) 科学・論理的思考力…科学的根拠に基づく考察などにより、さまざまな事象を論理的に理解し、順序立てて説明する力 (2) 表現コミュニケーション力…相手の主張や状況などを的確に把握し、自己の考えや行動をその場にふさわしい方法で表現し、相手に伝えることのできる力 (3) 社会生活実践力…さまざまな社会現象を多面的にとらえる知識や技能を持ち、課題解決のために活用できる力
学校のミッション	6年間の一貫した教育課程や学習環境の中で、多彩で豊かな教育内容の展開を通じて、個性や創造性の伸長を図るよう、カリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組む。 これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備え、よりよい社会の構築に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成するとともに、学年の枠を超えた活動などを通じて、思いやりの心を持ち、自ら進んで未来を切り拓く意欲や行動力あふれる、豊かな人間性とリーダーシップを備えた次世代を担うリーダーを育成する。 教育目標である「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」の達成に向けた取組を推進する。 教科・科目の学習を通して身に付けた知識・技能を基礎としながら、自ら課題を見出し、課題を解決するため、他者と協働する学習に取り組むとともに、自然を探求する学習を通して、科学的・論理的思考力の育成に取り組む。
めざす生徒像	次世代を担うリーダー ○これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備える生徒 ○豊かな人間性とリーダーシップを備える生徒 ○よりよい社会の構築に貢献できる生徒
教科書選定に係る専門委員会の構成について	校長、副校長、教頭、事務長、総括教諭(7名)…計11名

2 かながわ次世代教養について

○自分が住んでいる地域、国の国際性や歴史・伝統・自然などの特性を生かしながら、地球規模で環境や歴史文化、科学技術などを考える視点を持ち、情報を活用して未知の事態や新しい状況に的確に対応していく力を育成する。
○探求学習とプレゼンテーションを通して、根拠や原因を示しながら自己の考えをまとめ、科学的・論理的思考力および表現コミュニケーション力を育成する。
○国際社会の進展に積極的に参画し、英語コミュニケーション能力を最大限に活用していく意欲と能力を育成する。
○3年次で理科・英語の成果発表会を行う。

3 審議経過

令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 6月9日(月) 第1回専門委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和8年度用教育課程表について ・ 令和8年度教科用図書採択方針の確認 ・ 教科書選定日程の確認について ◆ 6月16日(月) 第2回専門委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書選定に係る協議 ◆ 6月23日(月) 第3回専門委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書選定に係る協議 ・ 教科用図書の選定
-------	--

令和 8 年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	国語	
発行者の番号・略称	38	光村
教科書の記号・番号	国語	038-72、038-82、038-92
書名	国語 1 国語 2 国語 3	
使用学年	1、2、3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、めざす生徒像を「豊かな人間性とリーダーシップを備える生徒」「これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備える生徒」「よりよい社会の構築に貢献できる生徒」としている。さらに本校の「育てたい力」である「表現コミュニケーション力」「科学・論理的思考力」「社会生活実践力」も重視している。</p> <p>国語科では、世の中の現象や人の心の動きを言葉を通じて的確に理解し、表現する力を養うこと、我が国の言語文化に触れて豊かな感性を育むことを重視し、「言語能力の育成」「語彙を豊かにすること」「読書活動の充実」等にも取り組んでいる。</p> <p>これらを踏まえ、特に、「言語能力の育成」「語彙を豊かにすること」「読書活動の充実」といった観点から、東京書籍「新編 新しい国語 1、2、3」、光村図書「国語 1、2、3」、三省堂「現代の国語 1、2、3」、教育出版「伝え合う言葉 中学国語 1、2、3」という全 4 者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <p>○「言語能力の育成」に関しては、根拠の適切さを吟味し、文章を整える手立てが、第 1 学年では『思考のレッスン 意見と根拠』に、第 2 学年では『思考のレッスン 根拠の吟味』に、第 3 学年では『思考のレッスン 具体化・抽象化』などに掲載されていること。</p> <p>○「語彙を豊かにすること」に関しては、言葉を集めたり比べたりする学習活動が、第 1 学年では【語彙を豊かに 心情を表す言葉】に、第 2 学年では【語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉】に、第 3 学年では【語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化】</p>		

などに設定されていること。

- 「読書活動の充実」に関しては、著名人の読書体験や読書案内として、第1学年ではアニメーション映画監督による『本との出会い』が、第2学年では翻訳家による『「わからない」は人生の宝物』が、第3学年では作家による『ためになるってどんなこと?』などが『コラム』に掲載されていること。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、光村図書「国語1、2、3」を選定した。

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 国語

	東書	三省堂	教出	光村
言語能力の確実な育成	言語能力の育成について、言語を通して正確に理解したり表現したりする手立てが、第1学年では『言葉の力 描写』に、第2学年では『言葉の力 話し手の考えとの比較』に、第3学年では『言葉の力 説得力のある文章』などに掲載されている。	言語能力の育成について、言語を通して理解したり表現の幅を広げたりする手立てが、第1学年では『言葉発見 比喩・倒置・反復・対句・体言止め』に、第2学年では『言葉発見 言葉のはたらきとコミュニケーション』に、第3学年では『言葉発見 言葉の現在・過去・未来』などに掲載されている。	言語能力の育成について、文章の構成に注目して読み、考える手立てが、第1学年では『学びナビ 予想する』に、第2学年では『学びナビ 構成を明確にする』に、第3学年では『学びナビ 説得力を高める』などに掲載されている。	言語能力の育成について、根拠の適切さを吟味し、文章を整える手立てが、第1学年では『思考のレッスン 意見と根拠』に、第2学年では『思考のレッスン 根拠の吟味』に、第3学年では『思考のレッスン 具体化・抽象化』などに掲載されている。
語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。	語彙を豊かにすることについて、文章中の表現や語句について考える学習活動が、第1学年では【広がる言葉 擬音語・擬態語・様子を表す言葉】に、第2学年では【広がる言葉 程度を表す言葉】に、第3学年では【広がる言葉 慣用句やことわざ】に設定されている。	語彙を豊かにすることについて、似た意味の語句を比較し語彙を増やす学習活動が、第1学年では【語彙を豊かに 似ていることを表す表現】に、第2学年では【語彙を豊かに 近い意味の言葉の微妙な違い】に、第3学年では【語彙を豊かに「間」を含んだ表現】に設定されている。	語彙を豊かにすることについて、発音の違いを調べることや話ことばを書き言葉にする学習活動が、第1学年では【言葉の小窓 日本語の音声】に、第2学年では【言葉の小窓 話し言葉と書き言葉】に、第3学年では【言葉の小窓 和語・漢語・外来語】などに設定されている。	語彙を豊かにすることについて、言葉を集めたり比べたりする学習活動が、第1学年では【語彙を豊かに 心情を表す言葉】に、第2学年では【語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉】に、第3学年では【語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化】などに設定されている。
読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家や書籍を紹介した内容として、第1学年では『お試し読書のすすめ』で“たまごを持つように”が、第2学年では『メディアの垣根を越えて』で“時をかける少女”が、第3学年では『本との付き合い方』で“何のために「学ぶ」のか”が『読書への招待』に掲載されている。	読書活動の充実を図ることについて、作家などによる読書案内として、第1学年では『本を読むことのおもしろさ』が、第2学年では『生涯の友と出会う』が、第3学年では『言葉は傘』などが『私の読書体験』に掲載されている。	読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家の紹介や書籍として、第1学年では“蜘蛛の糸”が、第2学年では“坊ちゃん”が、第3学年では“最後の一句”などが『読書への招待』や『作品解説』に掲載されている。	読書活動の充実を図ることについて、著名人の読書体験や読書案内として、第1学年ではアニメーション映画監督による『本との出会い』が、第2学年では翻訳家による『「わからない」は人生の宝物』が、第3学年では作家による『ためになるってどんなこと？』などが『コラム』に掲載されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	書写	
発行者の番号・略称	2	東書
教科書の記号・番号	書写	002-72
書名	新編 新しい書写 一・二・三年	
使用学年	1・2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、めざす生徒像を「豊かな人間性とリーダーシップを備える生徒」「これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備える生徒」「よりよい社会の構築に貢献できる生徒」としている。さらに本校の「育てたい力」である「表現コミュニケーション力」「科学・論理的思考力」「社会生活実践力」も重視している。</p> <p>国語科では、世の中の現象や人の心の動きを言葉を通じて的確に理解し、表現する力を養うこと、我が国の言語文化に触れて豊かな感性を育むことを重視し、「言語能力の育成」、「伝統や文化に関する事項の充実」、「日常の学習や生活に役立てる態度の育成」等にも取り組んでいる。</p> <p>これらを踏まえ、特に「言語能力の育成」、「伝統や文化に関する事項の充実」、「日常の学習や生活に役立てる態度の育成」といった観点から、東京書籍「新編 新しい書写 一・二・三年」、三省堂「現代の書写一・二・三」、教育出版「中学書写」、光村図書「中学書写一・二・三年」という全4者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「言語能力の育成」に関しては、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に、行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【書写テストに挑戦!】に設定されていること。 ○「伝統や文化に関する事項の充実」に関しては、漢字の成り立ちや仮名の歴史などを取り上げた教材が『文字の移り変わり』に掲載されており、また、第2学年では、“枕草子”を硬筆で書く学習活動が【書いて味わおう】に設定されていること。 ○「日常の学習や生活に役立てる態度の育成」に関しては、身の回りの文字について考える学習活動が【身の回りの文字の目的と工夫】に設定されており、また、のし袋や複写 		

式の内紙の書き方などが『さまざまな書式』に掲載されていること。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、東京書籍「新編新しい書写一・二・三年」を選定した。

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 書写

	東書	三省堂	教出	光村
言語能力の確実な育成	言語能力の育成について、 <u>楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に、行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【書写テストに挑戦！】に設定されている。</u>	言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に、第2学年では、行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【学力テスト問題】に設定されている。	言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【さまざまな書く場面】に、行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【書写テストで確認】に設定されている。	言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に、第3学年では、書写ブックに行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【書写テストに挑戦しよう】に設定されている。
伝統や文化に関する教育の充実	伝統や文化に関する教育の充実について、 <u>漢字の成り立ちや仮名の歴史などを取り上げた教材が『文字の移り変わり』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”を硬筆で書く学習活動が【書いて味わおう】に設定されている。</u>	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史などについて取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”や“平家物語”の冒頭を硬筆で書く学習活動が【行書に調和する仮名】に設定されている。	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史などについて取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”を硬筆で書く学習活動が【学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列】に設定されている。	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史などについて取り上げた教材が『文字の歴史を探る』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”を行書で書く学習活動が【季節のしおり②】に設定されている。
日常の学習や生活に役立つ態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	生活に役立つ態度を育てることについて、 <u>身の回りの文字について考える学習活動が【身の回りの文字の目的と工夫】に設定されている。また、のし袋や複写式の用紙の書き方などが『さまざまな書式』に掲載されている。</u>	生活に役立つ態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【身のまわりの文字】に設定されている。また、送り状やのし袋の書き方などが『日常の書式』に掲載されている。	生活に役立つ態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【多様な表現による文字】に設定されている。また、小包伝票や包み紙の書き方などが『書式の教室』に掲載されている。	生活に役立つ態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【全国文字マップ】に設定されている。また、送り状やレポートの書き方などが『日常に役立つ書式』に掲載されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	社会（地理的分野）	
発行者の番号・略称	46	帝国
教科書の記号・番号	地理	046-72
書名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	
使用学年	1・2年	

[選定理由]

本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、めざす生徒像を「これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備える生徒」とし、育成したい力として「表現コミュニケーション力」「科学・論理的思考力」「社会生活実践力」を掲げている。

前期課程の基礎期（1・2年）地理的分野の学習では、「基礎的な知識や技能を習得するための学習活動」、また、「日本・世界の地域、身近な地域などについて調べ、考察した上でレポートを作成し、発表する等の学習活動」に重点を置いている。

これらを踏まえ、特に、地理分野の教科書を選定するにあたり、「生きて働く知識・技能を習得するための工夫や配慮」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮」の観点を設け、全4者の教科書について比較・検討した。

○「生きて働く知識・技能を習得するための工夫や配慮」に関しては、『解説』部分や『技能をみがく』コーナーが随所に取り入れられている。

○「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮」に関しては、単元の最初や最後に思考し、表現する活動が設定されている。

これらの点から、帝国書院の「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」、日本文教出版の「中学社会 地理的分野」の2者の教科書に絞った。

さらに2者の教科書について、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」「言語能力の確実な育成」「情報活用能力の育成」等の観点から、比較・検討した。

その結果、

○「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」に関して、単元の最初には、問いや学習課題が、単元の最後には振り返りの場面が設定され、単元のまとまりの中で実現できるような構成になっている。

○「言語能力の確実な育成」に関して、単元末に、対話的な学習や言語活動のテーマを掲載した『特設ページ』が設けられている。

○「情報活用能力の育成」に関して、写真や図版が豊富で、本文と密接に関連していること、『統計資料を使ってみよう』など、多面的多角的な調べ方を掲載した『技能をみがく』が設けられている。

こうした題材や資料等が、本校生徒に最も適していると判断し、帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」を選定した。

県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 社会（地理的分野）

	東書	教出	帝国	日文
生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	・「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『もっと解説』に、資料活用の仕方が『スキル・アップ』に掲載されている。	・「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『用語解説』に、資料活用の仕方が『地理の技』に掲載されている。	・「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『解説』に、資料活用の仕方が『技能をみがく』に掲載されている。	・「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『用語解説』に、資料活用の仕方が『スキルUP』に掲載されている。
未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、アフリカ州ではどのような支援が必要かを話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ】に、世界はどのような姿をしているのかを話し合う学習活動が【探究課題】に設定されている。	・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、世界の諸地域の他地域との結びつきや州の特徴を考える学習活動が【章を見通した学習課題】に、アマゾン川の開発の様子を振り返りながら変化を説明する学習活動が【学習したことを振り返ろう】に設定されている。	・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、持続可能な観光の在り方を考える学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。また、考えを整理する方法が『思考ツールを活用しよう』に掲載されている。	・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、EUの統合が進むことによる影響と課題を考える学習活動が【自分の考えをまとめよう】に、世界や日本の姿を説明するポスターを作る学習活動が【編の問いに答えよう】設定されている。

	帝国	日文
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	・主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す2つのステップが『単元の見通し』や『単元の振り返り』に掲載されている。また、産業の発達と地域への影響を表す写真を選びその理由をグループで話し合う学習活動が【節の問いについて、考えを深めよう】に設定されている。	・主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『問いを立て、学習を見通す』『問いを追究する』『まとめ、ふり返る』に掲載されている。また、経済発展の地域格差や都市問題の課題を整理し解決策をグループで話し合う学習活動が【議論してみよう】に設定されている。
言語能力の確実な育成	・言語能力の育成について、アフリカ州の課題解決に向けて最優先で行う取組を考え、発表する学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。また、地域の課題解決を図り、社会に向けて発信する手順が『解決策と魅力を高める提案をしよう』に掲載されている。	・言語能力の育成について、関東地方における一極集中の課題を解決するためディベートをする学習活動が【議論してみよう】に設定されている。また、よりよい地域の将来像を発信し、社会に参画する手順が『構想した内容を発信しよう』に掲載されている。
情報活用能力の育成	・情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【やってみよう】に設定されている。また、資料を読み取る際の視点が『資料活用』に掲載されている。	・情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【スキルUP】に設定されている。また、資料を読み取る際の視点が『資料活用』に掲載されている。
生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方)」を動かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	・生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、人々の生活と環境に関して学んだ内容を生かして振り返る学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。また、地域の学習を進めていく際の視点や方法が『地理的な見方・考え方』に掲載されている。	・生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、地域の自然環境の中で生きる人々の生活の工夫や変化をもとに考える学習活動が【見方・考え方】に設定されている。また、学習を進めていく際の視点や方法が『地理的な見方・考え方って?』に掲載されている。
社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	・多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカ州では特定の物産に頼る経済の影響を考える学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。また、複数の視点から課題を捉えなおすヒントが『アクティブ地理AL』に掲載されている。	・多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカの国々の経済とフェアトレードを考える学習活動が【地理+α】に設定されている。また、課題を捉えなおす複数の資料が『持続可能な地域をめざして』に掲載されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	社会（歴史的分野）	
発行者の番号・略称	116	日文
教科書の記号・番号	歴史	116-72
書名	中学社会 歴史的分野	
使用学年	1・2・3年	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、めざす生徒像を「これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備える生徒」とし、育成したい力として「表現コミュニケーション力」「科学・論理的思考力」「社会生活実践力」の3つの力を掲げている。</p> <p>前期課程における歴史的分野の学習では、「基礎的な知識や技能を習得するための学習活動」、また、「身近な地域の歴史、神奈川県郷土史などについて調べ、考察した上でレポートを作成し、発表する等の学習活動」に重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、特に歴史的分野の教科書を選定するにあたり、「生きて働く知識・技能を習得するための工夫や配慮」「情報活用能力の育成」等の観点を設け、全9者の教科書について比較・検討した。</p> <p>○「生きて働く知識・技能を習得するための工夫や配慮」に関しては、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用したり、学習内容を表などにまとめたりする学習活動がある。</p> <p>○「情報活用能力の育成」に関しては、各単元で得られた情報を活用し整理する活動が設定されていて、調査や発表時の留意点が掲載されている。</p> <p>という点から、東京書籍「新編 新しい社会 歴史」、帝国書院「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」、日本文教出版「中学社会 歴史的分野」の3者に絞った。</p> <p>さらに、3者の教科書について、「社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか」「主体的・対話的で深い学びに向けた学習活動に資する工夫や配慮」の観点から比較・検討した。</p>		

その結果、

- 「社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか」に関して、足尾鉍毒事件をめぐる異なる視点からの資料が『チャレンジ歴史』に、戦争をめぐる異なる立場の意見が『日露戦争』に掲載されている。
- 「主体的・対話的で深い学びに向けた学習活動に資する工夫や配慮」に関して、異なる時代の資料から時代の変化について考える学習活動が【学習のはじめに】に、各編の学習課題を考える学習活動が【第〇編の問いを立てよう】に設定されている。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、日本文教出版「中学社会 歴史的分野」を選定した。

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果

「社会（歴史的分野）」（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 社会（歴史的分野）

	東書	教出	帝国	山川
生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【スキル・アップ】に、語句の意味を調べ学習内容をまとめる学習活動が【まとめの活動】に設定されている。	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【歴史の技】に、章で学んだ内容を振り返りまとめる学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【技能をみがく】に、章の学習内容を年表で振り返る学習活動が【学習事項の確認】に設定されている。	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【調査のスキル】に、章の学習内容を表や文章にまとめる学習活動が【まとめ】に設定されている。
	日文	自由社	育鵬社	学び舎
	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【スキルUP】に、編の学習を振り返り時代の特色をまとめる学習活動が【まとめと振り返り】に設定されている。	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が【復習問題のページ】に、学習内容を振り返り問いを考える学習活動が【チャレンジ】に設定されている。	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が【確認】に、章ごとに時代を振り返り考える学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が【第〇章をふりかえる】に、章の学習内容を表にまとめる学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。
	令書	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が【〇〇のまとめ】に、歴史的現象が起こった理由や変化について考える学習活動が【考えよう】に設定されている。		

	東書	教出	帝国	山川
情報活用能力の育成	情報活用能力の育成について、単元を通して得た情報を思考ツールを用いて整理しまとめる学習活動が【まとめの活動】に設定されている。また、インターネットの利用上の注意や参考文献の扱い、発表の際の留意点が『スキル・アップ』に掲載されている。	情報活用能力の育成について、資料から情報を読み取り時代の特色を考える学習活動が【資料を読み解いて、中世の時代を振り返ろう】に設定されている。また、地域調査におけるインターネット使用上の留意点が『インターネットを活用しよう』に掲載されている。	情報活用能力の育成について、資料から情報を読み取り人物の関係性を考える学習活動が【資料活用】に設定されている。また、情報の集め方や調べた情報をまとめ発表する際の留意点が『技能をみがく』に掲載されている。	情報活用能力の育成について、イラストやグラフ、文献から得られる情報を読み取り、問いについて考える学習活動が【Q】に設定されている。また、インターネットで調べる際の留意点が『調査のスキル』に掲載されている。
	日文	自由社	育鵬社	学び舎
	情報活用能力の育成について、テーマを決めて調査、考察、まとめを行う学習活動が【身近な地域の歴史の探究】に設定されている。また、調査における引用の仕方やプレゼンテーションソフトを活用した報告の仕方が『スキルUP』に掲載されている。	情報活用能力の育成について、学習した知識や情報を活用しまとめる学習活動が【「歴史用語ミニ辞典」の作成】に設定されている。また、地域の歴史を調べる取組が『地域の歴史を調べる』に掲載されている。	情報活用能力の育成について、テーマを決めて調査や資料の分類・分析、発表をする学習活動が【身近な地域の歴史の調べ方】に設定されている。また、資料を用いて調べた情報を新聞にまとめる取組が『歴史学習のまとめ』に掲載されている。	情報活用能力の育成について、各単元で得られた情報を活用し整理する学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。また、調査の方法や発表する際の留意点が『地域の歴史について、上手に調べ、発表するために』に掲載されている。
	令書			
	情報活用能力の育成について、地域の歴史的建造物について、図書館やインターネットを使って調べる学習活動が【身近な歴史を年表にまとめよう】に設定されている。また、調べ方やまとめ方、発表の留意点が『グループで歴史を調べよう』に掲載されている。			

	東書	日文	帝国
社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、戦争をめぐる異なる立場の意見が『日露戦争』に、自由民権運動をめぐる異なる立場に関する資料が『自由民権運動の高まり』に掲載されている。	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、足尾鉍毒事件をめぐる異なる視点からの資料が『チャレンジ歴史』に、戦争をめぐる異なる立場の意見が『日露戦争』に掲載されている。	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、異なる意見の人物が議論の様子が『アクティブ歴史AL』に、情報の発信者による意図の違いに関する資料が『情報の意図を読み解く』に掲載されている。
主体的・対話的で深い学びに向けた学習活動に資する工夫や配慮	主体的・対話的で深い学びについて、各章の探究課題や探究のステップにある問いを考える学習活動が【第〇章で探究する問いは？】に、探究課題を解決するために学んだ内容について話し合う学習活動が【深めよう】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、異なる時代の資料から時代の変化について考える学習活動が【学習のはじめに】に、各編の学習課題を考える学習活動が【第〇編の問いを立てよう】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、学習する時代の特色を予想し話し合う学習活動が【「学習する時代の見通し」をもとう】に、各節の学習内容を捉える学習活動が【この章で学習する節の問い】に設定されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	社会（公民的分野）	
発行者の番号・略称	46	帝国
教科書の記号・番号	公民	046-92
書名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	
使用学年	3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、めざす生徒像を「これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備える生徒」とし、育成したい力として「表現コミュニケーション力」「科学・論理的思考力」「社会生活実践力」の3つの力を掲げている。</p> <p>公民分野の教科書を選定するにあたり、生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮の観点を設け、教科書目録にある全6者の教科書について比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮に関して、学習内容を振り返る課題が【学習のまとめと表現】に設定されていることから、教育出版「中学社会 公民とともに生きる」 ○未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮に関して、議論を中心としたテーマ学習、特設ページ【アクティブ公民AL】が設けられていることから、帝国書院「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」 ○学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮に関して、身の回りの課題を捉えて社会参画することを考える学習活動が【8 明日に向かって】が設けられていることから日本文教出版「中学社会 公民的分野」の3者に絞った。 <p>さらに、3者の教科書について、社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構</p>		

想し、表現されるための工夫、情報活用能力の育成の観点から比較・検討した。

その結果、

- 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫に関して、国際社会の平和と福祉を複数の視点や立場から情報を整理し考える学習活動が【学習を振り返ろう 国際社会と私たち】に、資料から若者の政治参加の様子を多角的に考える学習活動が【私たちと政治参加】に設定されている。
- 情報活用能力の育成に関して、グラフ資料から現代の少子高齢化の課題を考える学習活動が【少子高齢化が進む現代】に、マスメディアの資料から情報発信の特性を考えてまとめる学習活動が【18歳への準備 メディアリテラシーを身につけよう】に設定されている。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、帝国書院「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」を選定した。

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 社会（公民的分野）

	東書	教出	帝国
生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『まとめの活動 第〇章の学習をまとめよう』に、語句についての補足が『もっと解説 WINWIN』に掲載されている。	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習のまとめと表現』に、語句についての補足が『側注解説』に掲載されている。	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習を振り返ろう』に、語句についての補足が『解説』に掲載されている。
	日文	自由社	育鵬社
	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『まとめとふり返り 語句の意味を確認しよう』に、語句についての補足が『用語解説』に掲載されている。	「知識・技能」の習得について、各章末に学習内容に関する語句が『学習のまとめと発展』に、語句についての補足が『ここがポイント』に掲載されている。	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習のまとめ』に、語句についての補足が『用語解説』に掲載されている。

	東書	教出	帝国
未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、道路の建設計画を公共の福祉の観点からグループで話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ 公共の福祉について考えよう】に、地方自治の学習を基に公共サービスとコンビニエンスストアの提携方法を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 公共サービスとコンビニエンスストアについて考えよう】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、教育費とGDPの関係を考える学習活動【THINK 教育費がGDPに占める割合と、高等学校を私費で負担する割合の国際比較】に、モノの価格の決まり方について需要と供給の関係をグラフから考える学習活動が【公民の技 需要と供給曲線について考えよう】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、道路拡張工事をめぐる問題を複数の視点で考える学習活動が【アクティブ公民AL 青果店の立ちのきについて考えよう】に、裁判員制度の仕組みや意義を考える学習活動が【アクティブ公民AL 裁判員として裁判の判決を考えよう】に設定されている。
	日文	自由社	育鵬社
	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ダイヤモンドランニングを用いて公園づくりを話し合う学習活動が【チャレンジ公民 公園づくりについて話し合おう】に、道路拡張計画を複数の意見を基に考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張計画について考えよう】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、グローバル化による生活の変化を考える学習活動が【アクティブに深めよう グローバル化によって私たちの生活はどう変わったか、考えてみよう】に、複数の新聞社の記事を比較し考える学習活動が【アクティブに深めよう 新聞を読み比べてみよう】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、SDGsの視点やPDCAサイクルを基に食品ロスの問題を考える学習活動が【経済のこれから】に、政治や法律を学んだことを基に憲法の在り方を考える学習課題が【憲法のこれから】に設定されている。

	東書	教出	帝国
学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生存権を例に現実社会の課題を効率・公正の視点から考える学習活動が【みんなでチャレンジ 生存権について考えよう】に、学校生活の事例から決まりやルールを考える学習活動が【効率と公正 1年前の学校でのトラブルについて考えよう】に設定されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、効率・公正を踏まえ生活でのルール作りを多面的・多角的視点から考える学習活動が【誰もが大切にできるルールとは】に、防災への取組と課題を話し合う学習活動が【TRY 避難所における課題を考えてみよう】に設定されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の課題を解決する多数決のあり方を考える学習活動が【アクティブ公民AL 民主主義のあり方を考えよう】に、現在と過去の社会の様子を描いた2つのイラストから日常生活の変化や課題を考える学習活動が【学習の前に 45年前と今の社会を比べてみよう】に設定されている。
	日文	自由社	育鵬社
	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身の回りの課題を捉えて社会参画することを考える学習活動が【明日に向かって 15歳は子ども？それとも大人？】に、日常生活の事例から効率・公正の観点を踏まえて考える学習活動が【アクティビティ 効率と公正の考え方】に設定されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の事象に対して効率・公正を踏まえて考える学習活動が【体育館の使用問題①～④】に、店を出店するというロールプレイを基に地域経済の課題を考える学習活動が【アクティブに深めよう お店を出店しよう】に設定されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、効率・公正を踏まえてグラウンドの使用法のルールを考える学習活動が【やってみよう 部活動の平日のグラウンド割りを考えよう (1) (2)】に、中学生の起業を題材に社会参画を考える学習活動が【学習を深めよう 中学生が起業】に設定されている。

	教出	帝国	日文
社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫	多面的・多角的に考察し、表現することについて、地域のルールについて異なる立場から考えたり話し合ったりする学習活動【JUMP 未来のためにできること】に、京都の景観保護の取組から住民の生活と企業活動の関係を考える学習活動が【受け継がれる京都の景観】に設定されている。	多面的・多角的に考察し、表現することについて、国際社会の平和と福祉を複数の視点や立場から情報を整理し考える学習活動が【学習を振り返ろう 国際社会と私たち】に、資料から若者の政治参加の様子を多角的に考える学習活動が【私たちと政治参加】に設定されている。	多面的・多角的に考察し、表現することについて、関税についての異なる意見や立場を比較するなど複数の視点から考える学習活動が【アクティビティ 自由貿易と関税】に、人間らしい生活とは何かを考える学習活動が【アクティビティ 人間らしく生きるために必要なものは？】に設定されている。
情報活用能力の育成	情報活用能力の育成について、地図上の分布図を用いて地域紛争の現状を知りその問題や解決に向けて考える学習活動が【終わらない地域紛争】に、グラフ資料から社会保障費の給付と負担の情報を読み取る学習活動が【公民の技 給付と負担のこれからをセルフディベートで考えよう】に設定されている。	情報活用能力の育成について、グラフ資料から現代の少子高齢化の課題を考える学習活動が【少子高齢化が進む現代】に、マスメディアの資料から情報発信の特性を考えてまとめる学習活動が【18歳への準備 メディアリテラシーを身につけよう】に設定されている。	情報活用能力の育成について、変化する雇用の形態やそれらの問題をグラフ資料を読み取りながら考える学習活動が【変化する雇用のかたち】に、日本の人口のグラフ資料からこれからの社会の変化を予想する学習活動が【アクティビティ 日本の人口】に設定されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	地図	
発行者の番号・略称	46	帝国
教科書の記号・番号	地図	046-72
書名	中学校社会科地図	
使用学年	1・2・3年	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、めざす生徒像を「これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備える生徒」とし、育成したい力として「表現コミュニケーション力」「科学・論理的思考力」「社会生活実践力」の3つの力を掲げている。</p> <p>社会科の地図帳を選定するにあたり、「生きて働く知識・技能を習得するための工夫や配慮」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮」「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」「言語能力の確実な育成」「体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか」の観点を設け、東京書籍「新しい社会 地図」、帝国書院「中学校社会科地図」の全2者の教科書について比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生きて働く知識・技能を習得するための工夫や配慮」に関して、地図の使い方の観点を示した内容が『この地図の使い方』に、地図をもとに確認する問が『地図で発見!』に掲載されている。地理的分野のみならず、歴史的分野・公民的分野の学習にも活用できる内容になっている。 ○「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮」に関して、「地図で発見」などの問いが設けられている。 ○「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」に関して、イラストを配した鳥観図やQRコンテンツなど視覚的な工夫や資料活用能力を高める教材が用意されている。 ○「言語能力の確実な育成」に関して、学習内容を地図で確認し話し合う内容が『地図で発見』に設定されている。 ○「体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか」に関して、版型でA4判が採用されており、生徒が学習しやすくなっている。 		

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、帝国書院「中学校社会科地図」を選定した。

県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 社会（地図）

	東書	帝国
生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	「知識・技能」の習得について、地図の使い方の留意点を示した内容が『この地図帳の活用方法』に、地図を読み取る問いが『Bee's eye』に掲載されている。	「知識・技能」の習得について、地図の使い方の観点を示した内容が『この地図帳の使い方』に、地図をもとに確認する問いが『地図で発見！』に掲載されている。
未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地図や資料を用いて降水量が多くなる仕組みを考える学習活動が【日本の自然環境（気候）】に設定されている。また、地域の時差をとらえる方法が『世界の標準時』に掲載されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地図や資料を用いて人口分布の特徴を考える学習活動が【世界と日本の人口】に設定されている。また、地域の時差をとらえる方法が『等時帯』に掲載されている。
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	主体的・対話的で深い学びについて、複数の地図から考える学習活動が【中国国内の自然や文化の分布の関係性】や【GDPや所得の地域差や変化】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、複数の視点から地図を活用して考える学習活動が【渥美半島で野菜や花の栽培がさかんになった理由】や【栄養不足人口の割合が高い国や地域の人が多く集まっている州】に設定されている。
言語能力の確実な育成	言語能力の育成について、資料を活用し情報をまとめ議論する学習活動が【Bee's eye】に設定されている。	言語能力の育成について、学習内容を地図をもとに確認し話し合う学習活動が【地図で発見！】に設定されている。
体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	判型はA4判が採用されている。	判型はA4判が採用されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	数学	
発行者の番号・略称	104	数研
教科書の記号・番号	数学	104-73、104-83、104-93
書名	これからの 数学1 これからの 数学2 これからの 数学3	
使用学年	1、2、3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、めざす生徒像を「豊かな人間性とリーダーシップを備える生徒」「これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備える生徒」「よりよい社会の構築に貢献できる生徒」としている。それら教育目標やめざす生徒像の実現に向け、本校では育みたい力として「科学・論理的思考力」、「表現コミュニケーション力」、「社会生活実践力」をあげている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「科学・論理的思考力」、「表現コミュニケーション力」の育成に資する「思考力・判断力・表現力等」の育成、「言語能力の確実な育成」、「体験活動の充実」といった観点から全7者を比較・検討し、東京書籍「新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～」、教育出版「中学数学」、啓林館「未来へひろがる数学」、数研出版「これからの 数学」の4者に絞った。</p> <p>次に、4者について、本校の教育目標やめざす生徒像を鑑み、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」、「社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる」、「情報活用能力の育成」、「他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮」の観点について比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」について、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【必要な石の数を求めよう】、第2学年では【n角形の内角の和を求めよう】、第3学年では【図形を組み合わせて長方形をつくろう】に設定されている。また、各節ごとに『Q』や『TRY』が掲載されている。</p>		

○「社会に貢献する力」について、数学を「環境教育」に生かせる題材として、第1学年では、地震の性質を考える学習活動が【備えよう 地震の揺れ】に、第2学年では、世界の平均気温の上昇量を考える学習活動が【学んだことを活用しよう】に、第3学年では、大気汚染物質の大きさを考える学習活動が【数学旅行】に設定されている。また、各単元の導入となる課題や、利用の問題で身近な題材を扱っている。

○「情報活用能力の育成」について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【キャップの重さを予想しよう】、第2学年では【グラフから読み取れる情報を考えよう】、第3学年では【速さと制動距離の関係を説明しよう】に設定されている。

○「カリキュラム・マネジメント」について、他教科との関連した学習活動が、第1学年では家庭科と関連した【温める時間をちょうどよく設定しよう】、第2学年では理科と関連した【温度の単位】、第3学年では社会科と関連した【選挙速報】に設定されている。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、数研出版「これからの 数学1、2、3」を選定した。

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 数学

	東書	大日本	学図	教出
未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では九九表のきまりを考える課題を例に、第2学年では数あてゲームの仕組みを考える課題を例に、第3学年ではドミノ倒しのコースの長さを比べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『数学マイノート』に掲載されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では持久走の記録を比べる課題を例に、第2学年では連続する3つの整数の和の性質を調べる課題を例に、第3学年では根号をふくむ数の近似値を求める課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートの作り方例』に掲載されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では数直線を使って正負の数の大小を比べる課題を例に、第2学年では同類項の計算方法を考える課題を例に、第3学年では多項式どうしの乗法を考える課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートの使い方』に掲載されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では貸した本の冊数の平均を求める課題を例に、第2学年では連続する3つの整数の和の性質を調べる課題を例に、第3学年では連続する2つの奇数の積に1を加えた数の性質を調べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『工夫してノートを書こう』に掲載されている。
	啓林館	数研	日文	
	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では円柱の表面積を求める課題を例に、第2学年では多角形の外角の和を求める課題を例に、第3学年では2次方程式の解き方を比べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートをくふうして、学習に役立てよう』に掲載されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では加法の交換法則・結合法則を例に、第2学年では1次関数のグラフをかく課題を例に、第3学年では展開の公式を用いて 98×102 を計算する課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートのつくり方』に掲載されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では1次式の加法と減法を例に、第2学年では単項式の乗法と除法を例に、第3学年では因数分解を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートのくふう』に掲載されている。	

	東書	大日本	学図	教出
言語能力の確実な育成	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【身長を平均をくふうして求めてみよう】に、第2学年では【2つの正三角形の性質は？】に、第3学年では【四角形の各辺の中点を結んだ図形は？】に設定されている。	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【私たちの通学時間について】に、第2学年では【倍数の見分け方】に、第3学年では【コピーで拡大するときの倍率を調べよう】に設定されている。	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【カレンダーの数の秘密を考えよう】に、第2学年では【条件を変えて考えよう】に、第3学年では【問題づくりにチャレンジ！】に設定されている。	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【75°の角を作図してみよう】に、第2学年では【角の大きさの求め方を考えよう】に、第3学年では【どのくらい遠くまで見渡すことができるのかな？】に設定されている。
	啓林館	数研	日文	
	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【数あてマジックのしくみを考えよう】に、第2学年では【角の大きさを求めることができるかな？】に、第3学年では【通路の幅を何mにすればいいかな？】に設定されている。	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【硬貨の枚数と重さの関係を調べよう】に、第2学年では【時速9kmで走った道のりを求めよう】に、第3学年では【やってみよう 全数調査・標本調査】に設定されている。	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【確率の考えの活用】に、第2学年では【くじのあたりやすさを調べて説明しよう】に、第3学年では【船の位置を見つけよう】に設定されている。	

	東書	大日本	学図	教出
体験活動の充実	<p>体験活動の充実について、第1学年では、立体の模型を作り特徴を調べる学習活動が【⑦～④の立体の共通点やちがいをいってみましょう】に、第2学年では、ひもを使って直角をかく学習活動が【直角ができるのはなぜ?】に、第3学年では、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【いろいろな面積の正方形をかいてみよう】に設定されている。</p>	<p>体験活動の充実について、第1学年では、立体の模型を作り特徴を調べる学習活動が【ヒンメリを作ろう】に、第2学年では、実際に模様をかいて観察する学習活動が【アーガイルチェックを調べよう】に、第3学年では、ゲームを実行してその仕組みを考える学習活動が【数当てゲームをやってみよう】に設定されている。</p>	<p>体験活動の充実について、第1学年では、ルーラーキャッチの結果を比べる学習活動が【反応の速さはどのくらいかな?】に、第2学年では、さいころを実際に投げて目の出やすさを調べる学習活動が【出やすいのはどれ?】に、第3学年では、複数の長方形と正方形を並べかえて1つの長方形をつくる学習活動が【長方形の面積は?】に設定されている。</p>	<p>体験活動の充実について、第1学年では、紙コプターを作り滞空時間を比べる学習活動が【滞空時間の長い紙コプターを作ろう!】に、第2学年では、さいころを多数回投げて回数を調べる学習活動が【さいころの目の出やすさを調べてみよう!】に、第3学年では、格子上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【正方形の1辺の長さは?】に設定されている。</p>
	啓林館	数研	日文	
	<p>体験活動の充実について、第1学年では、面積の定められた複数の長方形をかく学習活動が【同じ面積の長方形をつくろう】に、第2学年では、作図した三角形の特徴を考える学習活動が【証明といえるかな?】に、第3学年では、複数の円周角をかいて大きさを比べる学習活動が【ストリングアートの中のきまりをさがそう】に設定されている。</p>	<p>体験活動の充実について、第1学年では、封筒を使って立体を組み立て特徴を調べる学習活動が【封筒で立体を作ってみよう】に、第2学年では、合同な三角形を作図する学習活動が【三角形の合同条件】に、第3学年では、複数の長方形と正方形を並べかえて1つの長方形をつくる学習活動が【図形を組み合わせて長方形をつくろう】に設定されている。</p>	<p>体験活動の充実について、第1学年では、トランプを使って正負の数の和を比べる学習活動が【トランプゲームをしよう!】に、第2学年では、三角定規を使った平行線のひき方を考える学習活動が【平行線になる条件】に、第3学年では、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【正方形の1辺の長さはわかるかな?】に設定されている。</p>	

	東書	教出	啓林館	数研
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【棒の本数を求めてみよう】に、第2学年では【マジックシートのしくみは？】に、第3学年では【先にゴールするのはどのコース？】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【キャップは何個集まっているのかな？】に、第2学年では【角の大きさの求め方を考えよう】に、第3学年では【整数の性質を調べてみよう】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【1日乗り放題のチケットを買った方がいい？】に、第2学年では【班の数はいくつ？】に、第3学年では【ピザをつくろう】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【必要な石の数を求めよう】に、第2学年では【n角形の内角の和を求めよう】に、第3学年では【図形を組み合わせて長方形をつくろう】に設定されている。
〔社会とかかわる力〕社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	〔社会とかかわる力〕の「環境教育」について、第1学年では、海岸に漂着しているごみの量を調べる学習活動が【章の問題B】に、第2学年では、食品ロスの量を考える学習活動が【食品ロスの未来を予測しよう】に、第3学年では、二酸化炭素の排出量とマイバッグの使用を考える学習活動が【章の問題B】に設定されている。	〔社会とかかわる力〕の「環境教育」について、第1学年では、食料輸送の際の輸送エネルギーの消費を考える学習活動が【学んだことを活用しよう】に、第2学年では、日本の都市の冬日の日数の傾向を考える学習活動が【冬日は本当に減ってきているのかな？】に、第3学年では、地球温暖化を考える学習活動が【考えよう！地球温暖化問題】に設定されている。	〔社会とかかわる力〕の「環境教育」について、第1学年では、紙パックのトイレットペーパーへのリサイクルを考える学習活動が【比例、反比例の利用】に、第2学年では、集中豪雨の発生回数や傾向を考える学習活動が【大雨の発生状況を調べよう】に、第3学年では、森林資源を無駄にしない角材の取り方を考える学習活動が【平方根の利用】に設定されている。	〔社会とかかわる力〕の「環境教育」について、第1学年では、地震の性質を考える学習活動が【備えよう 地震の揺れ】に、第2学年では、世界の平均気温の上昇量を考える学習活動が【学んだことを活用しよう】に、第3学年では、大気汚染物質の大きさを考える学習活動が【数学旅行】に設定されている。
情報活用能力の育成	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【グラフを使って考えよう】に、第2学年では【飲み物はいつまで冷たく保てる？】に、第3学年では【走行時の速さを推測しよう】に設定されている。	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【キャップは何個集まっているのかな？】に、第2学年では【どちらの自動車を買うとよいのかな？】に、第3学年では【何秒後かな？】に設定されている。	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【リサイクルする？】に、第2学年では【2人が出会う地点はどこかな？】に、第3学年では【車は急にとまれない】に設定されている。	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【キャップの重さを予想しよう】に、第2学年では【グラフから読み取れる情報を考えよう】に、第3学年では【速さと制動距離の関係を説明しよう】に設定されている。

	東書	教出	啓林館	数研
他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では保健体育科と関連した学習活動が【ランドルト環のしくみ】に、第2学年では英語科と関連した学習活動が【アメリカホームステイ】に、第3学年では理科と関連した学習活動が【瞬間の速さ】に設定されている。	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では社会科と関連した学習活動が【時差は何時間かな?】に、第2学年では理科と関連した学習活動が【冬日は本当に減ってきているのかな?】に、第3学年では美術科と関連した学習活動が【黄金比】に設定されている。	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では保健体育科と関連した学習活動が【ランドルト環】に、第2学年では理科と関連した学習活動が【雷さまはどこ?】に、第3学年では美術科と関連した学習活動が【ストリングアートの中的きまりをさがそう】に設定されている。	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では家庭科と関連した学習活動が【温める時間をちょうどよく設定しよう】に、第2学年では理科と関連した学習活動が【温度の単位】に、第3学年では社会科と関連した学習活動が【選挙速報】に設定されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	理科	
発行者の番号・略称	11	学図
教科書の記号・番号	理科	011-72、011-82、011-92
書名	中学校 科学1 中学校 科学2 中学校 科学3	
使用学年	1、2、3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、本校の教育理念は「科学・論理的思考力」「表現コミュニケーション力」「社会生活実践力」の3つである。</p> <p>本校の理科においては、身に付けた知識・技能を基礎としながら、自ら課題を見いだし、課題を解決するため、他者と協働する学習に取り組むとともに、自然を探究する学習をおして、「科学的・論理的思考力」を育成することをめざしている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」「自然を探究する体験活動の充実」「日常生活や社会とのかかわりあい」「科学・論理的思考力」の育成といった観点から全5者を比較・検討し、学校図書「中学校 科学」、啓林館「未来へひろがる サイエンス」、の2者に絞った。</p> <p>次に、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」「自然を探究する体験活動の充実」「日常生活や社会とのかかわりあい」「科学・論理的思考力」の育成に、「他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる」「観察、実験などが、科学的に探究する力の育成がはかれるような工夫や配慮がなされている」という観点を加え、2者を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <p>○「主体的・対話的で深い学びの実現」について、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する10項目の学習の流れとして、第1学年では仮説を立てそれを検証することの例が、第2学年では根拠に基づいて判断することの例が、第3学年では筋道を立て考え解決していくことの例が『なぜ理科を学ぶの?』に掲載されていること。</p>		

- 「体験活動の充実」について、実験の流れや様子が文章と写真で細かく記載されていること。
- 「日常生活や社会とのかかわりあい」について、活動や探究する実験、学習内容の関連性が示されていること。特に、社会とかかわる力の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では農業に携わる人が、第2学年では林業に携わる人が、第3学年では漁業に携わる人が『SDG s を意識して脱炭素社会へ』に掲載されていること。
- 「科学・論理的思考力」の育成について、「思考をさらに深める」が掲載されていること。中学2年生の化学分野で科学史に沿った内容の順序になっていること。中学3年生の地学分野の図と解説が細かいこと。
- 「他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力の育成」について、互いに協力しながら活動している生徒の活動が掲載されていること。また、自分で考え、その考えをいろいろな人の意見を聞いてより良くできるように『理路整然』が掲載されていること。
- 「科学的に探究する力の育成」について、『理路整然』では課題解決のプロセスが示されていること。また、各単元に観察・実験を計画して結果を分析・ふり返りをする流れが掲載されていること。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、学校図書「中学校 科学1、2、3」を選定した。

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 理科

	東書	大日本	学図
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れとして、第1学年では塩と砂糖と小麦粉の例が、第2学年では電磁石の例が、第3学年では麹菌の例が、『「探究」の流れを確認しよう』に掲載されている。	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する7項目の学習の流れとして、第1学年では身近な物理現象の例が、第2学年では生物の体のつくりとはたらきの例が、第3学年では化学変化とイオンの例が、『学習の見通しをもとう』に掲載されている。	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する10項目の学習の流れとして、第1学年では仮説を立てそれを検証することの例が、第2学年では根拠に基づいて判断することの例が、第3学年では筋道を立て考え解決していくことの例が『なぜ理科を学ぶの?』に掲載されている。
	教出	啓林館	
	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れとして、第1学年では5種類の水溶液の例が、第2学年では3種類の白い粉末の例が、第3学年では銅の質量と銅と結びつく酸素の質量の関係の例が『探究の進め方』に掲載されている。	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れとして、第1学年ではごま塩の粒の不思議の例が、第2学年では霧が発生する仕組みの例が、第3学年では影と太陽の関係の例が『探究とは』に掲載されている。	

	東書	大日本	学図
体験活動の充実	体験活動の充実について、第1学年では、生徒が実際にルーペを使い生物を観察する学習活動が【身近な生物の観察】に、第2学年では、抵抗器を使い電圧と電流の関係を調べる学習活動が【電圧と電流の関係】に、第3学年では、透明半球を用いて太陽の動きの特徴を調べる学習活動が【太陽の1日の動き】に設定されている。	体験活動の充実について、第1学年では、校庭周辺の生物を観察し特徴を調べる学習活動が【校庭周辺の生物の観察】に、第2学年では、空気を膨張させ雲のでき方を調べる学習活動が【雲のでき方】に、第3学年では、ばねばかりを使い合力の関係を調べる学習活動が【力の合成】に設定されている。	体験活動の充実について、第1学年では、学校のまわりにいる生物を観察する学習活動が【生物の観察】に、第2学年では、酸化銅を加熱し銅を実際に取り出す学習活動が【銅を取り出す】に、第3学年では、斜面に台車を滑らせ速さの変化を調べる学習活動が【斜面を下る台車の運動】に設定されている。
	教出	啓林館	
	体験活動の充実について、第1学年では、ピンセットを使って花を分解し観察する学習活動が【いろいろな花のつくりを調べる】に、第2学年では、炭素を使って酸化銅から銅を取り出す学習活動が【酸化銅から銅が取り出せるか調べる】に、第3学年では、ばねばかりを使って力の向きや大きさを調べる学習活動が【異なる方向にはたらく力の合力を調べる】に設定されている。	体験活動の充実について、第1学年では、花を実際に分解し観察する学習活動が【花のつくりの観察】に、第2学年では、水温を下げて教室の空気の露点を調べる学習活動が【空気中の水蒸気量の推定】に、第3学年では、複数の水溶液に電流が流れるかどうか調べる学習活動が【電流が流れる水溶液】に設定されている。	

	東書	大日本	学図
日常生活や社会とのかかわり	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年ではサイエンスアーティストが、第2学年では物理学者が、第3学年では宇宙飛行士が『お仕事大図鑑』に掲載されている。	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では水族館飼育員が、第2学年では船長が、第3学年では博物館学芸員が『Professional』に掲載されている。	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では農業に携わる人が、第2学年では林業に携わる人が、第3学年では漁業に携わる人が『SDGsを意識して脱炭素社会へ』に掲載されている。
	教出	啓林館	
	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では塩づくり職人が、第2学年では保安検査係員が、第3学年では農業に携わる人が『ハローサイエンス』に掲載されている。	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では鉱山技師が、第2学年では盲導犬の訓練士が、第3学年では宇宙飛行士が『お仕事ラボ』に掲載されている。	

	東書	大日本	学図
既習内容や発展内容の表記	・高校の学習内容が『発展』として取り上げられ、『高校』のマークで示されている。	・高校の学習内容が『発展』として取り上げられ、『高』のマークで示されている。	・高校での学習内容が『発展』として取り上げられ、『つながり高校』のマークで示されている。
	教出	啓林館	
	・高校の学習内容が『発展 高校』のマークで示されている。	・高校の学習内容が『発展』として取り上げられ、『高校化学へ』のマークで示されている。	

	学図	啓林館
SDGs、ESD・環境教育に関する資料	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では農業に携わる人が、第2学年では林業に携わる人が、第3学年では漁業に携わる人が『SDGsを意識して脱炭素社会へ』に掲載されている。	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では鉱山技師が、第2学年では盲導犬の訓練士が、第3学年では宇宙飛行士が『お仕事ラボ』に掲載されている。
生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【基本操作】に、第2学年では【資料】に、第3学年では【発展】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【はてなスイッチ】に、第2学年では【解説動画】に、第3学年では【問題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が、第1学年では『植物のなかま分け』に、第2学年では『どうする、植物と動物のちがいがい』に、第3学年では『動物の受精と発生』に掲載されている。	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が、第1学年では『種子をつくらない植物の観察』に、第2学年では『血管の分布や、血液の流れを調べてみよう』に、第3学年では『小形の魚が食べたものの観察』に掲載されている。
観察、実験などが、科学的に探究する力の育成	科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【どうする、融点・沸点が一定でない】に、第2学年では【どうする、抵抗の計算(1)】に、	科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【動物の背骨のようすの観察】に、第2学年では【空気の体積変化と雲のでき方】に、第3学年

成が図られるような工夫や配慮がなされている	第3学年では【どうする、太陽の道筋】に設定されている。	では【うすい塩酸の電気分解】に設定されている。
-----------------------	-----------------------------	-------------------------

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	音楽（一般）	
発行者の番号・略称	27	教芸
教科書の記号・番号	音楽	027-72、027-83、027-84
書名	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下	
使用学年	1、2・3、2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本選定における教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、本校の教育理念は「育てたい3つの力」として、「科学・論理的思考力…科学的根拠に基づく考察などにより、さまざまな事象を論理的に理解し、順序立てて説明する力」、「表現コミュニケーション力…相手の主張や状況などを的確に把握し、自己の考えや行動をその場にふさわしい方法で表現し、相手に伝えることのできる力」、「社会生活実践力…さまざまな社会現象を多面的にとらえる知識や技能を持ち、課題解決のために活用できる力」の3つを掲げている。</p> <p>本校の音楽科では、「科学・論理的思考力」、「表現コミュニケーション力」、「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」に重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「科学・論理的思考力」「表現コミュニケーション力」「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」に「言語能力の確実な育成」という観点を加え、教科書目録にある全2者、教育出版「中学音楽 1、2・3上下 音楽のおくりもの」、教育芸術社「中学生の音楽 1、2・3上下」を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「科学・論理的思考力」、「表現コミュニケーション力」の育成に関して、『学びのコンパス』で、自分がどのように表現したいかについて考えを記入し、仲間と意見交換をするためのワークシートが設定されていること。 ○「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」の充実に関して、第1学年では雅楽、箏曲、日本の民謡、2・3上では長唄、義太夫節、郷土の芸能、2・3下では尺八音楽、能、沖縄民謡などが、唱歌によって旋律の特徴を感じ取ったり、図形楽譜で民謡の節回しを演奏したりするなど、体験活動を含めて設定されていること。 ○「言語能力の確実な育成」に関して、『学びのコンパス』では、表現の工夫に関して考 		

え、仲間と意見交換する活動例が示されていること。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に適していると判断し、教育芸術社の「中学生の音楽 1、2・3上下」を選定した。

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 音楽（一般）

	教育出版	教育芸術社
未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、全学年の教材に『学びのユニット』として、学びの手掛かりとなる、音楽を形づくっている要素が示されている。教材のページ左下に『比べてみよう』がマークで示され、他の教材と比較することで特徴やよさを考える機会が設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、『My Melody』でキャラクターの吹き出しにより、表現の工夫や曲の特徴を捉える際の着眼点が示されている。また、『深めよう！音楽』では、 <u>表現の工夫に関して考え、仲間と意見交換する活動例が示されている。</u>
言語能力の確実な育成	言語能力の育成について、全学年において、鑑賞教材に『Active!』の記入欄が設けられており、感想や批評を話し合う活動が設定されている。また、2・3上の『You can Fly』では、意見交換を通して、表現方法を考える学習活動が設定されている。	言語能力の育成について、第1学年と2・3下の『曲のよさをプレゼンしよう』では、音楽について批評した内容を、プレゼンする学習活動が設定されている。また、全学年において『深めよう！音楽』では、 <u>自分がどのように表現したいかについて、意見交換をするためのワークシートが掲載されている。</u>
伝統や文化に関する教育の充実	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では箏曲、尺八音楽、日本とアジアの声による表現、2・3上では雅楽、舞楽、郷土の音楽や芸能、能、2・3下では歌舞伎、長唄、文楽などが取り上げられている。	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では雅楽、箏曲、日本の民謡、 <u>2・3上では長唄、義太夫節、郷土の芸能、2・3下では尺八音楽、能、沖縄民謡などが取り上げられている。</u>
「A表現」や「B鑑賞」の教材が、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているか	系統的・発展的な配列について、『故郷』の歌唱では、学年が上がるに従って、同声二部合唱から混声三部、混声四部へと発展されている。また、新たに得た知識・技能が別の教材でも関連付けられるよう、教材配列がされている。	系統的・発展的な配列について、『ふるさと』の歌唱では、学年が上がるに従って、混声二部合唱から混声三部、混声四部へと発展している。また、『My Voice!』では、豊かな発声について、学年が上がるごとに姿勢や呼吸、息の流れのイメージ、豊かな響きへと、配列されている。
文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『学習目標には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。	『全ての生徒の色覚特性に適応することを目指してデザインしています。』『特別支援教育の視点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるようにしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	音楽（器楽合奏）	
発行者の番号・略称	27	教芸
教科書の記号・番号	器楽	027-72
書名	中学生の器楽	
使用学年	1・2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本選定における教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、本校の教育理念は「育てたい3つの力」として、「科学・論理的思考力…科学的根拠に基づく考察などにより、さまざまな事象を論理的に理解し、順序立てて説明する力」、「表現コミュニケーション力…相手の主張や状況などを的確に把握し、自己の考えや行動をその場にふさわしい方法で表現し、相手に伝えることのできる力」、「社会生活実践力…さまざまな社会現象を多面的にとらえる知識や技能を持ち、課題解決のために活用できる力」の3つを掲げている。</p> <p>本校の音楽科では、「科学・論理的思考力」、「表現コミュニケーション力」、「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」に重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、「科学・論理的思考力」「表現コミュニケーション力」「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」に、「体験活動の充実」という観点を加え、教科書目録にある全2者、教育出版「中学器楽 音楽のおくりもの」、教育芸術社「中学生の器楽」を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「科学・論理的思考力」「表現コミュニケーション力」の育成に関して、『学びのコンパス』で、キャラクターの吹き出しにより、表現の工夫についての対話が例示されていること。 ○「かながわ次世代教養の一つである伝統文化・歴史学習」の充実に関して、箏、三味線、和太鼓、篠笛、尺八の五種類の和楽器から選択して知識・技能の習得ができるように設定されていること。また、各楽器の伝統的な代表曲が鑑賞教材として紹介されているほか、唱歌や楽器本来の楽譜も掲載されていること。 ○「体験活動の充実」に関して、『「寄席の合方」によるリズムアンサンブル』で、唱歌と手拍子、膝打ちにより『勸進帳』を演奏体験する学習が設定され、合方の特徴を体験す 		

る際に、掛声を用いる学習も設定されていること。

こうした題材や資料が、本校生徒の学習に適していると判断し、教育芸術社「中学生の器楽」を選定した。

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 音楽（器楽）

	教育出版	教育芸術社
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	主体的・対話的で深い学びの実現について、『表現の仕方を調べてみよう』では、楽器の構え方や音の出る仕組み、音色の特徴等について考えるワークシートが掲載されている。また、『発展』では各楽器の成り立ちや伝統などについて仲間と意見交換する場面も設定されている。	主体的・対話的で深い学びの実現について、『 <u>学びのコンパス</u> 』では、生徒役キャラクターの吹き出しにより、表現の工夫についての対話が例示されている。また、『 <input checked="" type="checkbox"/> 』により、演奏において留意する点が写真などを交えて示されている。
体験活動の充実	体験活動の充実について、鑑賞教材の『 <u>勸進帳</u> 』の『寄席の合方』の部分で体験的に演奏する活動が掲載されている。また、『 <u>楽器と唱歌によるパッチワーク</u> 』では、複数のリズムパターンと、唱歌を組み合わせた創作活動により、お囃子の特徴を体験する学習が設定されている。	体験活動の充実について、『 <u>寄席の合方</u> 』によるリズムアンサンブルでは、唱歌と手拍子、膝打ちにより、『 <u>勸進帳</u> 』を演奏体験する学習が設定されている。また、 <u>合方の特徴を体験する際に、掛け声を用いる学習も設定されている。</u>
「A表現」「B鑑賞」の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているか	系統的・発展的な学習について、全体の構成として、前半は管楽器、後半は弦楽器から打楽器へと、配列されている。また、各楽器の教材は入門から技能の習得、表現や音色の工夫まで、段階的に配置されている。	系統的・発展的な学習について、前半にアンサンブル教材が配置され、『 <u>学びのコンパス</u> 』により、対話的な学習が配置されている。各楽器に関連する教材は、全般的な知識、構造、技能が段階的に配置されている。
音楽文化の理解について、多様な音楽を、身の回りの生活や社会と関連させながら学習するための工夫や配慮がなされているか	音楽文化の理解について、『 <u>発展</u> 』の『吹く楽器の仲間たち』では、世界の吹奏楽器の写真や、素材が説明されており、文化や伝統について考える学習が設定されている。また、太鼓が、古くから地域の伝統行事や祭りにおいて演奏されてきた写真が掲載されている。	音楽文化の理解について、巻末に、和楽器に取り組む中学生の様子が掲載されている。また、ギターでは、クラシック以外にフォーク、ロック、ジャズなどのジャンルの違いが紹介されている。『 <u>バンドの世界をのぞいてみよう</u> 』では、音楽文化の一つとして、ポピュラー音楽が掲載されている。
文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『学習目標には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。	『全ての生徒の色覚特性に適応することを目指してデザインしています』『特別支援教育の観点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるようにしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	美術	
発行者の番号・略称	38	光村
教科書の記号・番号	美術	038-72、038-73、038-82
書名	美術1 美術1資料 美術2・3	
使用学年	1、2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、本校の教育理念は「育てたい3つの力」として、「科学・論理的思考力…科学的根拠に基づく考察などにより、さまざまな事象を論理的に理解し、順序立てて説明する力」、「表現コミュニケーション力…相手の主張や状況などを的確に把握し、自己の考えや行動をその場にふさわしい方法で表現し、相手に伝えることのできる力」、「社会生活実践力…さまざまな社会現象を多面的にとらえる知識や技能を持ち、課題解決のために活用できる力」の三つを掲げている。</p> <p>本校の美術科においては、「生徒が自ら造形的な見方・考え方を働かせながら、表現したり鑑賞したりして、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わること」、また、「生徒が自ら主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるよう、自分らしい思いや考えをもつこと」に重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わること」、「生徒が自ら主題を生み出して表現すること」、「生徒が自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞すること」に、「『A表現』『B鑑賞』の領域と〔共通事項〕の内容を相互に関連させながら取り扱うこと」を加えた観点で、開隆堂「美術1」「美術2・3」、光村「美術1」「美術1資料」「美術2・3」、日文「美術1 美術との出会い」「美術2・3上 学びの実感と深まり」「美術2・3下 学びの探求と未来」という全3者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <p>○ 「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わること」に関して、生徒が生活の中の瞬間や風景を撮影した作品が『うつくしい！を探してみよう』に、一日の生活</p>		

の中にあるデザインや工芸品が『暮らしの中のデザイン・工芸』に掲載されていること。

- 「生徒が自ら主題を生み出して表現すること」に関して、『表現 発想・構想』に掲載されている『みんなの工夫』をはじめ、生徒の試行錯誤の様子や制作過程を詳しく示すことで、「自分ならどういう作品をつくりたいか」と主体的に考えられるよう工夫されていること。
- 「生徒が自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞すること」に関して、各題材の『鑑賞』に、身近にあるものや風景、美術作品などからよさや美しさを感じ取り考えたりして、見方や感じ方を深める学習活動が設定されていること。
- 『A表現』『B鑑賞』の領域と〔共通事項〕の内容を相互に関連させながら取り扱うこと」に関して、各題材に〔共通事項〕を意識させる『POINT』を示し、〔共通事項〕の内容を実感的に理解しながら学習を進めることができるよう配慮され、造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫を考える学習活動が設定されていること。
- その他、「思いやる力」の「豊かな心」について、いじめ防止や差別撤廃など、人権をテーマに制作した作品やアール・ブリュットの作家をはじめとした多様な表現の作品が掲載されていたり、ユニバーサルデザインの特徴や役割を考える学習活動が【みんなのためのデザイン】に設定されたりしている。

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、光村図書「美術1」「美術1資料」「美術2・3」を選定した。

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 美術

〈かながわ教育ビジョンとの関連〉

	開隆堂	光村	日文
[思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	[思いやる力]の「豊かな心」について、インクルーシブな社会の実現に向けたデザインの意味や役割を考える学習活動が【つながるデザイン】に設定されている。また、一人ひとりの絵を貼り合わせた作品が『クラス生徒図鑑』に掲載されている。	[思いやる力]の「豊かな心」について、ユニバーサルデザインの特徴や役割を考える学習活動が【みんなのためのデザイン】に設定されている。また、色覚の特性による見え方や配色の方法が『色の効果と配色』に掲載されている。	[思いやる力]の「豊かな心」について、社会や暮らしの中での美術の働きを考える学習活動が【デザインの力でできること】に設定されている。また、デザイナーのインタビューが『文字から考える他者のためのデザイン』に掲載されている。

〈内容と構成〉

	開隆堂	光村	日文
生徒の学習上の困難さに応じた工夫	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習活動の進め方がキャラクターの吹き出しに、題材ページの構成やマークの意味が『教科書の使い方』に掲載されている。	生徒の学習上の困難さへの対応について、生徒の学習活動の過程が『みんなの工夫』に、題材ページの構成やマークの意味が『教科書を活用しよう』に掲載されている。	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習活動での作品の見方が『造形的な視点』に、題材ページの構成やマークの意味が『教科書の使い方』に掲載されている。
生徒が自ら造形的な見方・考え方を働かせながら、表現したり鑑賞したりして、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができるような工夫や配慮がなされているか。	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることにについて、漫画と文化財との表現のつながりが『私たちに身近な美術』に、美術館での鑑賞の方法が『美術館へ行こう』に掲載されている。	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることにについて、生徒が生活の中の瞬間や風景を撮影した作品が『うつくしい！を探してみよう』に、一日の生活の中にあるデザインや工芸品が『暮らしの中のデザイン・工芸』に掲載されている。	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることにについて、生徒が暮らしの中の発見や喜びを撮影した作品が『あなた的美を見つけよう』に、芸術は暮らしの中にあるものという考えが『岡本太郎“芸術はみんなのもの”』に掲載されている。

	開隆堂	光 村	日 文
生徒自らが主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるよう、表現及び鑑賞の題材に、自分らしい思いや考えをもつための工夫や配慮がなされているか。	自分らしい思いや考えをもつことについて、表現及び鑑賞の題材に、何に着目するのかやどのように思考するのが『発想・構想』や『鑑賞』に掲載されている。	自分らしい思いや考えをもつことについて、表現及び鑑賞の題材に、何に着目するのかやどのように思考するのが『表現 発想・構想』や『鑑賞』に掲載されている。	自分らしい思いや考えをもつことについて、表現及び鑑賞の題材に、何に着目するのかやどのように思考するのが『鑑賞の入り口』や『表現のヒント』に掲載されている。
「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び「共通事項」の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を関連させることについて、空間や光の表現から、造形的なよさや美しさを考える学習活動が【私が見つめた風景】に、形と色彩を手掛かりに作者の表現の意図と工夫を考える学習活動が【怒り、悲しみ、叫びのゆくえ】に設定されている。	「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を関連させることについて、色づかみや構図をもとに、造形的なよさや美しさを考える学習活動が【心ひかれるこの風景】に、作風の変化や作者の表現の意図と工夫を考える学習活動が【「ゲルニカ」を鑑賞しよう】に設定されている。	「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を関連させることについて、イメージや構図に着目し、造形的なよさや美しさを考える学習活動が【なぜか気になる情景】に、物の組み合わせやタッチに着目し、作者の表現の意図と工夫を考える学習活動が【あの日を忘れない】に設定されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	保健体育	
発行者の番号・略称	224	学研
教科書の記号・番号	保体	224-72
書名	新・中学保健体育	
使用学年	1・2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、めざす生徒像は「これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備える生徒」とし、育成したい力として「表現コミュニケーション力」「科学・論理的思考力」「社会生活実践力」の3つの力である。</p> <p>本校の保健体育科においては、「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力、人間性等』を涵養するための工夫や配慮」、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」、「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮」等に重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、「学びに向かう力、人間性等の涵養」「主体的・対話的で深い学びの実現」「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮」といった観点から、東京書籍「新編 新しい保健体育」、大日本「中学校保健体育」、大修館「最新中学校保健体育」、学研「新・中学保健体育」という全4者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学びに向かう力、人間性等の涵養」に関して、日常生活で生かすための学習活動が【生かそう】や【1年の学習の終わりに】に設定されていること。 ○「主体的・対話的で深い学びの実現」に関して、毎時間の学習の見通しとなる5つの学習過程が『1時間の主な流れ』に掲載されていること。また、1時間の最後に主体的に取り組めたかどうかを自己評価する学習活動が【とりくメーター】に設定されていること。 ○「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮」に関して、1人1台端末を活用できる学習活動が【交通事故の防止】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されていること。 <p>こうした題材や資料等が、本校の生徒の学習に最も適していると判断し、学研「新・中学保健体育」を選定した。</p>		

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 保健体育

	東書	大日本	大修館	学研
学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で生かすための学習活動が【広げる】や【学習のまとめ】に設定されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で生かすための学習活動が【つかもう】や【学びを活かそう】に設定されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で生かすための学習活動が【章のまとめ】や【学習のまとめ】に設定されている。	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で生かすための学習活動が【生かそう】や【1年の学習の終わりに】に設定されている。
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる6つの学習過程が『1時間の主な流れ』に掲載されている。また、習得した知識・技能を生かして考える学習活動が【活用する】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる6つの学習過程が『1時間の学習の主な流れ』に掲載されている。また、1時間ごとに学習を通して解決したい課題を確認する学習活動が【学習のねらい】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる3つの学習過程が『この教科書の使い方』に掲載されている。また、これまでの経験や学習を思い出ししながら、問題を解いたり意見を出し合ったりする学習活動が【課題をつかむ】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる5つの学習過程が『1時間の主な流れ』に掲載されている。また、1時間の最後に主体的に取り組めたかどうかを自己評価する学習活動が【とりくメーカー】に設定されている。
生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【危険回避の方法】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【外傷の応急手当】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【リラクセーションの方法】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【交通事故の防止】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	技術・家庭（技術分野）	
発行者の番号・略称	9	開隆堂
教科書の記号・番号	技術	009-72
書名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	
使用学年	1・2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、めざす生徒像を「豊かな人間性とリーダーシップを備える生徒」「これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備える生徒」「よりよい社会の構築に貢献できる生徒」としている。</p> <p>これらを踏まえ、技術・家庭科技術分野では、「社会生活実践力」「表現コミュニケーション力」「科学・論理的思考力」を育てたい力とし、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮」、「体験活動の充実」、「生徒の学習上の困難さに応じた工夫」といった観点から全3者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びについて、日常生活における問題の例を示しながら、生活の中から問題を見いだして課題を設定する学習活動が【問題の発見と課題の設定】や実習例の【①問題の発見】【②課題の設定】に設定されていること。 ○体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して材料の性質や電気回路の仕組みを考える学習活動が【実験 木材を水に入れてみよう】や【やってみよう どちらが明るいただろう？】に設定されていること。 ○生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、キーボードの操作を示した基礎技能が『コンピュータの基本操作』に、プログラミング言語の種類が『プログラミング』に掲載されていること。 <p>こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、開隆堂「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」を選定した。</p>		

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 技術・家庭科（技術分野）

	東書	教図	開隆堂
⑦主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	主体的・対話的で深い学びについて、問題発見例を示し、問題を見いだして課題を設定する学習活動が【学習課題 エネルギー変換の技術に関わる問題を見だし、課題を設定しよう。】や【学習課題 双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見だし、課題を設定しよう。】に設定されている。	主体的・対話的で深い学びについて、問題と解決する方法を示し、生活の中から問題を見いだして課題を設定する学習活動が【ステップ1 完成形をイメージしよう】や【ステップ1 育てかたをイメージしよう】に設定されている。	<u>主体的・対話的で深い学びについて、日常生活における問題の例を示しながら、生活の中から問題を見いだして課題を設定する学習活動が【問題の発見と課題の設定】や実習例の【①問題の発見】【②課題の設定】に設定されている。</u>
⑩体験活動の充実	体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して材料の性質や動力伝達の仕組みを考える学習活動が【やってみよう 木材を切ったり削ったりしよう】や【やってみよう 回転力を比べよう】などに設定されている。	体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して機械や情報の仕組みを考える学習活動が【やってみよう 自転車の保守点検をしてみよう。】や【やってみよう 4ビットと8ビットでは、何通りの表現ができるだろうか。】などに設定されている。	<u>体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して材料の性質や電気回路の仕組みを考える学習活動が【実験 木材を水に入れてみよう】や【やってみよう どちらが明るいだろう?】に設定されている。</u>
⑭生徒の学習上の困難さに応じた工夫	生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、文字入力やソフトウェアの操作を示した基礎技能が『コンピュータの基本操作』に、プログラミングの基本操作が『プログラミング手帳』に掲載されている。	生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、マウスやタブレットの操作方法やファイルの管理などの基礎技能が『基本操作』に、プログラム例が『スモウルビーのプログラム例』などに掲載されている。	<u>生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、キーボードの操作を示した基礎技能が『コンピュータの基本操作』に、プログラミング言語の種類が『プログラミング』に掲載されている。</u>

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	技術・家庭（家庭分野）	
発行者の番号・略称	9	開隆堂
教科書の記号・番号	家庭	009-72
書名	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	
使用学年	1・2・3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、めざす生徒像を「豊かな人間性とリーダーシップを備える生徒」「これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備える生徒」「よりよい社会の構築に貢献できる生徒」としている。</p> <p>これらを踏まえ、本校の技術・家庭科家庭分野では、「社会生活実践力」「表現コミュニケーション力」「科学・論理的思考力」を育てたい力とし、「自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力の育成」、「『生活の営みに係る見方・考え方』を働かせた学習となるよう、内容構成の工夫や配慮」、「実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮」といった観点から全3者の教科書を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力の育成」に関して、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【毎日の食習慣と健康の基本】に設定されていること。 ○「『生活の営みに係る見方・考え方』を働かせた学習となるよう、内容構成の工夫や配慮」に関して、各節の終わりに見方・考え方をいかした活動【発展 子どもの健やかな成長のために】などが設定されていること。 ○「実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮」に関して、幼児との触れ合い方などの課題解決に向けた学習活動例【ドキドキワクワクふれ合い体験】に設定されていること。 <p>その他、</p>		

○生きて働く「知識・理解」を習得するための工夫・配慮に関して、実習のポイントや理論が【しょうが焼き】などに掲載されていること。

○体験活動の充実に関して、調理実習などの理論や根拠に関する写真、説明文が「調理方法Q&A」に示されていること。

こうした題材や資料等が、本校の生徒の学習に適していると判断し、開隆堂「技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ」を選定した。

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 技術・家庭（家庭分野）

	東書	教図	開隆堂
教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>・「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『できたかな?』に掲載されている。「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【考えてみよう】に設定されている。</p>	<p>・「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『ふり返る』に掲載されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【考えてみよう】に設定されている。</p>	<p>・「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『学習のまとめ』に掲載されている。 ・「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【調べてみよう】に設定されている。</p>
かながわ教育ビジョンとの関連	<p>・[たくましく生きる力]の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【私たちの食生活】に設定されている。</p>	<p>・[たくましく生きる力]の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【健康によい食習慣について考えよう】に設定されている。</p>	<p>・[たくましく生きる力]の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【毎日の食習慣と健康の基本】に設定されている。</p>
内容と構成	<p>・主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『家庭分野の学習の進め方』に掲載されている。 ・カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所に他教科のマークが、道徳科との関連として『支えらえて身につける生活習慣』に掲載されている。 ・実践的・体験的な活動を通した知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、調理方法などの課題解決に向けた学習活動が【生活に生かそう】に設定されている。</p>	<p>・主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『自分の課題をもって学習に取り組もう!』に掲載されている。 ・カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所に他教科のマークが、理科との関連として『栄養素の種類と働きを知ろう』に掲載されている。 ・実践的・体験的な活動を通した知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、衣服の点検などの課題解決に向けた学習活動が【考えてみよう】に設定されている。</p>	<p>・主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『家庭分野の学び方と身につけたい力』に掲載されている。 ・カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所に他教科のマークが、保健体育との関連として『中学生の発達と必要な栄養』に掲載されている。 ・実践的・体験的な活動を通した知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、幼児との触れ合い方などの課題解決に向けた学習活動が【考えてみよう】に設定されている。考え方を日常生活に生かす活動『生活にかそう』が設定されている。</p>

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	英語	
発行者の番号・略称	38	光村
教科書の記号・番号	英語	038-72、038-82、038-92
書名	Here We Go! ENGLISH COURSE 1 Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Here We Go! ENGLISH COURSE 3	
使用学年	1、2、3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。</p> <p>本校の英語科においては、本校の「育てたい3つの力」の1つである「表現コミュニケーション力」の育成を重視し、「基礎的な表現や文法事項の定着」、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」の五つの領域にわたってコミュニケーションを図る資質・能力をバランスよく育成するための言語活動」、「リテリング、ディベートなどの領域統合型の言語活動」にも重点を置いている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「リテリング、ディベートなどの領域統合型の言語活動」といった観点から全6者を比較・検討し、東京書籍の「NEW HORIZON English Course」、開隆堂の「SUNSHINE ENGLISH COURSE」、光村図書の「Here We Go! ENGLISH COURSE」の3者に絞った。</p> <p>次に、「リテリング、ディベートなどの領域統合型の言語活動」に、学習指導要領で示されている「簡単な語句や文を用いて即興で話す」という観点を加え、3者を比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「リテリング、ディベートなどの領域統合型の言語活動」という観点に関して、3年間を通して、自分の言葉で話す「Story Retelling」が設定されている。 ○「簡単な語句や文を用いて即興で話す」という観点に関して、学習した内容を繰り返し活用しながら簡単な語句や文を用いて即興で話す帯活動「Let's Talk」が設定されている。 		

こうした題材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、光村図書「Here We Go! ENGLISH COURSE 1、2、3」を選定した。

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 英語

(1) 全発行者の比較

	東書	開隆堂	三省堂
① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Grammar for Communication】に設定されている。	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【PROGRAM】に設定されている。	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Language Focus】に設定されている。
	教出 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Grammar】に設定されている。	光村 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Active Grammar】に設定されている。	啓林館 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Focus on Form】に設定されている。

	東書	開隆堂	三省堂
⑩ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	言語の使用場面や言語の働きについて、英語雑誌に対する意見を投稿する場面の学習活動が【Real Life English】に設定されている。	言語の使用場面や言語の働きについて、電車の乗り換えを案内する学習活動が【Power-Up①】に設定されている。	言語の使用場面や言語の働きについて、電話で友人をコンサートに誘う学習活動が【Take Action!】に設定されている。
	教出 言語の使用場面や言語の働きについて、空港の案内所で係員に目的地までの行き方をたずねる学習活動が【Useful Expressions①】に設定されている。	光村 言語の使用場面や言語の働きについて、留守番電話に残された伝言を聞き返答する場面の学習活動が【Daily Life】に設定されている。	啓林館 言語の使用場面や言語の働きについて、購入品の欠陥を店頭で伝える学習活動が【Let's Talk①】に設定されている。

	東書	開隆堂	三省堂
⑨ 言語能力の確実な育成	言語能力の育成について、巻末のCAN-DO リストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【CAN DO CHECK Stage○】に設定されている。	言語能力の育成について、巻末のCAN-DO リストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Our Project○】に設定されている。	言語能力の育成について、巻末のCAN-DO リストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【ふり返り】に設定されている。
	教出	光村	啓林館
	言語能力の育成について、巻末のCAN-DO リストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Lesson○をふり返ろう】に設定されている。	言語能力の育成について、巻末のCAN-DO リストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Goal ふり返り】に設定されている。	言語能力の育成について、巻末のCAN-DO リストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Check】に設定されている。

	東書	開隆堂	三省堂
⑩ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Preview】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【単語アプリ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【とびら】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
	教出	光村	啓林館
	言語の使用場面や言語の働きについて、空港の案内所で係員に目的地までの行き方をたずねる学習活動が【Useful Expressions①】に設定されている。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Eri and Kota と学ぶ基本文】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Words 音声】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。

(2) 3者での比較

	東書	開隆堂	光村
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、世界に広がる日本語について話し合う学習活動が【Task 3】に設定されている。	カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して、環境問題について考える課題が【Action】に設定されている。	カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して、歴史と平和について考える学習活動が【Goal】に設定されている。

令和8年度使用希望教科書選定理由書

県立相模原中等教育学校 前期課程

種目	道徳	
発行者の番号・略称	116	日文
教科書の記号・番号	道徳	116-73、116-74 116-83、116-84 116-93、116-94
書名	中学道徳 あすを生きる 1 中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 2 中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 3 中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート	
使用学年	1、2、3	
<p>[選定理由]</p> <p>本校の教育目標は、「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」である。また、めざす生徒像を「これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備える生徒」「豊かな人間性とリーダーシップを備える生徒」「よりよい社会の構築に貢献できる生徒」としている。それら教育目標やめざす生徒像の実現に向け、本校では「表現コミュニケーション力」「社会生活実践力」を育むために、言語活動の充実を図っている。</p> <p>これらを踏まえ、特に「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養、「言語能力」の育成といった観点から、設定された学習活動について全7者を比較・検討し光村図書出版「中学道徳 きみが いちばん ひかるとき1、2、3」、日本文教出版「中学道徳 あすを生きる1、2、3」、Gakken「新版 中学生の道徳 明日への扉1、2、3」の3者に絞った。</p> <p>次に、3者について、本校の教育目標やめざす生徒像を鑑み、「リーダーシップ」、「社会貢献」、「国際理解・国際貢献」と「情報化」の観点について比較・検討した。</p> <p>その結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「リーダーシップ」に関わる[思いやる力]について、複数の教材から他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てるユニット『いじめと向き合う』が各学年で設定され、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『言葉の向こうに』に、第2学年では『いじめをなくすために』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。 ○「社会貢献」に関わる[社会とかかわる力]について、複数の教材から社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てるユニット『よりよい社会を考え 		

る』が設定され、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いつわりのバイオリン】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【生きてこそー石井筆子の生涯ー】に設定されている。

- 「国際理解・国際貢献」に関して、第1学年『命のトランジットビザ』、第2学年『アフガニスタンの人々と共に』、第3学年『違いと乗り越えて』といった視野を広げる題材のほか、各学年に『受け継ぐかたち・思い・地域のよさ』という日本の伝統と文化について考える教材が設定されている。
- 「情報化」に関して、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が、第1学年『情報社会とコミュニケーション』、第2学年『いじめをなくすために』、第3学年『いじめのない社会へ』に掲載されている。

さらに、日本文教出版は自分の考えを記述したり、考えを振り返ったりする別冊「道徳ノート」が巻末に挟み込まれており、取り外しが可能なため、学習後に回収して生徒個々の学習状況を確認することができる。

こうした教材や資料等が、本校生徒の学習に最も適していると判断し、日本文教出版の「中学道徳 あすを生きる1、2、3」を選定した。

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 道徳

	東書	教出	光村	日文
未知の状況にも対応できる 「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【ぼくらの村の未来】に、第2学年では【私のせいじゃない】に、第3学年では【その子の世界、私の世界】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【二人の言い分】に、第2学年では【お菓子、どうする？】に、第3学年では【変わりゆく地球】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【なんだろうな だらう「正義」って、なんだろう。】に、第2学年では【なんだろうな だらう「ゆるす」って、なんだろう。】に、第3学年では【なんだろうな だらう「自立」って、なんだろう。】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が、第1学年では【学びを深めよう 三人の乗客】に、第2学年では【学びを深めよう マークはなんのために？】に、第3学年では【学びを深めよう マナーってなんだろう】に設定されている。
	学研	あか図	日科	
	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が、第1学年では【クローズアップ 知ることから始めよう～人数から見える世界～】に、第2学年では【クローズアップ 多様な性と私たち】に、第3学年では【クローズアップ 社会を変える一歩】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【島耕作ある朝の出来事】に、第2学年では【迷惑とは何ぞ】に、第3学年では【ベビーカー論争】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、教材を読んで考え、異なる意見にふれ、話し合う学習活動が、第1学年では【試してみよう宿題】に、第2学年では【ウォーミングアップ 野菜売り場】に、第3学年では【ウォーミングアップ 水たまり】に設定されている。	

	東書	教出	光村	日文
<p>学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮</p>	<p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや心に残ったことを書く学習活動が【<u>自分の学びをふり返ろう</u>】に、各教材に自分が感じたことや考えたことをメモする学習活動が【<u>つぶやき</u>】に設定されている。</p>	<p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや自分が成長したと思うことを書く学習活動が【<u>道徳科の学びを振り返ろう</u>】に、1年間学んできたことを振り返る学習活動が【<u>「よりよく生きる」って、どういうことだろう？</u>】に設定されている。</p>	<p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、<u>学習の始めと終わりに考えを書き、成長したことを振り返る学習活動が【1年間の学びを振り返ろう】に、学習したことを次の学びや日常生活の中で生かすためにどうすればいいか考える学習活動が【つなげよう】に設定されている。</u></p>	<p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、学期ごとに学んできたことを振り返る学習活動が【<u>道徳科で学んだことを振り返ってみよう</u>】に、<u>道徳ノートに教材の学びを自分に関わりのあることとして考えることができたかを振り返る学習活動が【自分への振り返り】に設定されている。</u></p>
	<p>学研</p> <p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、<u>1年間の学びを通して、未来の自分にメッセージを書くことや心に残った言葉等を振り返る学習活動が【学びの記録】に、日々の授業で、気付いたことを書き留める学習活動が【メモ】に設定されている。</u></p>	<p>あか図</p> <p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、学期ごとに学習してきたことを振り返り、これからの自分について考える学習活動が【<u>学習の記録</u>】に、1年間の学びを振り返り、成長したことを書き記す学習活動が【<u>1年間の学習の記録</u>】に設定されている。</p>	<p>日科</p> <p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、過去の偉人の言葉から自己を見つめる学習活動が【<u>古今東西「愛」放談</u>】に、教材を読んで、自分の思ったことを書き記す学習活動が【<u>memo</u>】に設定されている。</p>	

	東書	教出	光村	日文
言語能力の確実な育成	言語能力の育成について、自らが問いを立て、対話し、学びを振り返る学習活動が、第1学年では【思いやりの日々】に、第2学年では【みんなでとんだ！】に、第3学年では【好きな仕事か安定かなやんでいる】に設定されている。	言語能力の育成について、教材を読み、考えたことを友達と話し合い、自己を振り返る学習活動が、第1学年では【おはよう】に、第2学年では【留学で考えさせられたお金】に、第3学年では【父の一言】に設定されている。	言語能力の育成について、これまでの経験から心に残っている言葉を書き記す学習活動が、第1学年では【自分が暮らす地域の特長を思い浮かべてみよう】に、第2学年では【インターネットの利用を振り返ろう】に、3学年では【自分を輝かせる言葉を探してみよう】に設定されている。	言語能力の育成について、気づき、考え、議論して、自分を見つめる授業の流れを知る学習活動が、第1学年では【ミニ教材で考えてみよう難しい宿題】に、第2学年では【ミニ教材で考えてみよう成功と失敗】に、第3学年では【ミニ教材で考えてみようある和菓子店】に設定されている。
	学研	あか図	日科	
	言語能力の育成について、教材を読んで見つけたこと、考えたことをもとに話し合う学習活動が、第1学年では【深めよう 人々の心に響いたものは】に、第2学年では【深めよう「いざというとき」を考える】に、第3学年では【深めよう限られた命について考えよう】に設定されている。	言語能力の育成について、話し合いの際の視点を整理して話し合う学習活動が、第1学年では【マイ・プラス いじめについて話し合ってみよう】に、第2学年では【マイ・プラス 意見の対立について話し合ってみよう】に、第3学年では【マイ・プラス 白鳥さんとのアート鑑賞を考えよう】に設定されている。	言語能力の育成について、自分の考えをウェルビーイングカードを用いて話し合う学習活動が、第1学年では【オレは最強だ！】に、第2学年では【ナイスジャンプ】に、第3学年では【領民を幸福にすることこそ】に設定されている。	

	光村	日文	学研
<p>〔思いやる力〕他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。 （共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など）</p>	<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『いつもの教室の中で』に、第2学年では『「いじり」って』に、第3学年では『三年目の「ごめんね』』に掲載されている。</p>	<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『言葉の向こうに』に、第2学年では『いじめをなくすために』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。</p>	<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『クラスメイト』に、第2学年では『ソムチャイの笑顔』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。</p>
<p>〔社会とかかわる力〕社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。 （生きること、働くこと、大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など）</p>	<p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考えから、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【撮れなかった一枚の写真】に、第2学年では【遠く離れた人に会いたい】に、第3学年では【足袋の季節】に設定されている。</p>	<p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考えから、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いつわりのバイオリン】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【生きてこそー石井筆子の生涯ー】に設定されている。</p>	<p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考えから、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いっぱい生きる 全盲の中学校教師】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【二人の弟子】に設定されている。</p>
<p>〔たくましく生きる力〕自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。 （公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など）</p>	<p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、インターネットの使い方を考える内容が、第1学年では『わかり合うために』に、第2学年では『見えな誰かと』に、第3学年では『インターネットの中の社会で』に掲載されている。</p>	<p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が、第1学年では『情報社会とコミュニケーション』に、第2学年では『いじめをなくすために』に、第3学年では『いじめのない社会へ』に掲載されている。</p>	<p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が、第1学年では『うわさで決めるの？』に、第2学年では『つい言い過ぎて』に、第3学年では『アップロード ダウンロード』に掲載されている。</p>

	光村	日文	学研
<p>他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮</p> <p>(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)</p>	<p>カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『レタス博士』に、美術科と関連した教材が『サグラダ・ファミリアー受け継がれていく思い』に、数学科と関連した教材が『スカイツリーにかけた夢』に掲載されている。</p>	<p>カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連した教材が『本とペンで世界を変えよう』に、音楽科と関連した教材が『いつわりのバイオリン』に、美術科と関連した教材が『マークは何のために?』に掲載されている。</p>	<p>カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ヒト・ips細胞を求めて 山中伸弥』に、保健体育科と関連した教材が『真の国際人 嘉納治五郎』に、社会科と関連した教材が『領民を愛した名君 上杉鷹山』に掲載されている。</p>

「県立相模原中等教育学校 令和8年度使用希望教科書選定理由書」補足資料

※「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度用）」令和6年6月（神奈川県教育委員会）を参考に作成

種目 道徳

	東書	教出	光村	日文
未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【ぼくらの村の未来】に、第2学年では【私のせいじゃない】に、第3学年では【その子の世界、私の世界】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【二人の言い分】に、第2学年では【お菓子、どうする？】に、第3学年では【変わりゆく地球】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【なんだろうな だろう「正義」って、なんだろう。】に、第2学年では【なんだろうな だろう「ゆるす」って、なんだろう。】に、第3学年では【なんだろうな だろう「自立」って、なんだろう。】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が、第1学年では【学びを深めよう 三人の乗客】に、第2学年では【学びを深めよう マークはなんのために？】に、第3学年では【学びを深めよう マナーってなんだろう】に設定されている。
	学研	あか図	日科	
	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が、第1学年では【クローズアップ 知ることから始めよう～人数から見える世界～】に、第2学年では【クローズアップ 多様な性と私たち】に、第3学年では【クローズアップ 社会を変える一歩】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【島耕作ある朝の出来事】に、第2学年では【迷惑とは何ぞ】に、第3学年では【ベビーカー論争】に設定されている。	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、教材を読んで考え、異なる意見にふれ、話し合う学習活動が、第1学年では【試してみよう宿題】に、第2学年では【ウォーミングアップ 野菜売り場】に、第3学年では【ウォーミングアップ 水たまり】に設定されている。	

	東書	教出	光村	日文
<p>学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮</p>	<p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや心に残ったことを書く学習活動が【<u>自分の学びをふり返ろう</u>】に、各教材に自分が感じたことや考えたことをメモする学習活動が【<u>つぶやき</u>】に設定されている。</p>	<p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや自分が成長したと思うことを書く学習活動が【<u>道徳科の学びを振り返ろう</u>】に、1年間学んできたことを振り返る学習活動が【<u>「よりよく生きる」</u>って、<u>どういうことだろう？</u>】に設定されている。</p>	<p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、<u>学習の始めと終わりに考えを書き、成長したことを振り返る学習活動が【1年間の学びを振り返ろう】</u>に、<u>学習したことを次の学びや日常生活の中で生かすためにどうすればいいか考える学習活動が【つなげよう】</u>に設定されている。</p>	<p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、学期ごとに学んできたことを振り返る学習活動が【<u>道徳科で学んだことを振り返ってみよう</u>】に、<u>道徳ノートに教材の学びを自分に関わりのあることとして考えることができたかを振り返る学習活動が【自分への振り返り】</u>に設定されている。</p>
	<p>学研</p> <p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、<u>1年間の学びを通して、未来の自分にメッセージを書くこと</u>や心に残った<u>言葉等を振り返る学習活動が【学びの記録】</u>に、<u>日々の授業で、気付いたことを書き留める学習活動が【メモ】</u>に設定されている。</p>	<p>あか図</p> <p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、学期ごとに学習してきたことを振り返り、これからの自分について考える学習活動が【<u>学習の記録</u>】に、1年間の学びを振り返り、成長したことを書き記す学習活動が【<u>1年間の学習の記録</u>】に設定されている。</p>	<p>日科</p> <p>「<u>学びに向かう力・人間性等</u>」の涵養について、過去の偉人の言葉から自己を見つめる学習活動が【<u>古今東西「愛」放談</u>】に、教材を読んで、自分の思ったことを書き記す学習活動が【<u>memo</u>】に設定されている。</p>	

	東書	教出	光村	日文
言語能力の確実な育成	言語能力の育成について、自らが問いを立て、対話し、学びを振り返る学習活動が、第1学年では【思いやりの日々】に、第2学年では【みんなでとんだ！】に、第3学年では【好きな仕事か安定かなやんでいる】に設定されている。	言語能力の育成について、教材を読み、考えたことを友達と話し合い、自己を振り返る学習活動が、第1学年では【おはよう】に、第2学年では【留学で考えさせられたお金】に、第3学年では【父の一言】に設定されている。	言語能力の育成について、これまでの経験から心に残っている言葉を書き記す学習活動が、第1学年では【自分が暮らす地域の特長を思い浮かべてみよう】に、第2学年では【インターネットの利用を振り返ろう】に、3学年では【自分を輝かせる言葉を探してみよう】に設定されている。	言語能力の育成について、気づき、考え、議論して、自分を見つめる授業の流れを知る学習活動が、第1学年では【ミニ教材で考えてみよう難しい宿題】に、第2学年では【ミニ教材で考えてみよう成功と失敗】に、第3学年では【ミニ教材で考えてみようある和菓子店】に設定されている。
	学研	あか図	日科	
	言語能力の育成について、教材を読んで見つけたこと、考えたことをもとに話し合う学習活動が、第1学年では【深めよう 人々の心に響いたものは】に、第2学年では【深めよう「いざというとき」を考える】に、第3学年では【深めよう限られた命について考えよう】に設定されている。	言語能力の育成について、話し合いの際の視点を整理して話し合う学習活動が、第1学年では【マイ・プラス いじめについて話し合ってみよう】に、第2学年では【マイ・プラス 意見の対立について話し合ってみよう】に、第3学年では【マイ・プラス 白鳥さんとのアート鑑賞を考えよう】に設定されている。	言語能力の育成について、自分の考えをウェルビーイングカードを用いて話し合う学習活動が、第1学年では【オレは最強だ！】に、第2学年では【ナイスジャンプ】に、第3学年では【領民を幸福にすることこそ】に設定されている。	

	光村	日文	学研
<p>〔思いやる力〕他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。 （共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など）</p>	<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『いつもの教室の中で』に、第2学年では『「いじり」って』に、第3学年では『三年目の「ごめんね』』に掲載されている。</p>	<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『言葉の向こうに』に、第2学年では『いじめをなくすために』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。</p>	<p>〔思いやる力〕の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『クラスメイト』に、第2学年では『ソムチャイの笑顔』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。</p>
<p>〔社会とかかわる力〕社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。 （生きること、働くこと、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など）</p>	<p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【撮れなかった一枚の写真】に、第2学年では【遠く離れた人に会いたい】に、第3学年では【足袋の季節】に設定されている。</p>	<p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いつわりのバイオリン】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【生きてこそー石井筆子の生涯ー】に設定されている。</p>	<p>〔社会とかかわる力〕の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いっぱい生きる 全盲の中学校教師】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【二人の弟子】に設定されている。</p>
<p>〔たくましく生きる力〕自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。 （公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など）</p>	<p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、インターネットの使い方を考える内容が、第1学年では『わかり合うために』に、第2学年では『見えな誰かと』に、第3学年では『インターネットの中の社会で』に掲載されている。</p>	<p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が、第1学年では『情報社会とコミュニケーション』に、第2学年では『いじめをなくすために』に、第3学年では『いじめのない社会へ』に掲載されている。</p>	<p>〔たくましく生きる力〕の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が、第1学年では『うわさで決めるの？』に、第2学年では『つい言い過ぎて』に、第3学年では『アップロード ダウンロード』に掲載されている。</p>

	光村	日文	学研
<p>他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 (教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)</p>	<p>カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『レタス博士』に、美術科と関連した教材が『サグラダ・ファミリアー受け継がれていく思い』に、数学科と関連した教材が『スカイツリーにかけた夢』に掲載されている。</p>	<p>カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連した教材が『本とペンで世界を変えよう』に、音楽科と関連した教材が『いつわりのバイオリン』に、美術科と関連した教材が『マークは何のために?』に掲載されている。</p>	<p>カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ヒト・ips細胞を求めて 山中伸弥』に、保健体育科と関連した教材が『真の国際人 嘉納治五郎』に、社会科と関連した教材が『領民を愛した名君 上杉鷹山』に掲載されている。</p>